

(HT/WY/WT【器具・仕上げ】)

[illegible]

【器具・仕上げ】

TOTO

2020.9版

組立説明書

HT/WY/WT

器具・仕上げ

SB·UB

サザナ HT シリーズ

マンションリモデル WY/WT シリーズ

床ワイパー洗淨 含む

■ 以下を実現するため、この組立説明書の内容に従って正しく組み立ててください。

・安全な組立て ・安定した品質 ・製品機能の発揮 ・使用者の安全

○「組立説明書」に従わない方法で組み立て、それが原因で不具合が生じた場合は、保証いたしかねます。
○商品は改良のため変更されることがあります。
寸法等の詳細につきましては、商品図面請求サービスや商品同梱資料でご確認ください。

■ 本説明書は「器具・仕上げ」です。

「本体」「水栓・カウンター」の内容にも従って正しく組み立ててください。

EKL60090N1 / 2020.9

3 HT / WY / WT 器具・仕上げ



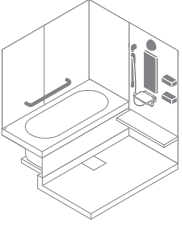
EKL60090N1

HT/WY/WTシリーズ【器具・仕上げ】
もくじ / 組立手順

HT/WY/WTシリーズ【器具・仕上げ】
もくじ / 組立手順

別冊 本体、水栓・カウンター完了

K. 器具



■ シャワーホース(K-1)

■ シャワーハンガー(K-1)

■ ホースフック(K-2)

■ 照明(K-2)

■ 換気器具(K-3)

■ スマート/アクセントカウンター(K-3)

■ 収納棚(K-4)

■ タオル掛け(K-5)

■ タオル棚(K-5)

■ 鏡(K-6~10)

■ ふろふたフック(K-11)

■ ランドリーパイプ(K-12)

■ スライドバー/インテリア・バー取付け前準備(K-12,13)

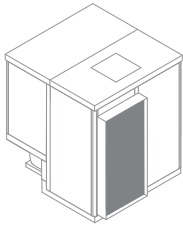
■ スライドバー(K-12,13,14)

■ インテリア・バー(K-12,13,15~20)

■ リモコン(K-21,22)

メンテナンス要領 カバーとキャップの外しかた(K-14)

L. ドア



L1 ドア(折戸)

Q.浴室側から見て右吊元のみ?

YES

1 吊元交換(L1-1)

2 障子吊込み(L1-1)

3 引手取付け(L1-2)

4 ラッチ調整(L1-2)

L2 ドア(開き戸)

1 緩衝材取外し(L2-1)

2 ドアロック・ハンドル取付け(L2-1)

3 障子吊込み(L2-2)

4 調整(L2-2)

5 開閉確認(L2-2)

L3 ドア(3枚引戸)

1 取っ手・サムターン取付け(L3-1)

メンテナンス要領 キャップの取外しかた(L3-2)

2 下枠レール取付け(一部)(L3-2)

3 障子取付け(L3-3)

4 調整(L3-4)

5 固定側障子施錠(L3-4)

障子の取外しかた(L3-4)

L4 ドア(片引戸/2枚引戸)

Q.片引戸?

YES

1 ブロック取付け(L4-1)

2 袖パネル取付け(L4-1)

メンテナンス要領 額縁取付け後の押縁の取外しかた(L4-1)

3 取っ手・サムターン取付け(L4-2)

Q.2枚引戸?

YES

4 下枠レール・障子・下枠カバー取付け(L4-3)

Q.片引戸?

YES

5 障子取付け(L4-4)

6 調整(L4-5)

2枚引戸の障子の取外しかた(L4-5)

L5 ドア(FIX 窓/ハーフFIX 窓/共通)

Q.FIX窓?

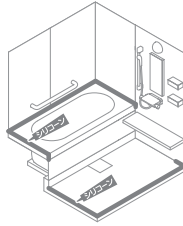
YES

1 方立カバー取付け(L5-1)

2 後工事の方への引継ぎ(L5-1)

ドア取付け完了

P. 仕上げ



1 シリコンコーキング(P-1)

Q.Fタイプ?

YES

2 小型バスエプロン取付け(P-4)

3 バスエプロン取付け(P-5)

メンテナンス要領 バスエプロンの取外しかた(P-7)

4 トラップカバーセット(P-7)

5 ラベル貼付け(P-8)

仕上げ作業完了

Q. 水栓の確認と調節



1 吐水確認(Q-1)

2 フィルターの掃除(Q-3)

メンテナンス要領 シャワーのノズルと吸気口のお手入れ(Q-4)

3 流量確認と調節(Q-5)

4 吐水温度確認(Q-7)

5 温度調節ハンドルの設定(Q-8)

Q.寒冷地 or 北海道?

YES

6 水抜き(Q-11)

水栓の確認と調節完了

S. 清掃・自主検査



1 清掃(S-1)

2 自主検査(S-2)

3 養生について(S-3)

4 取扱説明書類について(S-4)

5 廃棄物について(S-4)

清掃・自主検査完了

T. 機器の電気工事と試運転



■ 安全上のご注意(T-1)

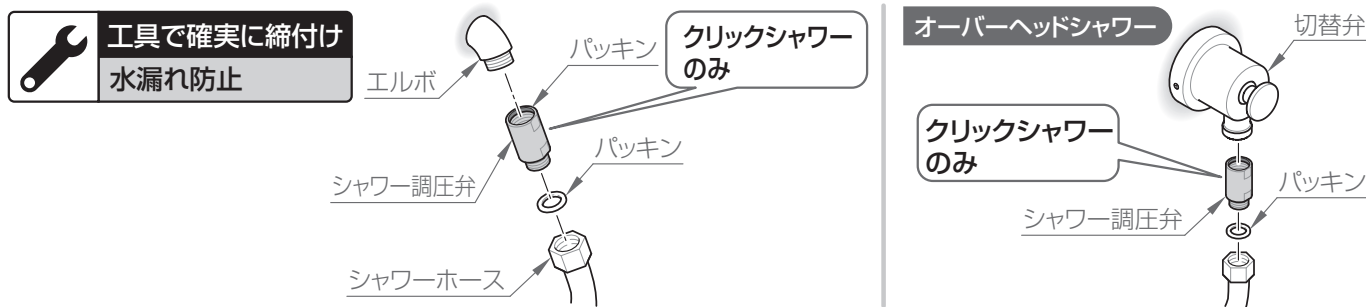
■ 試運転 床ワイパー洗浄(T-2)

機器の電気工事と試運転完了

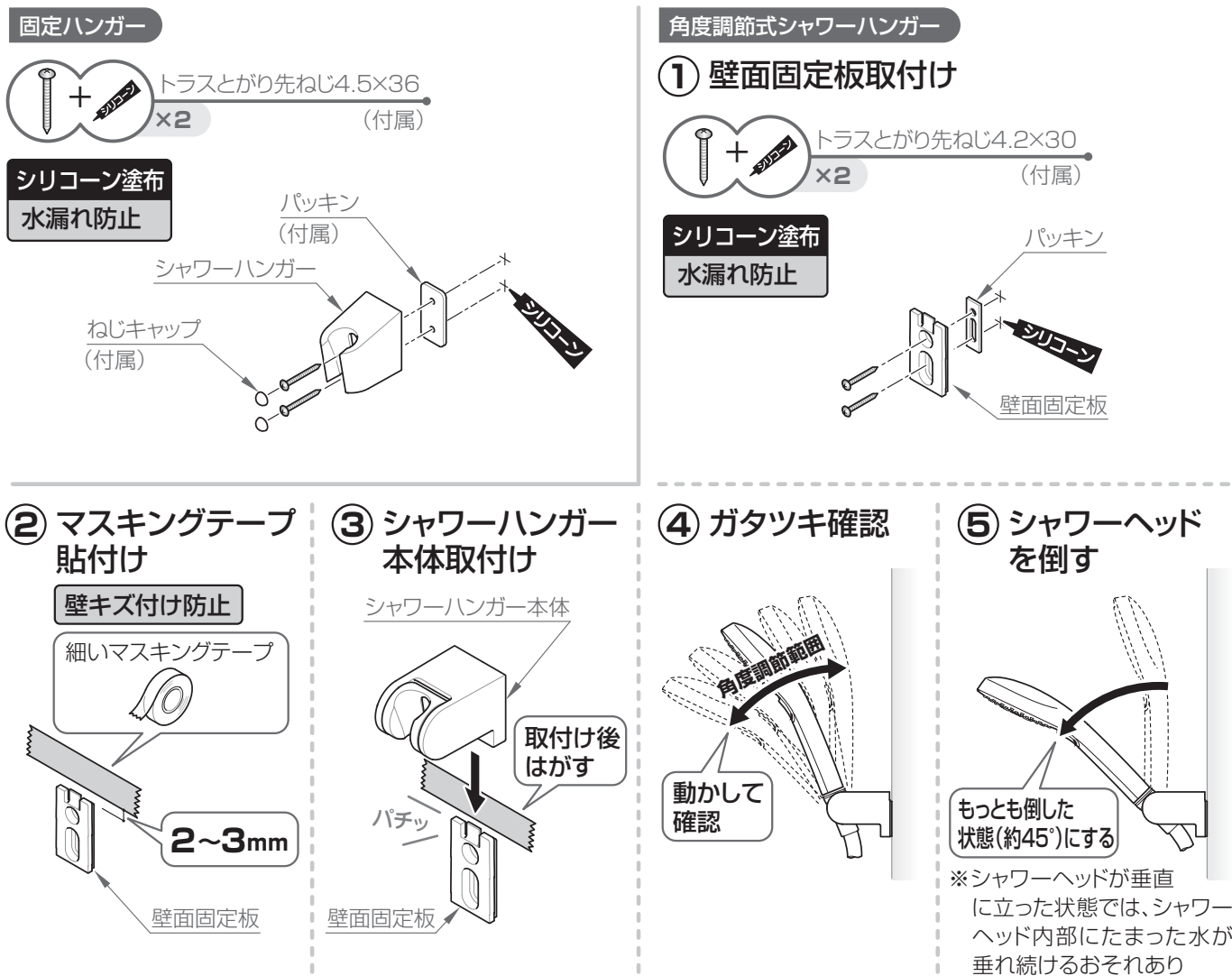
組立て完了

K. 器具

シャワーホース



シャワーハンガー



ハンガーが2種類ある場合の取付位置

【上段】：角度調節式ハンガー

【下段】：一般(固定)ハンガー

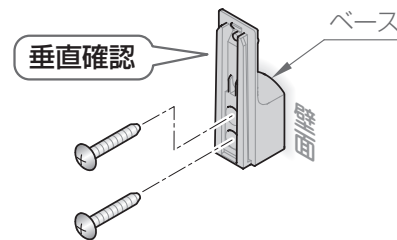


ホースフック

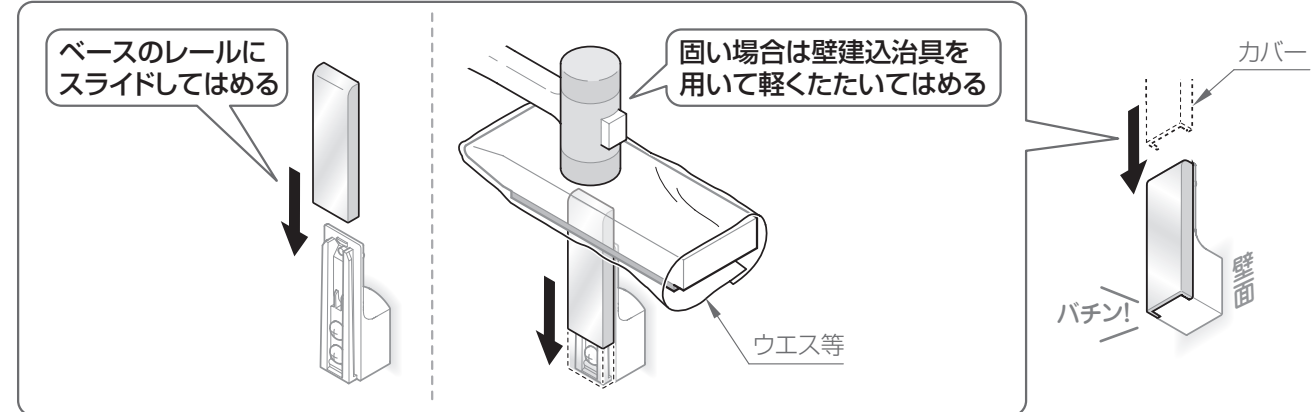
① ベース取付け



シリコン塗布
水漏れ防止

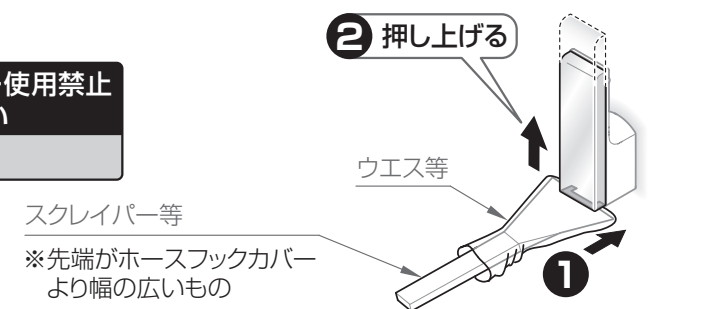


② カバー取付け

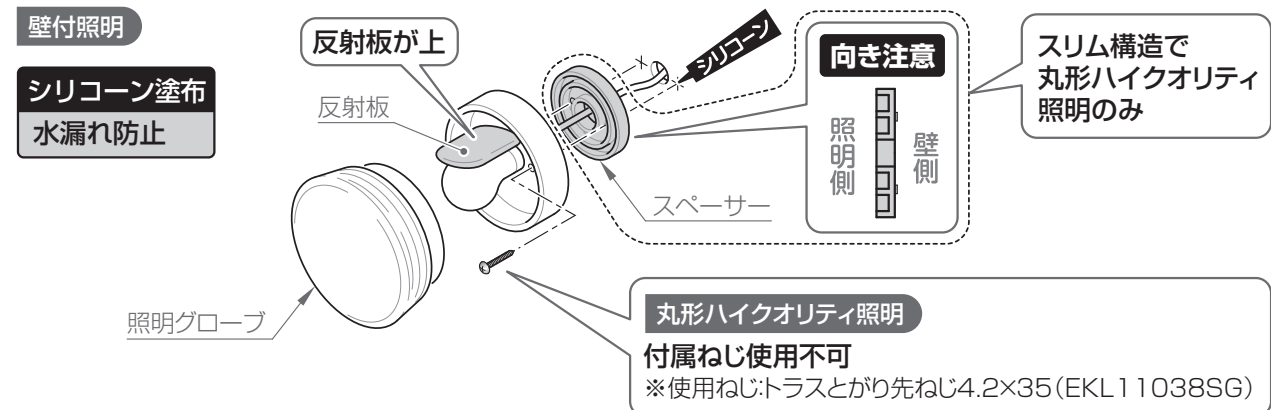


【取り外す場合】

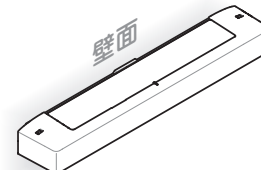
・マイナスドライバー使用禁止
・カバーをこじらない
キズ防止



照明



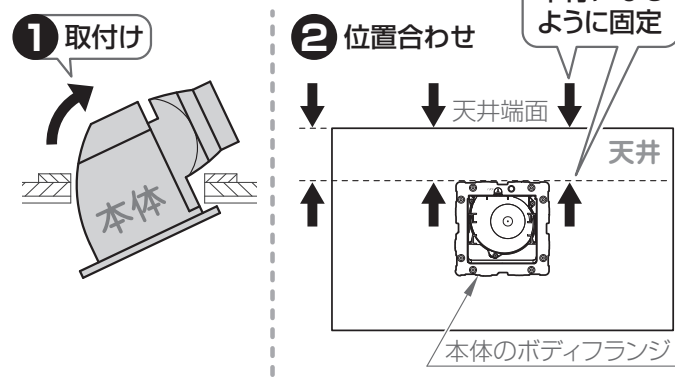
フラット形照明 同梱 組立説明書参照



換気器具

換気扇

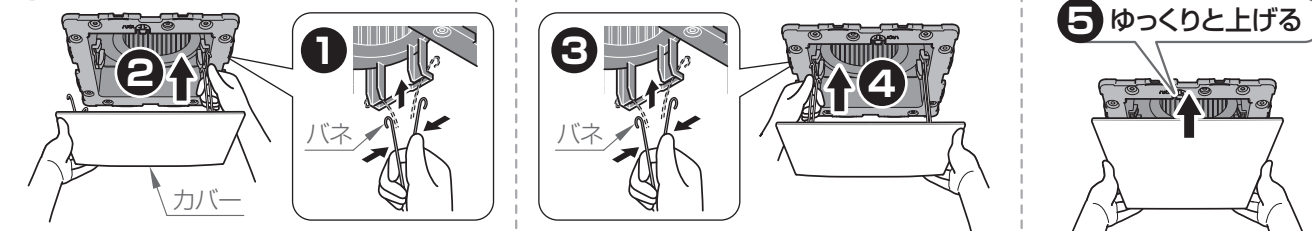
① 本体取付け



確認



② 化粧カバー取付け

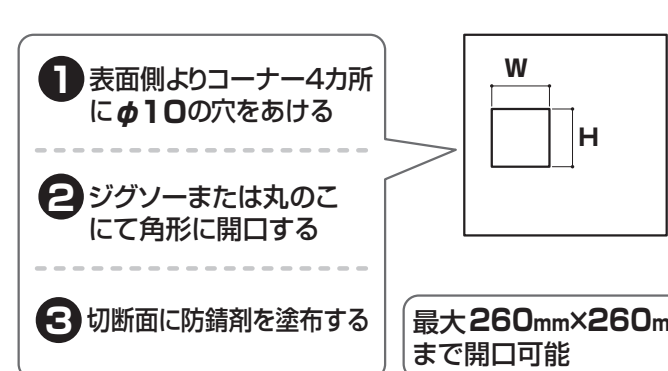


三乾王 暖房換気扇

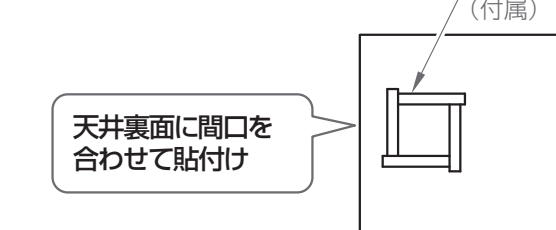
別冊 三乾王/暖房換気扇付属設置説明書参照

現場開口にて換気扇を取り付ける場合

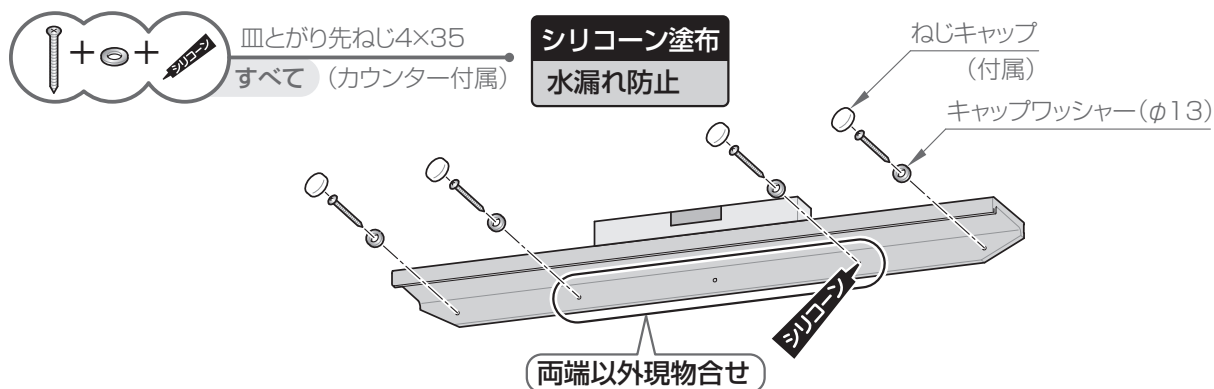
① 天井の開口



② 補強木の貼付け



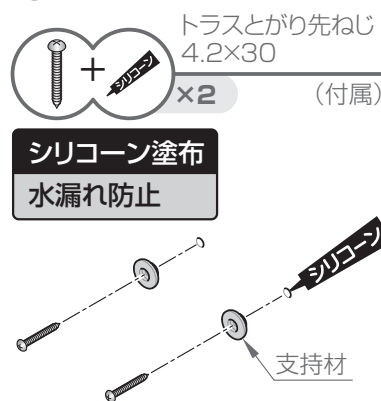
スマート/アクセント カウンター



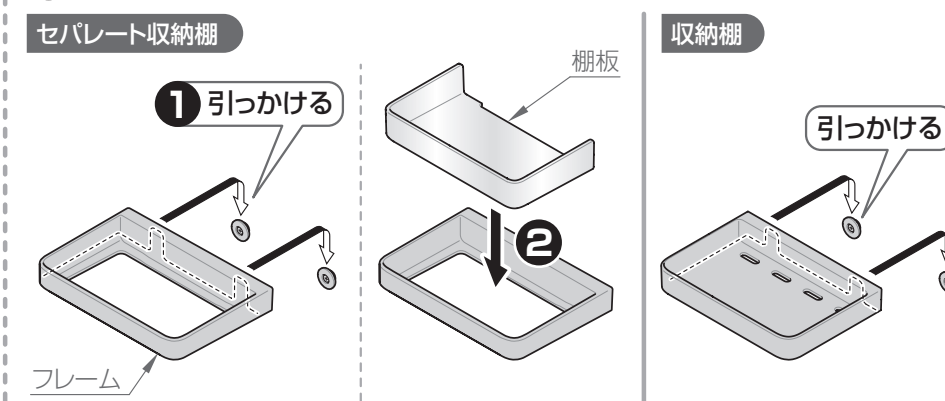
収納棚

セバレート収納棚/収納棚 小物かけなし

① 支持材取付け

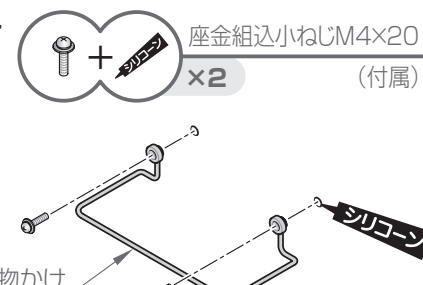
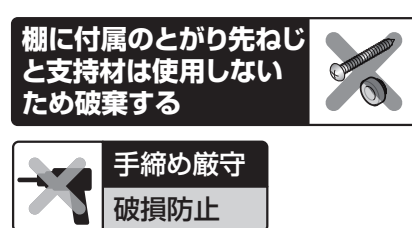


② 収納棚取付け ※小物かけありの場合も同様

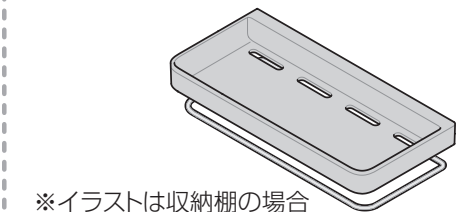


セバレート収納棚/収納棚 小物かけあり

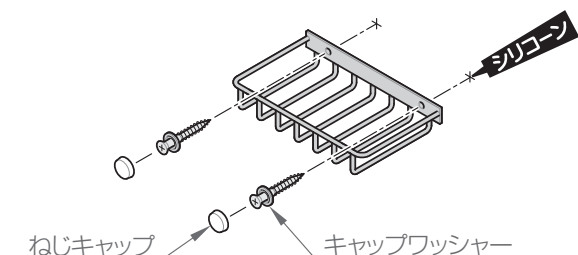
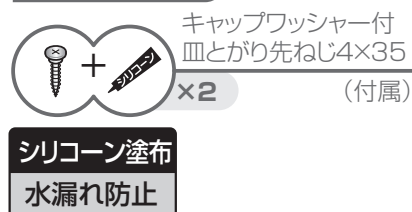
① 支持材兼小物かけ取付け



② 収納棚取付け 小物かけなしと同様

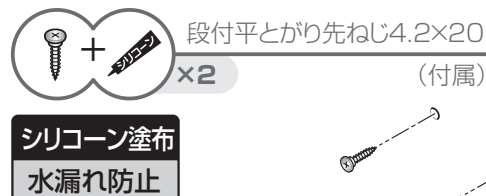


ワイヤーシェルフ

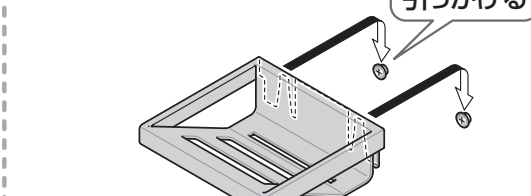


カウンター下収納棚

① ねじ取付け

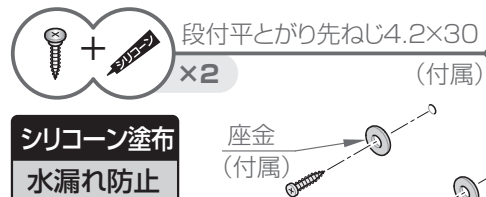


② 収納棚取付け

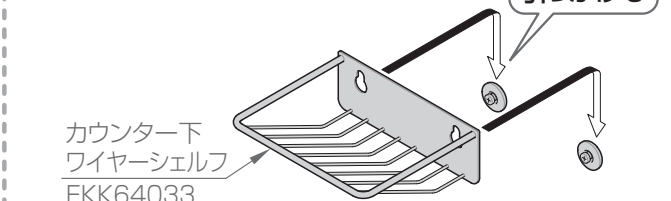


カウンター下ワイヤーシェルフ

① ねじ取付け



② カウンター下ワイヤーシェルフ取付け



タオル掛け

タオル掛け
ホワイト/ブラック

トラスとがり先ねじ4.2×30 (付属) ×2

シリコン塗布
水漏れ防止

1 シリコン

2 カチッ
ふた 押し込む

メタル(角形)/シルバー(角形)

トラスとがり先ねじ4.2×35 (付属) ×2

シリコン塗布
水漏れ防止

1 ベース

2 差し込む

3 パイプ

4 スライド

5 はめ込む

【カバーを取り外す場合】
※手で取り外しにくい場合はライナー(t1)を差し込んで取り外す

差し込む

樹脂ライナー(t1)

ドア外タオル掛け

1 取り付け前準備

1 下穴あけ(φ8)
下穴貫通不可
キズつけ注意

2 押し込む
向き注意

縦向き

ターンナット
(ドア外タオル掛け付属)

障子下端

※()内はW700ドアの場合

2 取り付け(取付方法は上記 参考)

ホワイト/ブラック/メタル(角形)

トラス小ねじM4×25 (付属) ×2

タオル棚

皿とがり先ねじ4.2×25 (付属) ×4

シリコン塗布
水漏れ防止

1 シリコン

ワッシャ(付属)
座金(付属)
締付ナット(付属)

2 タオル棚 EKK50004

3 座締付け

4 カバー締付け

ガタツキなきこと

鏡

特殊表面処理のため取扱い注意

- 研磨剤入り洗剤や硬いもので表面を擦らない
- 接着剤やシリコン等の付着注意
- ※付着した場合、直ちにエタノール拭きすること

【鏡パッキン貼付位置(ワイドミラー以外)】

1枚の場合

中央

2枚の場合

H/4

H/4

縦長鏡(樹脂フレーム)

1 ツメ・パッキン取付け

なべとがり先ねじ4.2×20 (付属) ×4

シリコン塗布
水漏れ防止

鏡裏面貼付け禁止
※腐蝕のおそれあり

固定金具
(鏡フレームセット付属)

上ツメ

パッキン

下ツメ

5 上フレーム取付け

左右均等

上フレーム

パチン

縦長鏡(フレームなし)/楕円鏡

1 ツメ・パッキン取付け

なべとがり先ねじ4.2×20 (付属) ×4

シリコン塗布
水漏れ防止

鏡裏面貼付け禁止
※腐蝕のおそれあり

上ツメ

パッキン

下ツメ

2 下フレーム取付け

引っかかるまで
しっかりと押し込む

※一度取り付けると、
鏡と鏡下ツメを外さ
ないと取れない

左右均等

下フレーム

6 上フレームうねり確認

うねり
※指で部分的に押さない
(うねりの原因)

【うねりがある場合】

押し込む

組立治具
(壁建て込み用)

ゴムは手前

2 鏡取付け

3 上ツメ
はめ込み

1

上ツメ

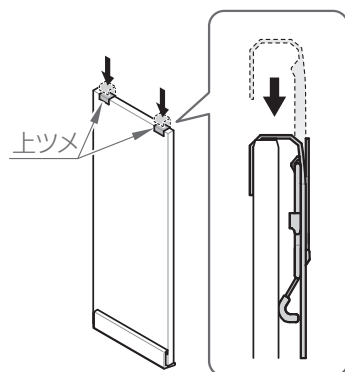
3 鏡取付け

4 上ツメ
はめ込み

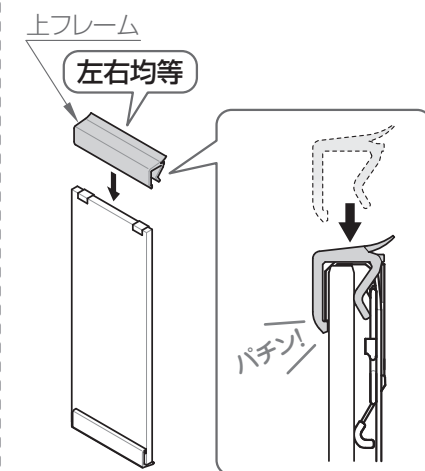
鏡

上ツメ

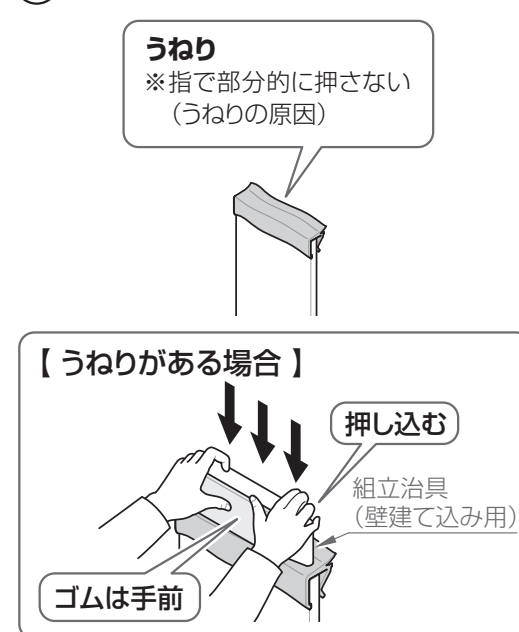
⑥ 上ツメはめ込み



⑦ 上フレーム取付け



⑧ 上フレームうねり確認



⑨ 電気工事業者への引継ぎ

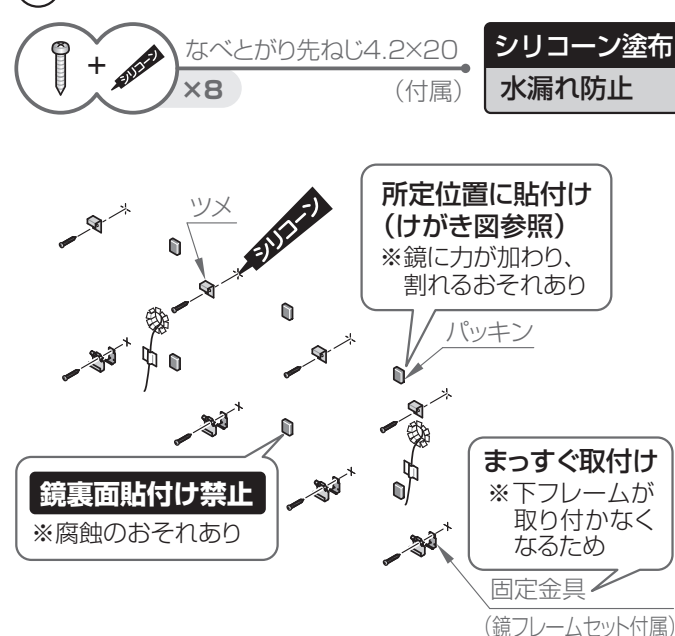
付属の「電気工事・試運転要領書」を電気工事店様にお渡しください。

くもり止めヒーター付ワイドミラー/ハーフワイドミラー（樹脂フレーム）

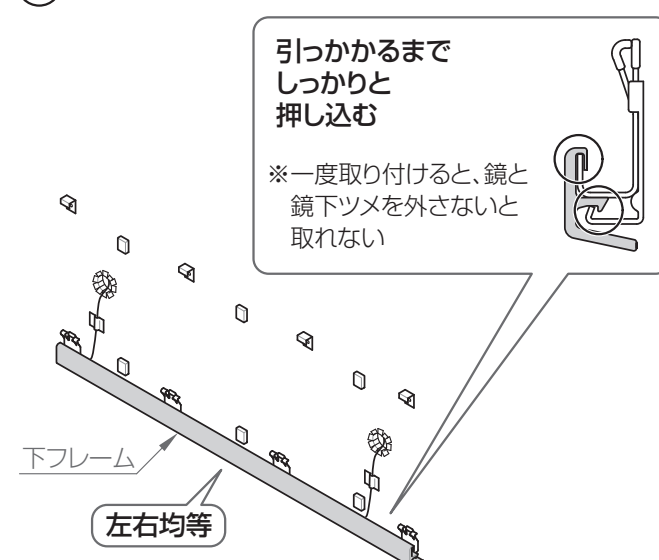
ワイドミラーでカウンター付き窓を同時選択した場合

床板又は窓カウンターを設置し、シリコン塗布後にワイドミラーを設置する
※先に設置すると、床板又はカウンターに干渉して取り付けできない

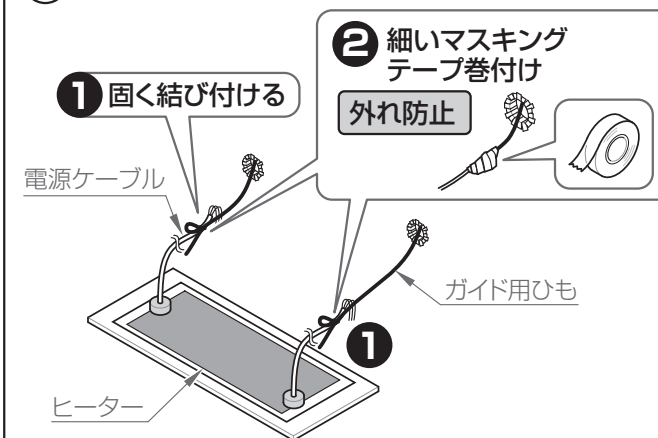
① ツメ・パッキン取付け



② 下フレーム取付け

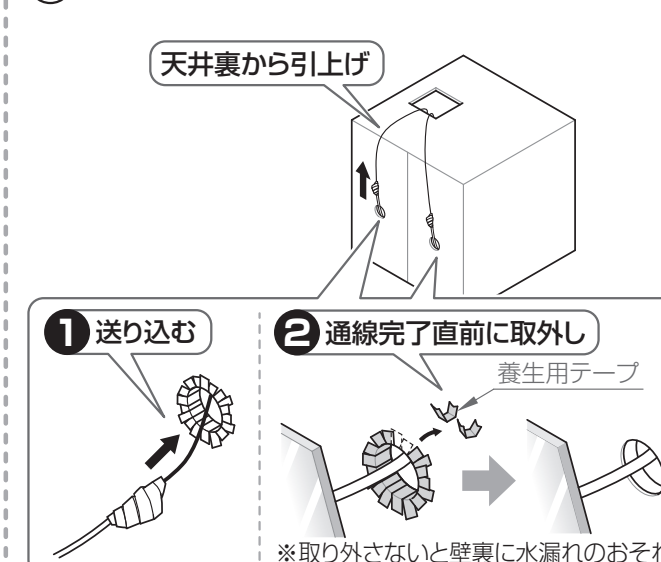


③ ヒーター電源ケーブル接続

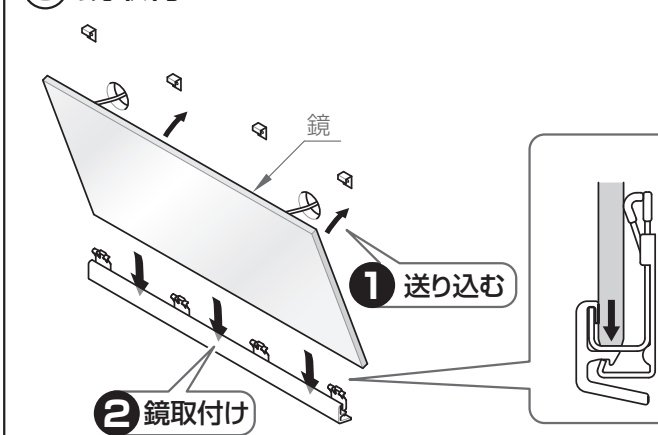


注意 ヒーターをキズ付けない
漏電による感電事故を
起こすおそれあり

④ ヒーター電源ケーブル通線

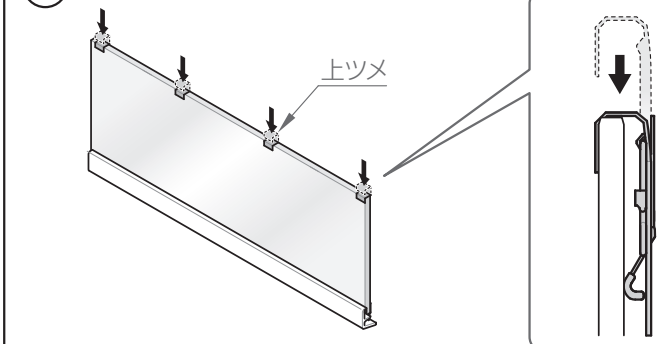


⑤ 鏡取付け

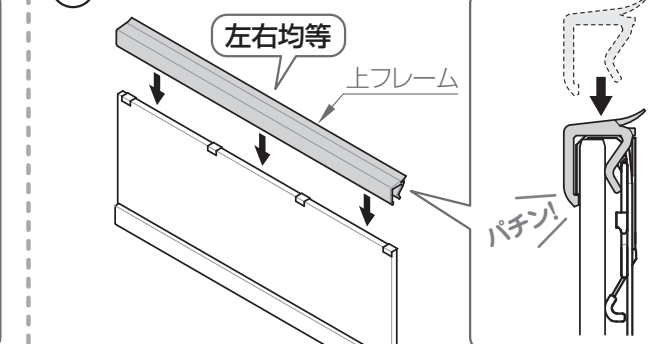


注意 穴にバリがないこと
ヒーターを損傷し、漏電
により感電のおそれあり

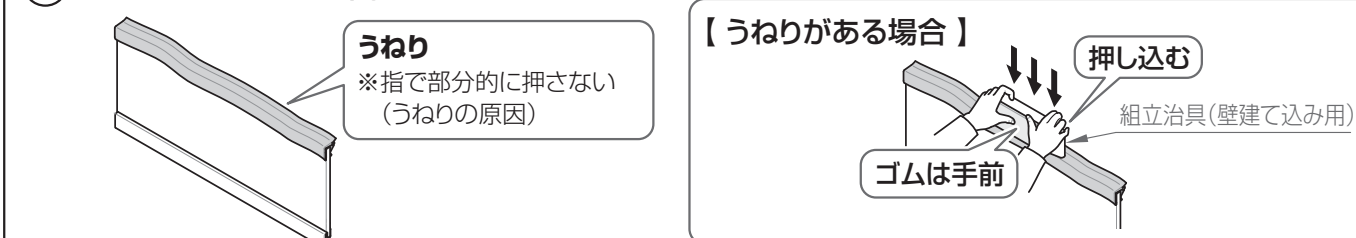
⑥ 上ツメはめ込み



⑦ 上フレーム取付け



⑧ 上フレームうねり確認

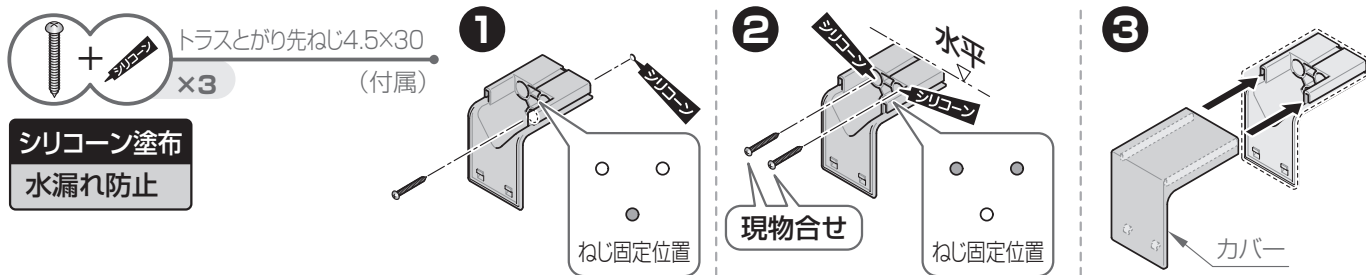


⑨ 電気工事業者への引継ぎ

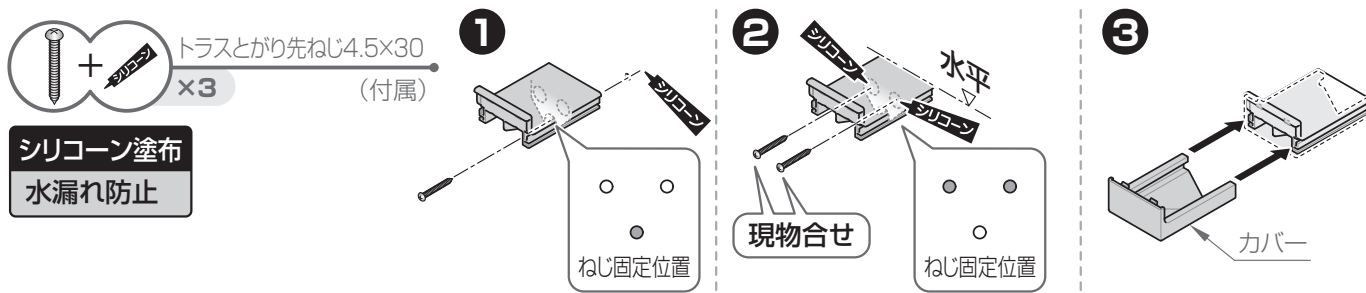
付属の「電気工事・試運転要領書」を電気工事店様にお渡しください。

ふろふたフック

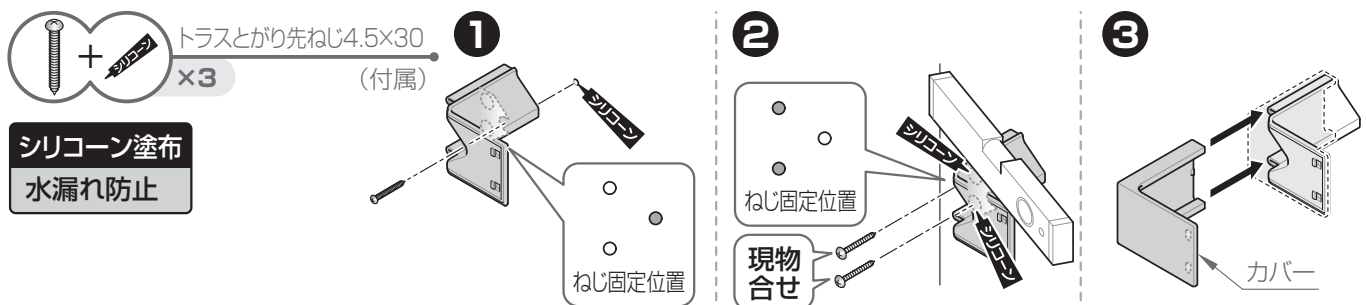
上用



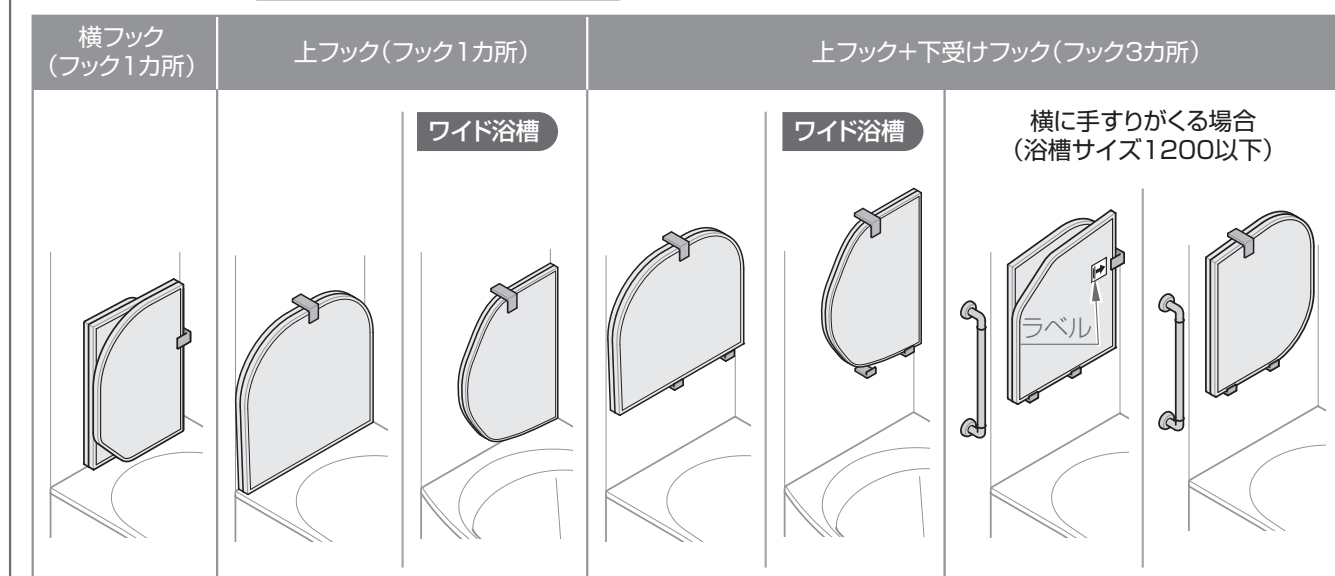
下用／シャッターふたフック掛け



横用

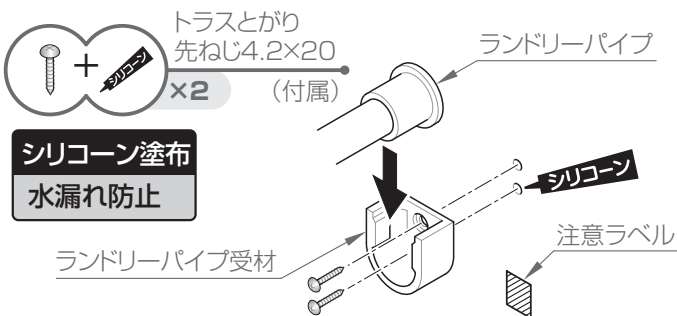


【収納方法】 お客様引渡しが組立て当日の場合

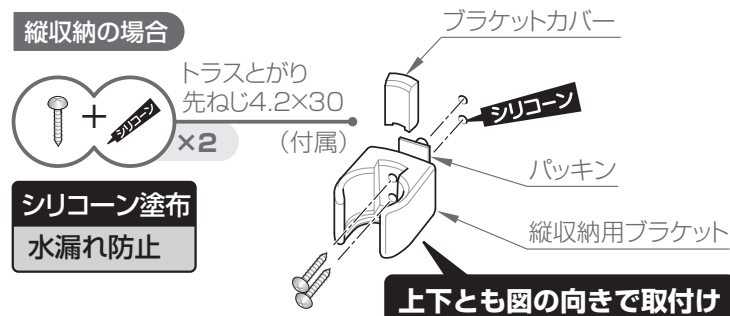


矢印ラベル付きの場合：矢印をフックの方向に向ける

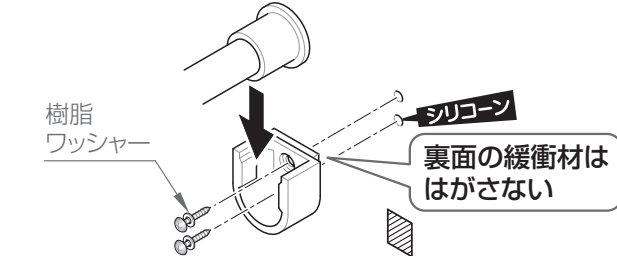
ランドリーパイプ



三乾王 別冊 三乾王付属設置説明書参照

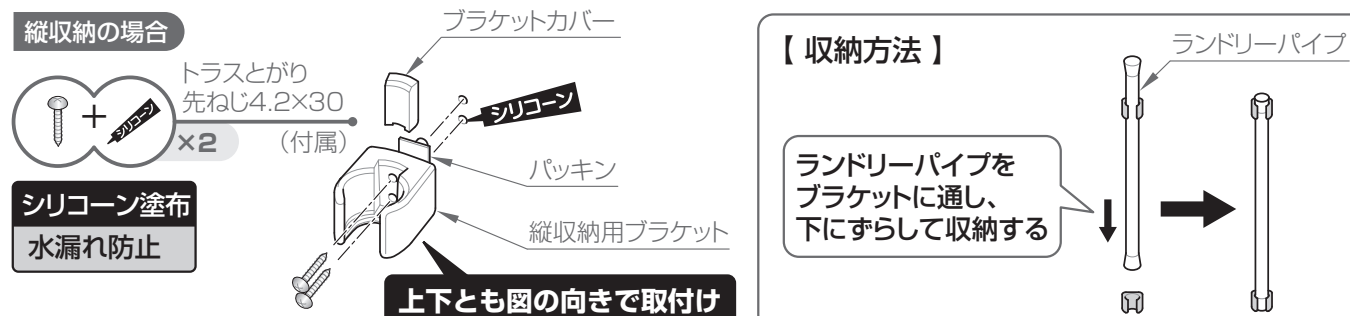


メッキ品の場合

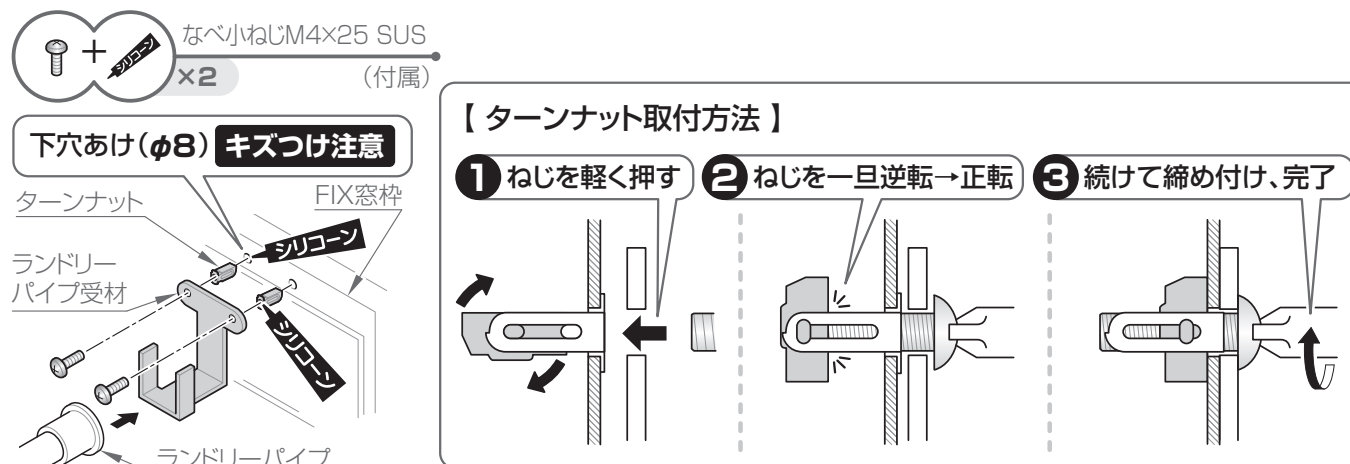


取付位置厳守

間違った位置に取り付けると、乾燥時間が長くなる



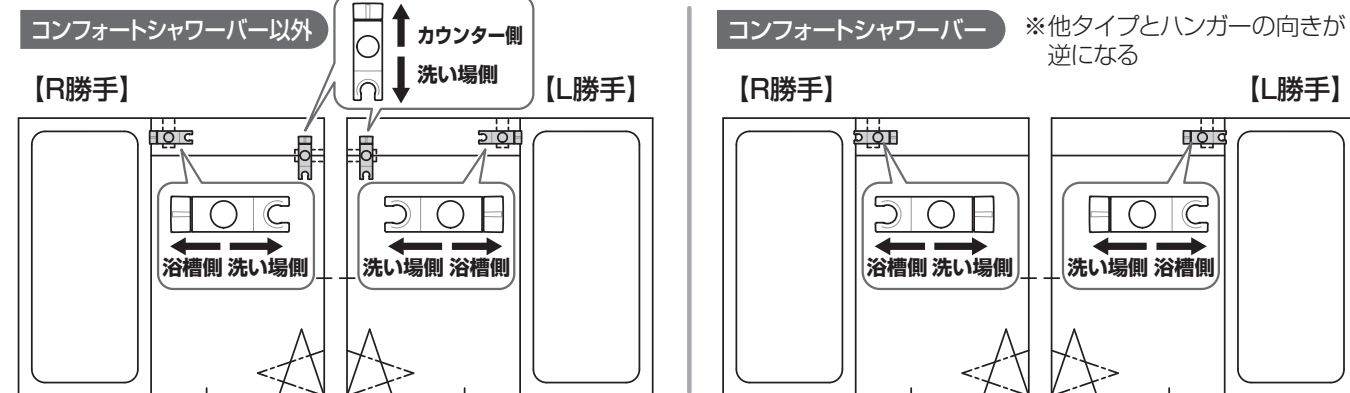
FIX窓でドア位置A/Cの場合 ランドリーパイプ受材を取り付ける(2個)



スライドバー／インテリア・バー取付け前準備(スライドハンガーの向き確認)

※インテリア・バー Jシリーズの場合、取付け後のスライドハンガーの向き変更はできない

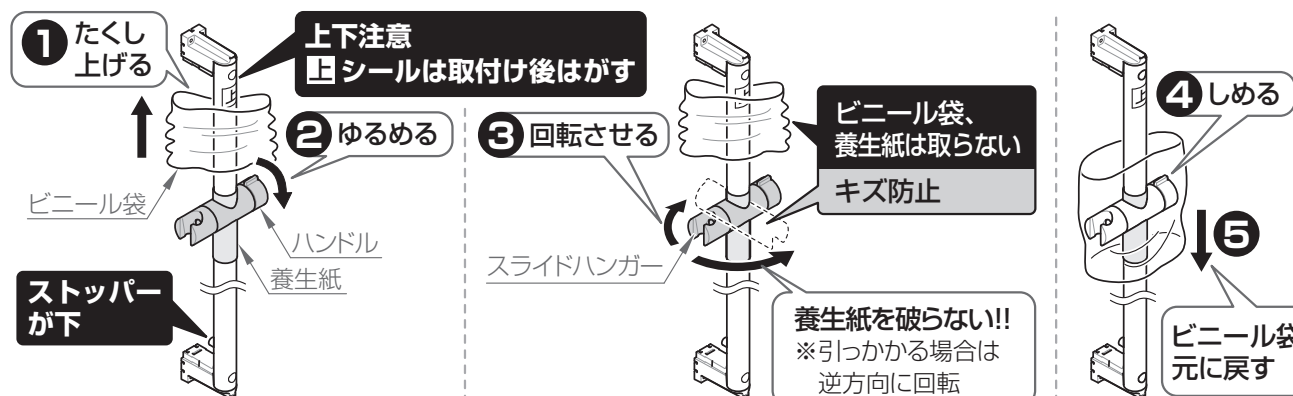
ハンガーの向き



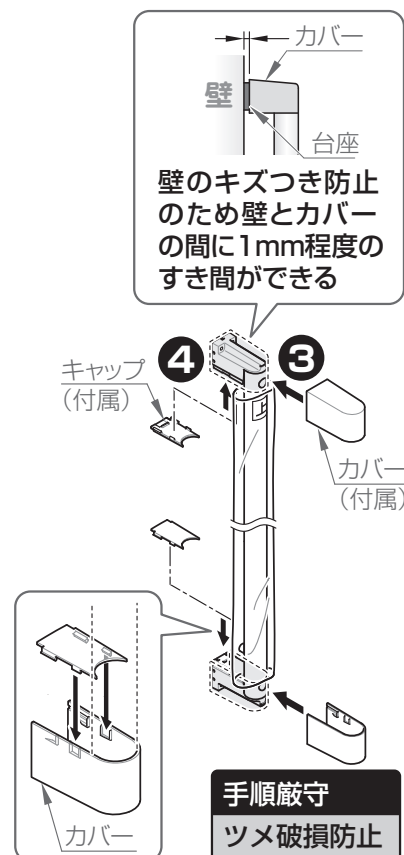
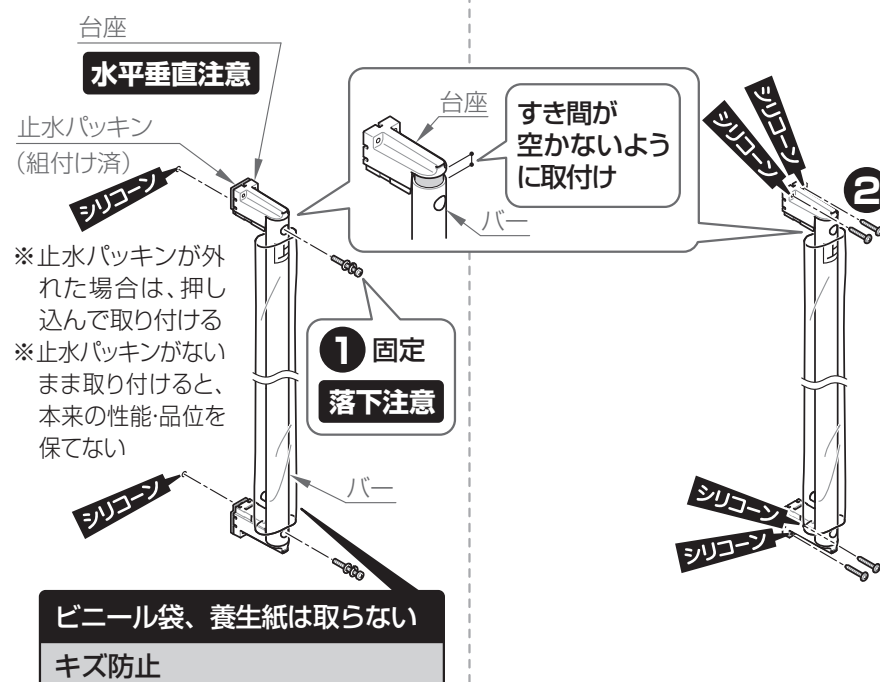
インテリア・バー

取付け前にスライドハンガーの向き確認 K-12,13 ページ参照

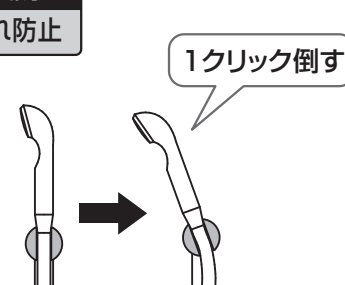
ハンガーの位置調整



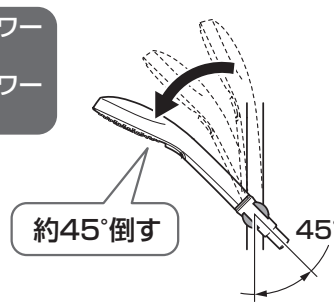
手すり固定 ※図はスライドハンガー仕様



スライドハンガー角度調整 シャワーヘッド水垂れ防止



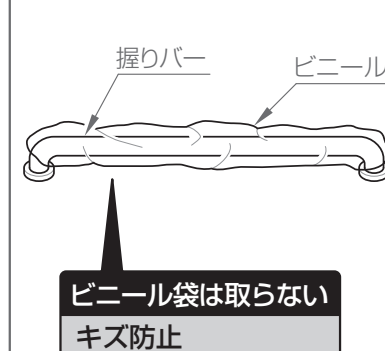
コンフォートウェーブシャワー
3モード(メタル調)/
コンフォートウェーブシャワー
(メタル調)



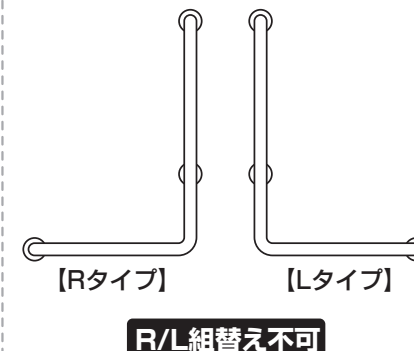
Jシリーズ(I型・L型・スライドハンガー付)

【取付け前の注意】

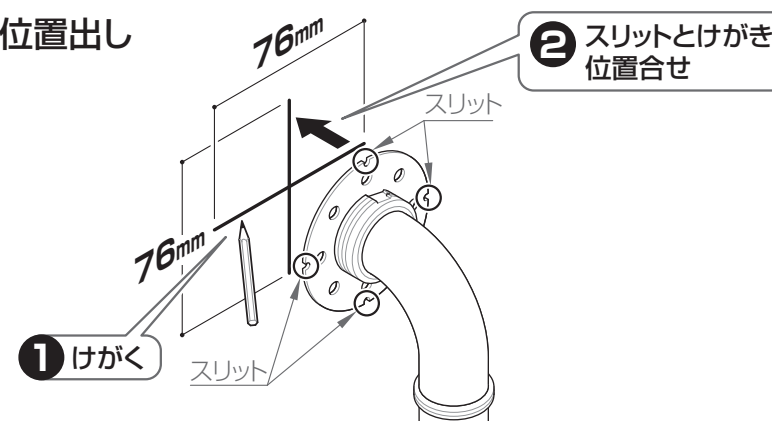
保護カバー



L型のRタイプとLタイプ



① 位置出し



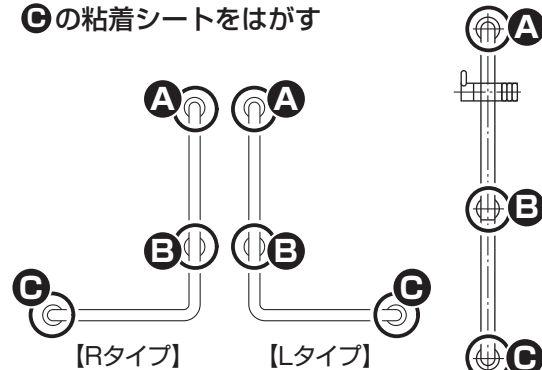
② 壁に取付け

粘着材シートをはがし、壁に取り付ける



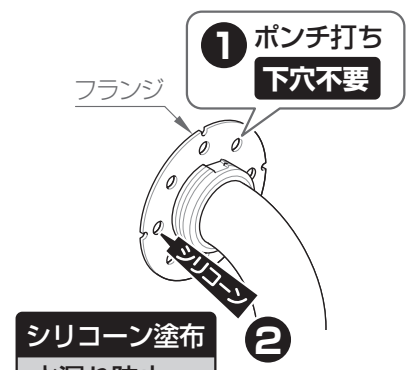
L型・スライドハンガー付

A B の粘着シートをはがして壁に取付け後、
C の粘着シートをはがす



③ シリコンコーキング

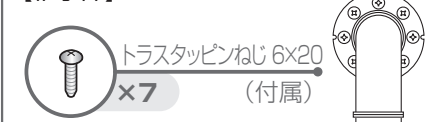
ねじ打ち前実施



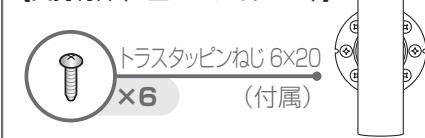
④ ねじ固定



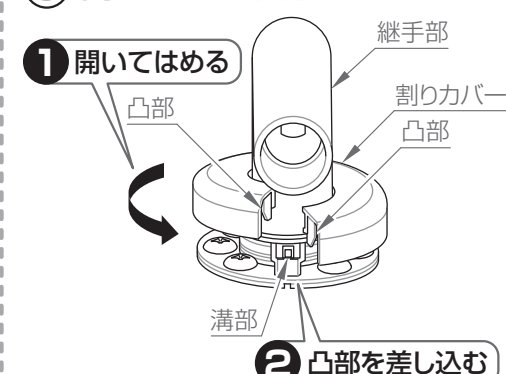
【継手部】



【支持材部(L型 / スライドバー)】

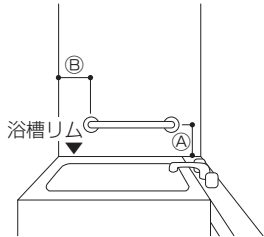
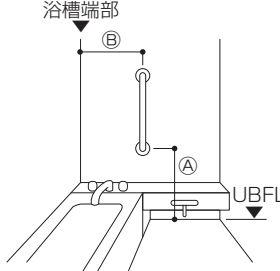
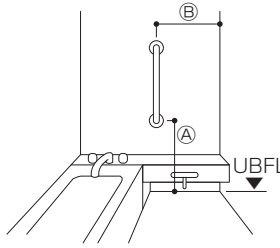


⑤ 割りカバー取付け



【インテリア・バー取付推奨位置】サザナHT用

※他の器具（鏡・水栓・スライドバー・窓・ドア・ふろふたなど）と干渉する場合がありますので、十分確認したうえで位置を決定すること

		タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号
浴槽横 〈浴槽内での立ち座り用〉		PT SN	全サイズ	600mm	KNR6R	KNR6*
		F	全サイズ	800mm	基本仕様	KNR8*
浴槽側正面 〈浴槽出入り用〉		PT SN F	全サイズ	800mm	KBR8R	KBR8*
洗い場正面 〈洗い場立ち座り用〉		PT SN	全サイズ	800mm	KER8R	KER8*

① 割ふたの場合:125
シャッターふたの場合:180

仕様 クレイドル浴槽の場合、浴槽中央の一番低いリム面からの寸法になります。

	②
1624/1620/1616 1818/1618	500
1717	525
1317	350
1216/1220	300
1116	250
F 全サイズ	350

	①	②
1624	800	1050
1620/1717 1616/1618 1317/1216/1220(クレイドル)	800	650
1317/1216/1116/1220 (ゆるリラ・ラウンド)	800	600
1818	850	650
F 全サイズ	800	700

必須 Fタイプの場合、サポートバーベンチ幅タイプ(KWSS*)を同時選択してください。

不可 ワイドミラー(KUWS1)と同時選択できません。

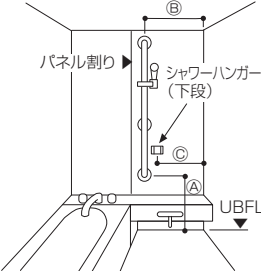
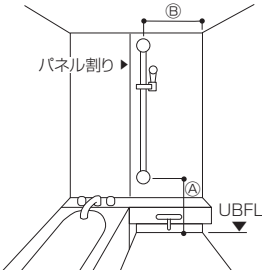
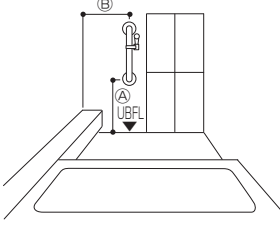
不可 1624サイズ以外は浴室テレビ(FAA5*/FEC7*)と同時選択できません。

	①	②
1624/1620/1220	800	1000
1618	800	900 (880)
1818	850	900 (880)

不可 PT SN タイプはスライドバーなし(Nタイプ基本仕様/SBA00)と同時選択してください。

不可 ワイドミラー(KUW**)と同時選択できません。

※く内はワイド浴槽(YYW**)を選択した場合

		タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号
Jシリーズ(SBK***)の場合		PT SN	全サイズ	1000mm	—	SBK4*
洗い場正面 〈洗い場立ち座り用〉 スライドハンガー付 インテリア・バー		PT SN	全サイズ	1000mm	—	—
洗い場側面 〈洗い場立ち座り用〉 スライドハンガー付 インテリア・バー		PT SN	全サイズ	1000mm	基本仕様	—

	①	②	③
1624/1620 1220(クレイドル)	800	960	860
1717 1317(クレイドル) 1216/1116(ゆるリラ・ラウンド)	800	785	685
1616 1317(ゆるリラ・ラウンド)	800	750	650
1818	850	860 (840)	760 (740)
1618	800	860 (840)	760 (740)
1220(ラウンド)	800	985	885

不可 インテリア・バー(洗い場立ち座り用)(KER8*)と同時選択できません。

不可 ワイドミラー(KUW**)と同時選択できません。

不可 PT SN タイプの場合、オーバーヘッドシャワー(SH**)と取り合いし同時選択できません。

仕様 シャワーハンガー(下段)が表の位置に付きます。

注意 Jシリーズのスライドハンガー付インテリア・バー(L=1000)は、構造上スライドハンガーの可動範囲に制限があります。

※く内はワイド浴槽(YYW**)を選択した場合

	①	②
1624/1620 1220(クレイドル)	800	960 [1000][990]
1717 1317(クレイドル) 1216/1116(ゆるリラ・ラウンド)	800	785 [1000][815]
1616 1216(クレイドル)	800	750 [1000][780]
1317(ゆるリラ・ラウンド)	800	810
1818	850	860 (840)
1618	800 [1000]	860 [890] (840)
1220(ゆるリラ・ラウンド)	800	985

必須 Pタイプでオーバーヘッドシャワー(SH**)選択時は、スライドハンガー付インテリア・バー(L=800)(SBE5R)を同時選択してください。

不可 インテリア・バー(洗い場立ち座り用)(KER8*)と同時選択できません。

※く内は Pタイプでスライドハンガー付インテリア・バー(L=800)(SBE5R)を選択した場合

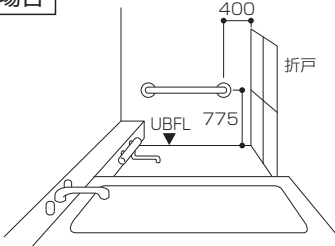
※く内はワイド浴槽(YYW**)を選択した場合

	①	②
F 全サイズ	847	600

不可 Jシリーズ(SBK**)は選択できません。

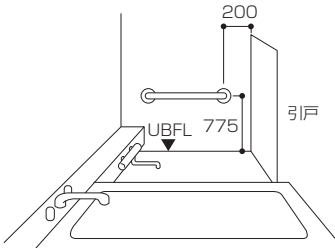
タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号
PT SN	1624 1620 1717 1616	800mm	KVR8R	KVR8*
	1317 1216 1116 1220	—	—	—
	1818 1618	800mm	KVR8R	KVR8*
F	1620 1616 1618	400mm	KVR4R	KVR4*
PT SN	1624 1620 1717 1616	800mm	KVR8R	KVR8*
	1317 1216 1116 1220	600mm	KVR6R	KVR6*
	1818 1618	800mm	KVR8R	KVR8*
F	1620 1616 1618	600mm	KVR6R	KVR6*
PT SN	1624 1620 1220	600mm	KVR6R	KVR6*
	1717 1616 1317 1216 1116	—	—	—
	1818 1618	400mm	KVR4R	KVR4*
F	1620 1616	600mm	KVR6R	KVR6*
PT SN	1624 1620 1220	800mm	KVR8R	KVR8*
	1717 1616 1317 1216	400mm	KVR4R	KVR4*
	1116	—	—	—
F	1818 1618	600mm	KVR6R	KVR6*
	1620	800mm	KVR8R	KVR8*
	1616 1618	400mm	KVR4R	KVR4*
F	1618	600mm	KVR6R	KVR6*

ドアが折戸の場合



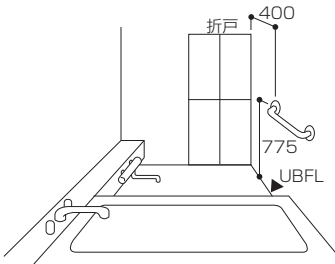
不可 開き戸(HDP**/V**)と同時選択できません。
不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため、三乾王(IKJ**)、三乾王用開口(IKH4W/A41)、温水式浴室換気暖房乾燥機(IKK1N)、ランドリーパイプ追加(KMA**/B**)と同時選択できません。

ドアが引戸の場合



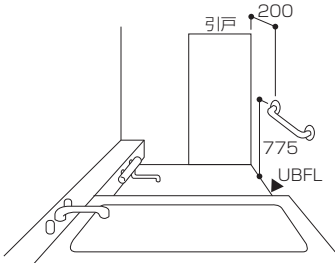
不可 開き戸(HDP**/V**)と同時選択できません。
不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため、三乾王(IKJ**)、三乾王用開口(IKH4W/A41)、温水式浴室換気暖房乾燥機(IKK1N)、ランドリーパイプ追加(KMA**/B**)と同時選択できません。

ドアが折戸の場合



不可 開き戸(HDP**/V**)と同時選択できません。
不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため、三乾王(IKJ**)、三乾王用開口(IKH4W/A41)、温水式浴室換気暖房乾燥機(IKK1N)、ランドリーパイプ追加(KMA**/B**)と同時選択できません。

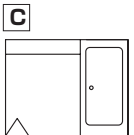
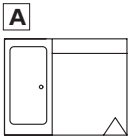
ドアが引戸の場合



不可 開き戸(HDP**/V**)と同時選択できません。
不可 1624サイズでは、ランドリーパイプと干渉するため、三乾王(IKJ**)、三乾王用開口(IKH4W/A41)、温水式浴室換気暖房乾燥機(IKK1N)、ランドリーパイプ追加(KMA**/B**)と同時選択できません。

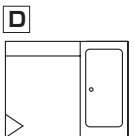
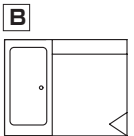
洗い場側
〈洗い場移動用〉

ドア位置



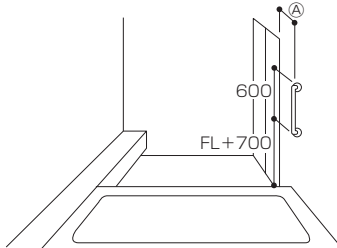
洗い場側
〈洗い場移動用〉

ドア位置



タイプ	サイズ	長さ (L=)	メタルシリーズ セレクト記号	Jシリーズ セレクト記号
PT SN F	全サイズ	600mm	KAR6R	KAR6*
	全サイズ	—	—	—
	全サイズ	—	—	—
PT SN F	全サイズ	600mm	KAR6R	KAR6*
	全サイズ	—	—	—
	全サイズ	—	—	—

ドアが折戸・開き戸の場合



④寸法は浴室サイズ・ドア幅・浴槽種類により異なります。
詳細は見積り・商品図面サービスでご確認ください。

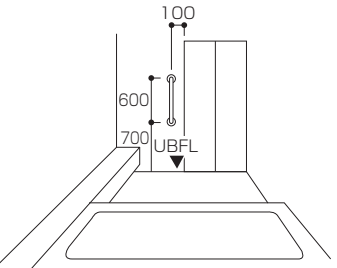
不可 1717/1616/1317サイズの場合、クレイドル浴槽(YYK**)と同時選択できません。
不可 ドア位置変更(HCA14/03/02/01)と同時選択できません。
不可 引戸(HDJ**)と同時選択できません。
不可 F タイプの場合、浴室テレビカウンター対面取り付け(FAA6*/FEC8*)と同時選択できません。

手すりセレクト選択可否 一覧表 ふろふた収納位置については、P.250・251をご参照ください。

タイプ	サイズ	浴槽種類	ふろふた仕様			
			2枚割ふた 断熱仕様 (PTSEタイプ 基本仕様/YPH12) 断熱なし(YPN12)	3枚割ふた 断熱仕様 (YPH13)	シャッター ふた (Nタイプ 基本仕様/ YPN01)	ふろふた なし (YPN00)
PT SN	1624	スーパーワイド浴槽	○	—	○	○
	1620/1618/1818	全浴槽	○	○	○	○
	1717	ゆるリラ浴槽	×	○	○	○
		クレイドル浴槽	×	×	×	○
		スクエア浴槽	×	○※1	○	○
	1616	ゆるリラ浴槽	×	○	○	○
		クレイドル浴槽	×	×	×	○
		スクエア浴槽	×	○※2	○	○
	1317	ゆるリラ浴槽・ ラウンド浴槽	×	—	○	○
		クレイドル浴槽	×	—	×	○
F	1216/1116	ゆるリラ浴槽・ ラウンド浴槽	○	—	○	○
		クレイドル浴槽	○	—	×	○
	1220	全浴槽	○	—	○	○
	1620/1618	ラウンド浴槽	○	—	○	○

○選択可 ×選択不可 一品揃えなし
※1 W700ドアの場合のみ選択可能です。(W800ドアの場合は選択できません)
※2 W800ドアの場合のみ選択可能です。(W700ドアの場合は選択できません)

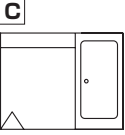
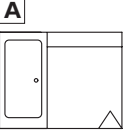
ドアが折戸・開き戸の場合



必須 1216/1116/1220サイズでドア位置[B][D]でインテリア・バー(ドア横縦(KA***))を選択した場合、収納棚正面(Nタイプ基本仕様/ESE**)または収納棚なし(ESA00)を同時選択してください。
不可 ドア位置変更(HCA14/03/02/01)と同時選択できません。
不可 引戸(HDJ**)と同時選択できません。
不可 開き戸+FIX窓(HDV**)と同時選択できません。

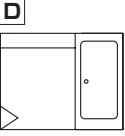
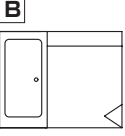
ドア横縦
〈浴室出入り用〉

ドア位置



ドア横縦
〈浴室出入り用〉

ドア位置



リモコン

床ワイパー洗浄用リモコン [浴室外設置] 電気工事

※リモコンコードはシステムバスルーム組立て時に脱衣所・台所等へ延ばしておくこと

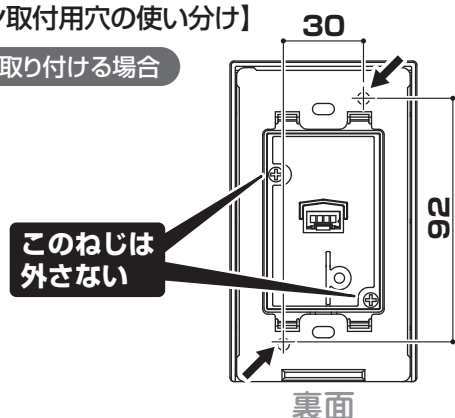
浴室内取付け禁止
故障防止

リモコンは確実に取り付ける
動作不良防止

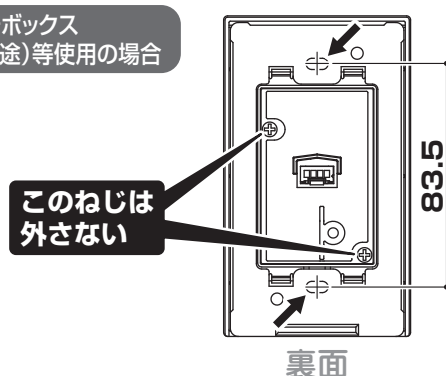
スイッチボックス等に取り付ける場合は、ねじを締めすぎない
フレームが変形してリモコンがうまく入らなくなったり、
フレームと壁のすき間が大きくなる原因

【リモコン取付用穴の使い分け】

壁に直接取り付ける場合

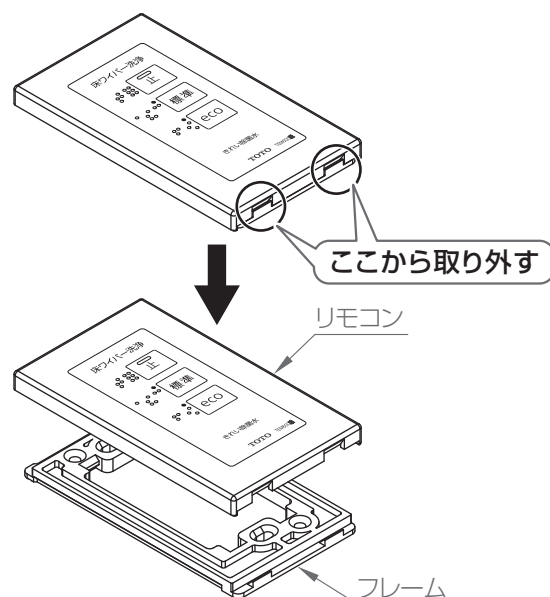


スイッチボックス
(材工別途)等使用の場合

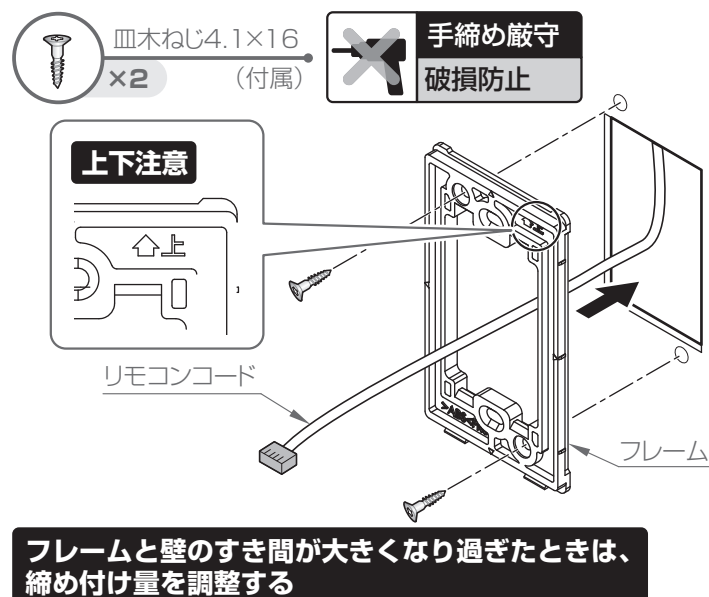


壁に直接取り付ける場合

① リモコンからのフレーム取外し

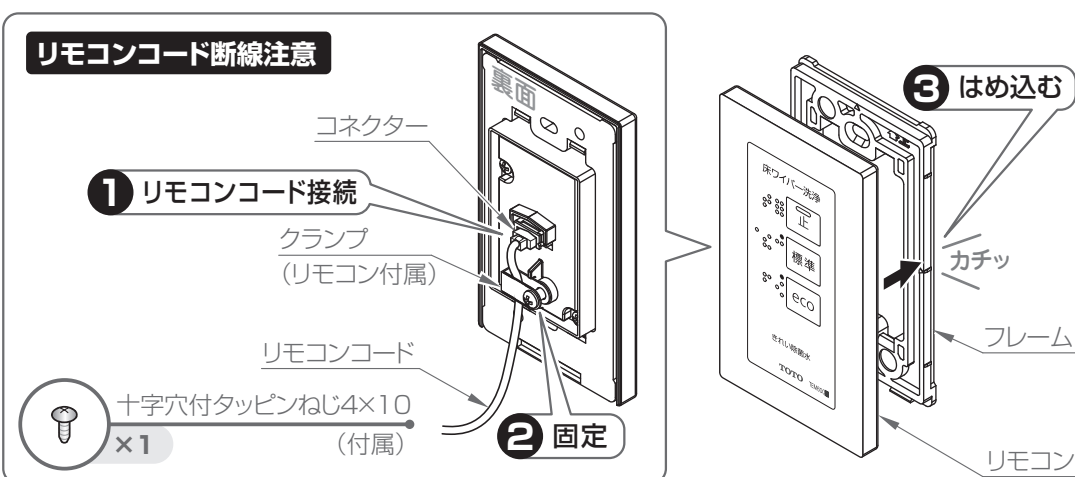


② フレーム壁固定



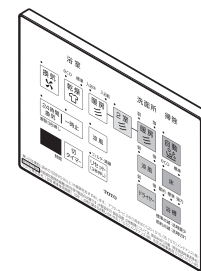
③ リモコン固定

リモコンコード断線注意



マルチリモコン [浴室外設置] 電気工事

同梱 設置説明書参照



※イラストは一例

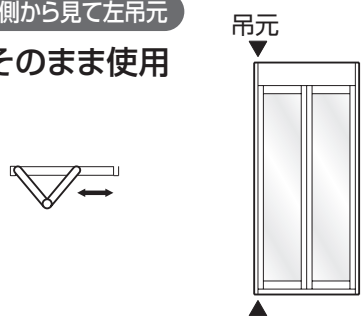
MEMO

L1. ドア(折戸)

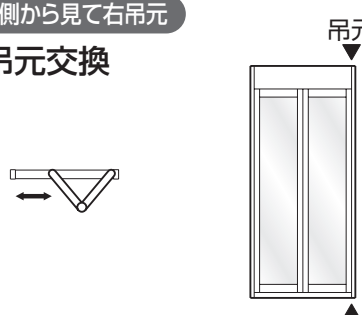
1 吊元交換

● 出荷時は浴室側から見て左吊元
※右吊元の場合は吊元交換実施

浴室側から見て左吊元
→そのまま使用



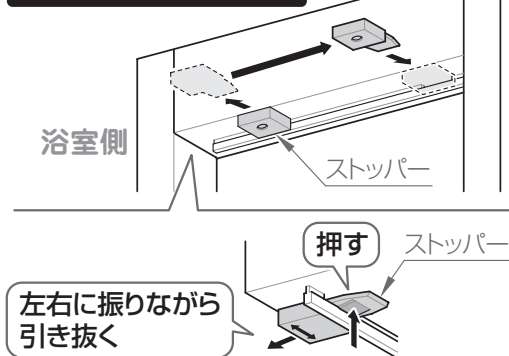
浴室側から見て右吊元
→吊元交換



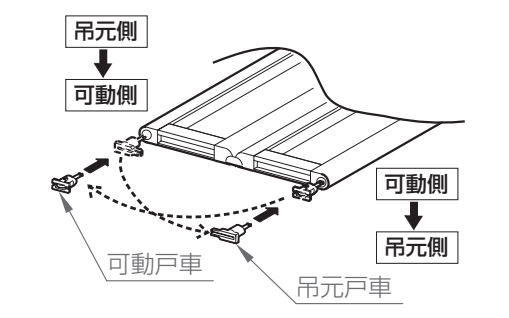
〈吊元交換方法〉

① ストッパー交換

ストッパーは必ず取付け



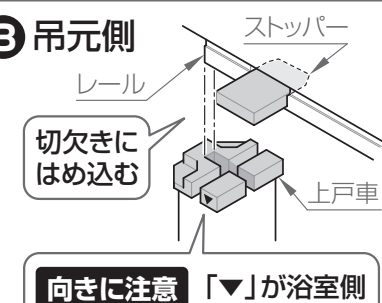
② 戸車交換



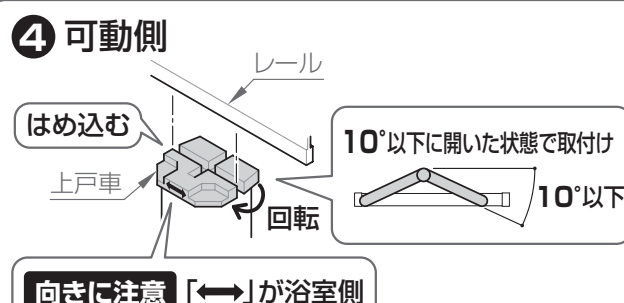
2 障子吊込み

① 吊込み

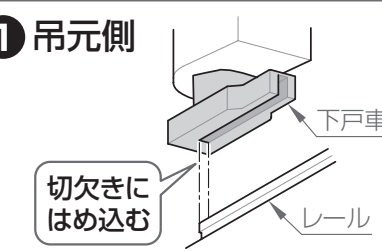
③ 吊元側



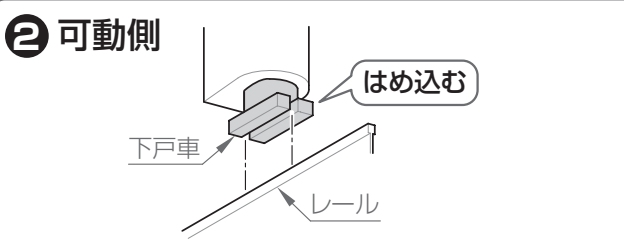
④ 可動側



① 吊元側



② 可動側



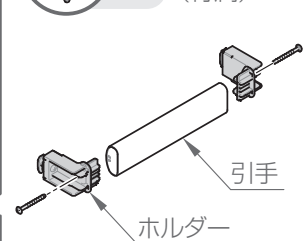
② 開閉確認

上下の戸車が正しくセットされていないと、障子が外れるおそれあり

3 引手取付け

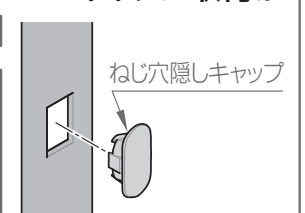
浴室側

① ホルダー取付け



手締め厳守
ドア破損防止

④ ねじ穴隠し キャップ取付け



洗面所側

手締め厳守
ドア破損防止

4 ラッチ調整

ドアを開ける際に、上ラッチと下ラッチの外れるタイミングに差がある場合、下ラッチを調整

手締め厳守
ドア破損防止

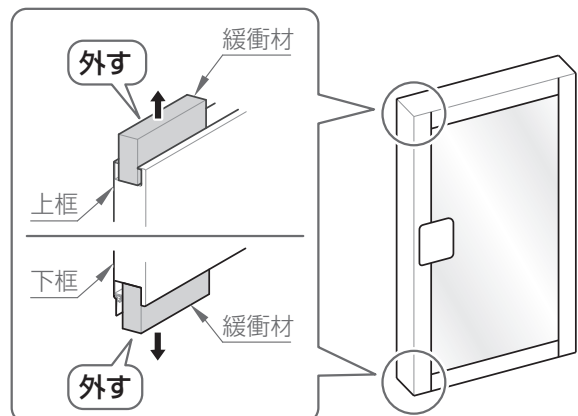
※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない
※調整機能は下ラッチのみ



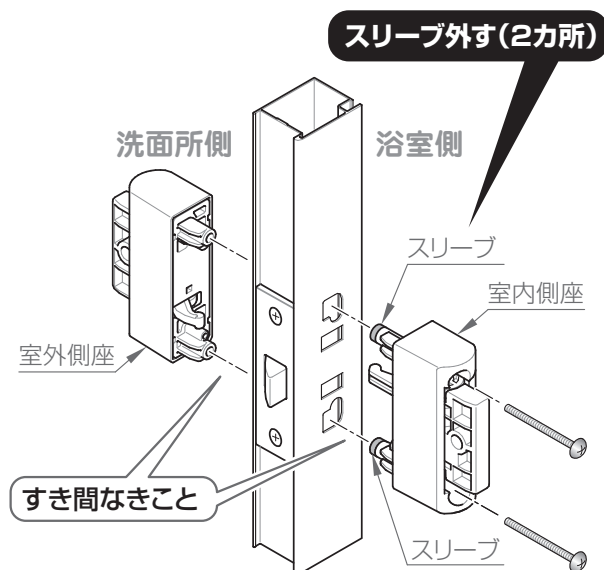
下ラッチの外れが遅い場合→ねじを上げる
下ラッチの外れが早い場合→ねじを下げる

L2. ドア(開き戸)

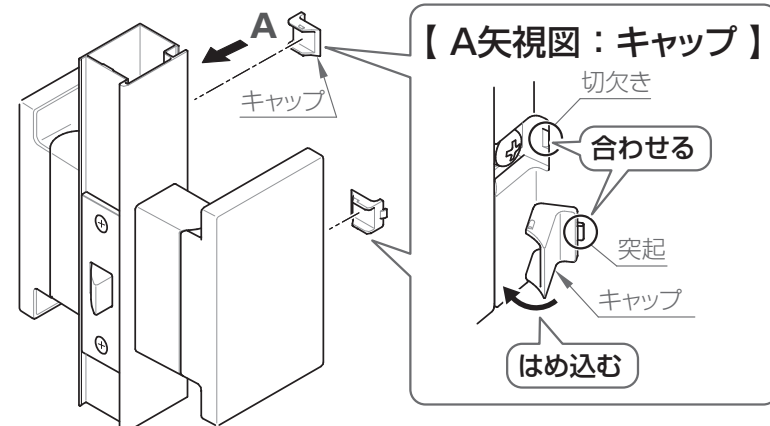
1 緩衝材取外し



2 座取付け

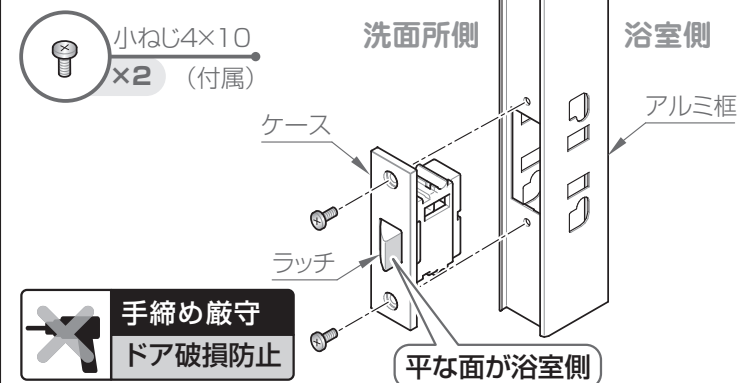


4 ハンドルキャップ取付け



2 ドアロック・ハンドル取付け

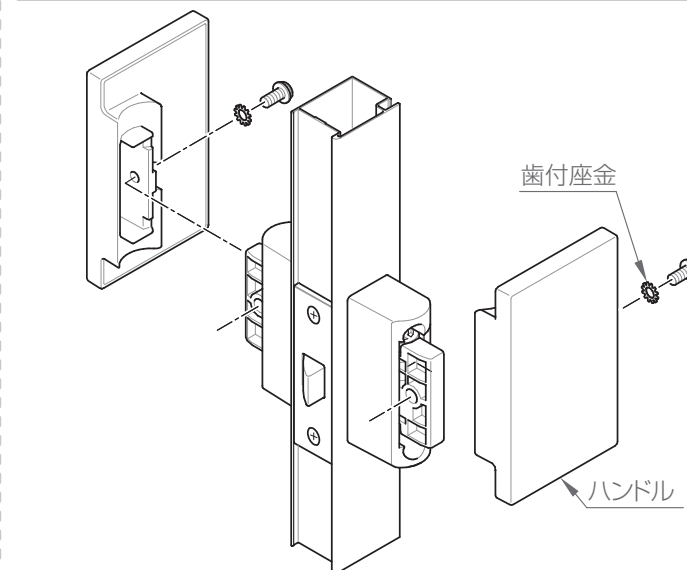
① ケース取付け



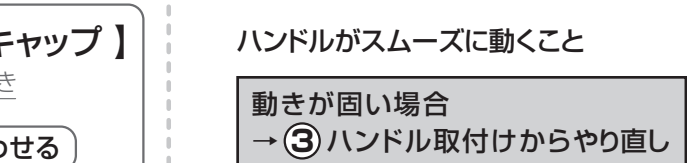
③ ハンドル取付け



締め過ぎ注意 ※ハンドルと室内側座が当たり、ハンドルが固くなりもどらなくなるおそれあり



⑤ ハンドル動作確認



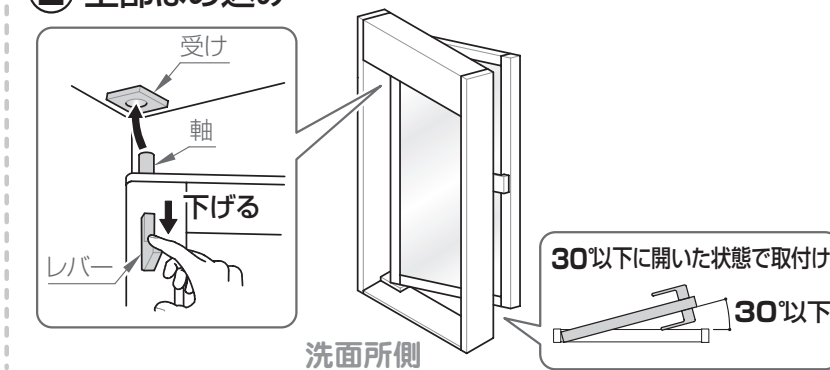
3 障子吊込み

- 障子は必ず開いた状態で作業を行う
- 作業は洗面所側から行う

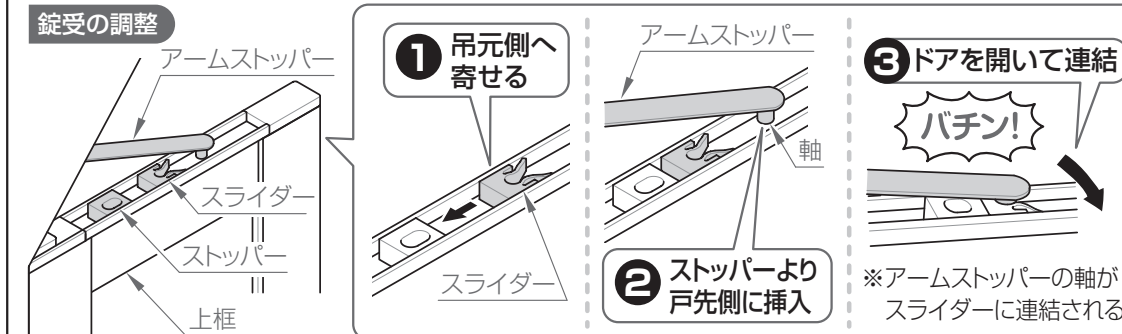
① 下部はめ込み



② 上部はめ込み



③ アームストッパーとスライダの連結



4 調整



- すべての調整において、調整後は再度ねじをしっかりと締める
- ※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない

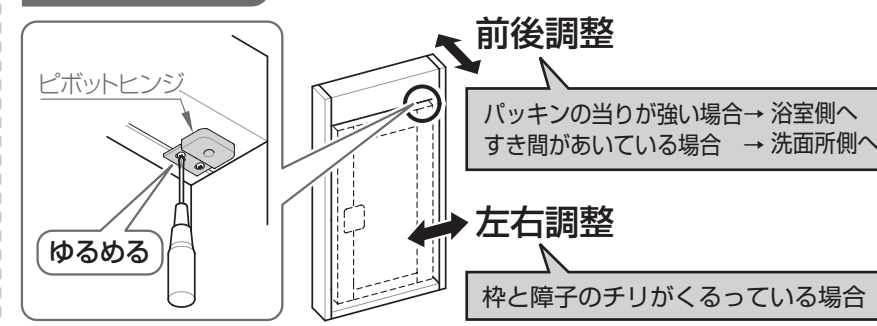
鉸受の調整

ラッチのかかりが悪い場合 → 浴室側へ
障子のガタツキが大きい場合 → 洗面所側へ



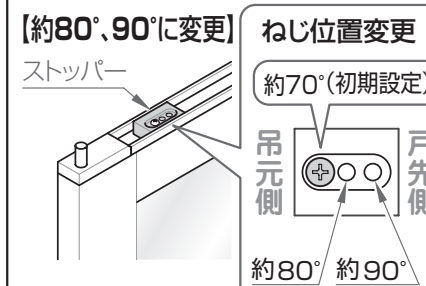
ピボットヒンジの調整

※一旦障子を取り外してから作業すること

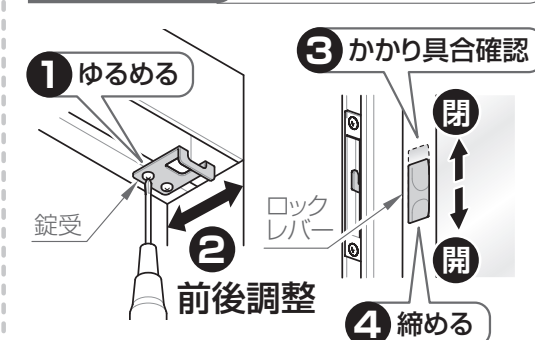


ドア開口角度の調整 広げたい場合 ※初期設定は約70°

勢いよくドアを開けた場合、調整した角度より大きく開くため注意する



ロック鉸受の調整 ロックのかかりが悪い場合



5 開閉確認

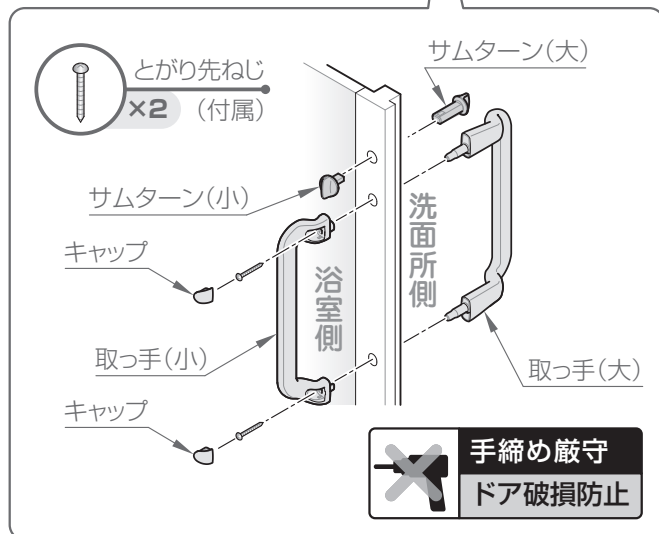
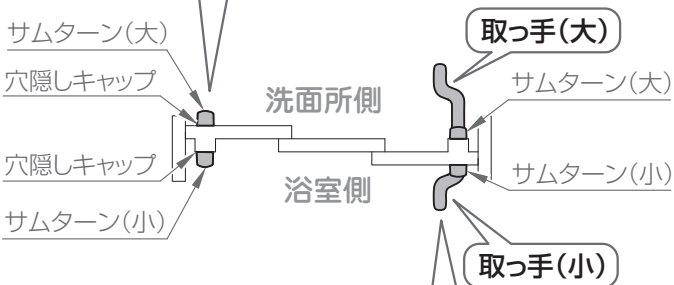
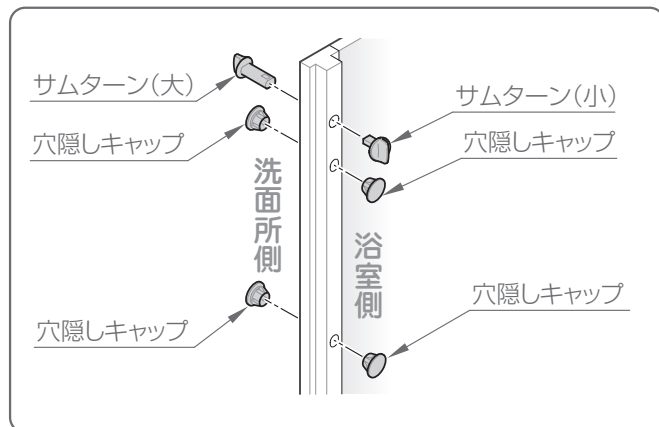
※異常があった場合、前述の調整を繰り返し、場合によっては取付開口部の垂直度、水平度を確認すること

L3. ドア(3枚引戸)

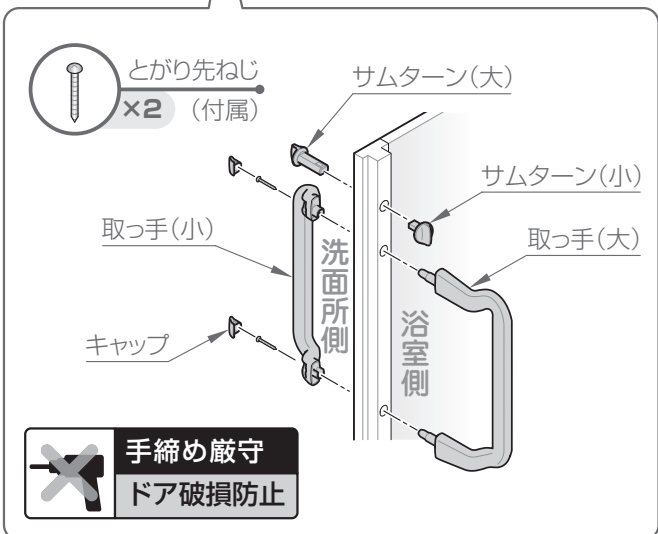
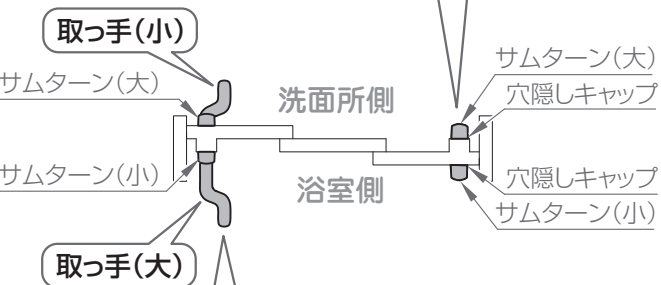
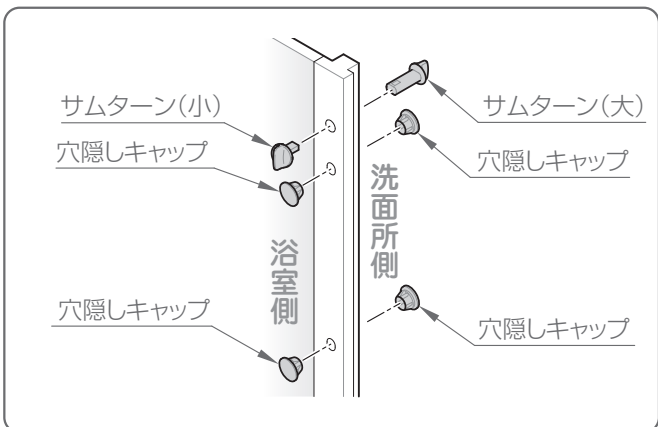
1 取っ手・サムターン取付け

大型ハンドル

洗面所側から見て左取っ手

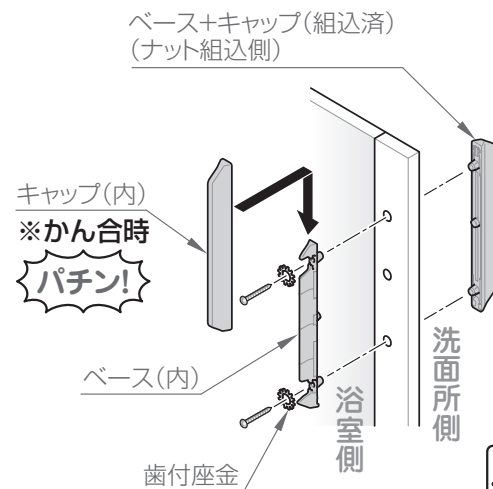


洗面所側から見て右取っ手

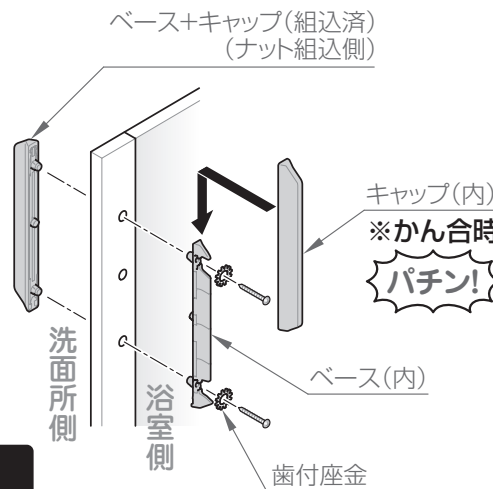


スリムハンドル

洗面所側から見て左取っ手

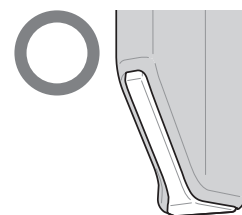


洗面所側から見て右取っ手

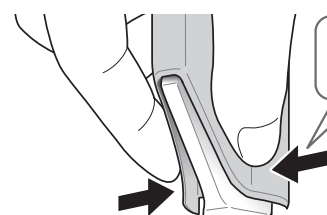
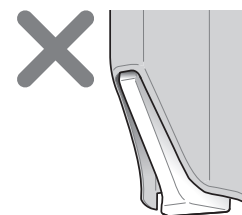


締め過ぎ注意
障子を変形させないため (キャップがセットできなくなります)

必ず、すき間を確認すること



※キャップの下端をチェック



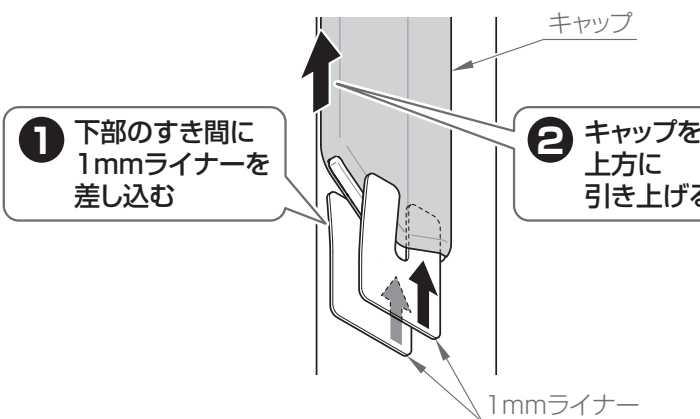
すき間がある場合は
指でつまんであはめる

※つまんでも入らない場合は、
取付ねじを多少ゆるめる

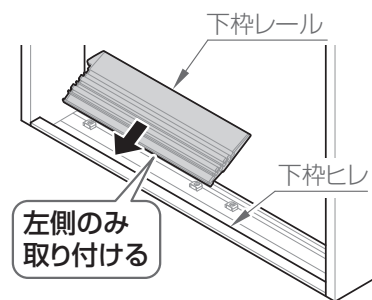
※サムターンと穴隠しキャップの取付けは、左記(大型ハンドル)を参照

メンテナンス
要領

キャップの取外しかた



2 下枠レール取付け(一部)

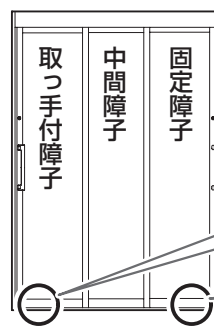


洗面所側から見て左

3 障子取付け

●作業は洗面所側から行う

【障子取付け時の注意】

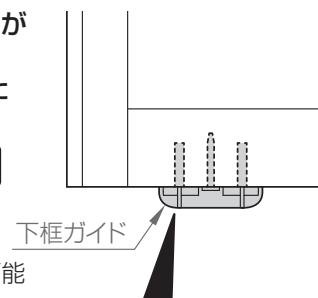


大型ハンドルの場合のみ

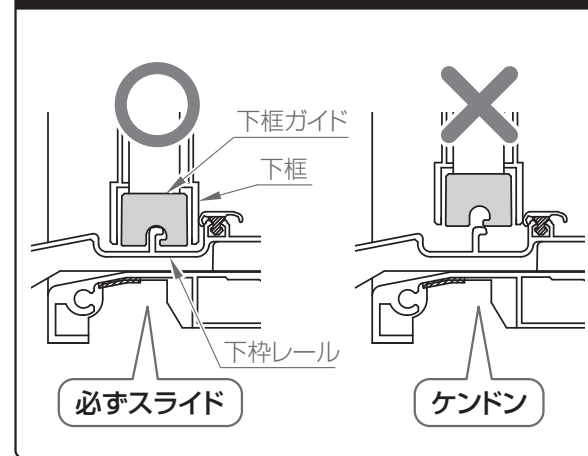
この内側に下枠ガイドが
セットされる
下枠レールに合わせた
凹形状溝

手順通り組み立てる

※スリムハンドルの場合
下枠ガイドはなし
「ケンドン式」で着脱可能



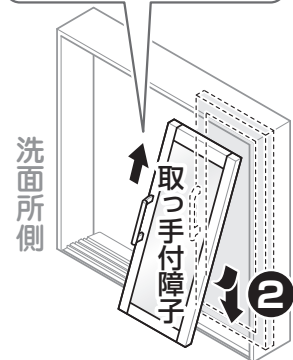
必ず下枠レールにスライドさせて差し込む
これまでのケンドンでの取付けはNG



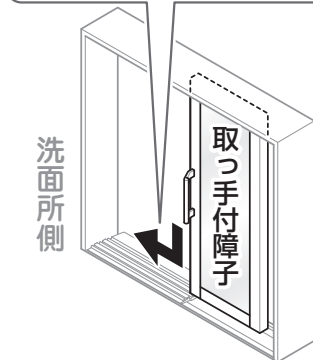
洗面所側から見て左取っ手

① 取っ手付障子取付け

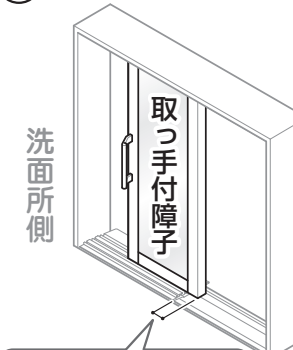
① 下枠レールがない
ところで差し込む



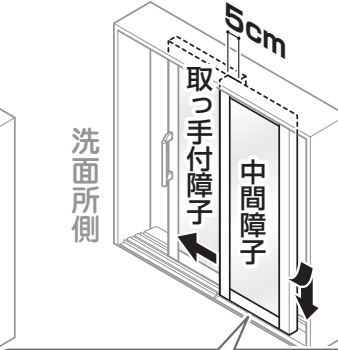
③ 下枠レールに沿って
スライドさせて差し込む



② 中間障子取付け

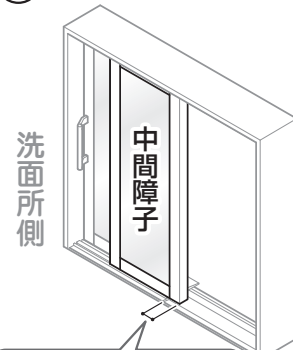


① 下枠レール端部
より約10cm出す

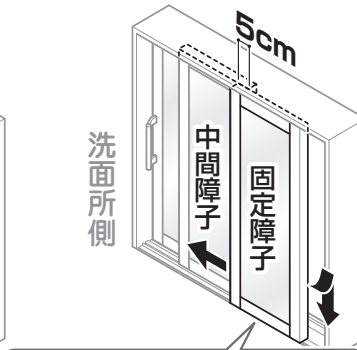


② 障子を5cm重ねて
①①～③の手順で取付け

③ 固定障子取付け

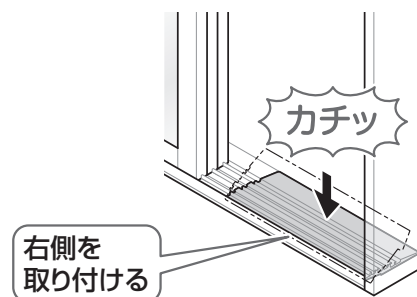


① 下枠レール端部
より約10cm出す



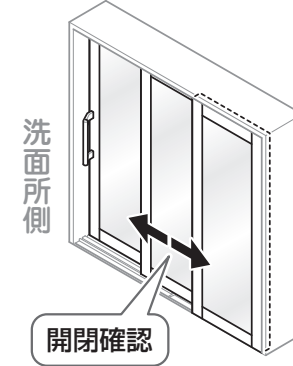
② 障子を5cm重ねて
①①～③の手順で取付け

④ 下枠レール取付け



右側を
取り付ける

⑤ 取付け後確認



開閉確認

下枠ガイド付障子を両手で
持ち上げ、手前に引いても
外れないことを確認する

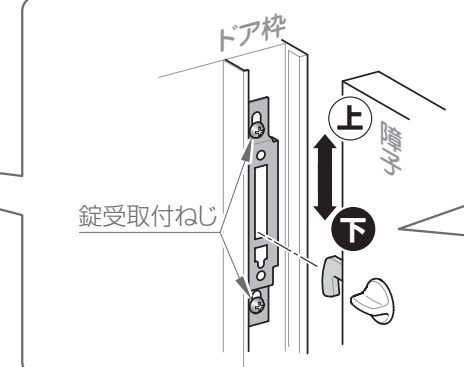
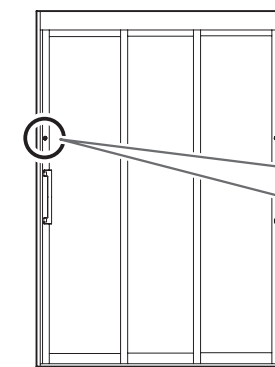


4 調整

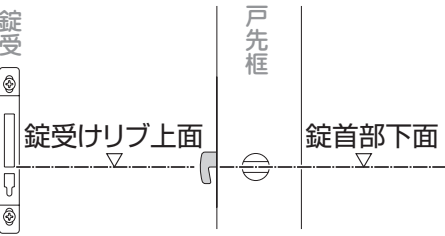
手締め厳守
ドア破損防止

※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない

錠受の調整 錠のかかりが悪い場合 → 錠受のねじをゆるめ、上下方向に調整する

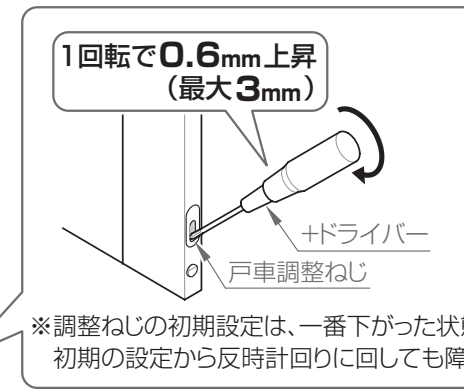
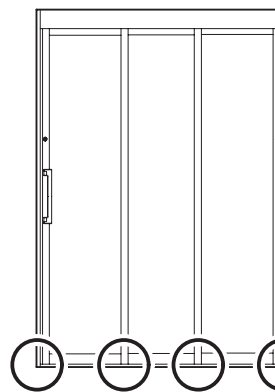


錠受けリブ上面 = 錠首部下面



●調整後は再度ねじをしっかりと締めること

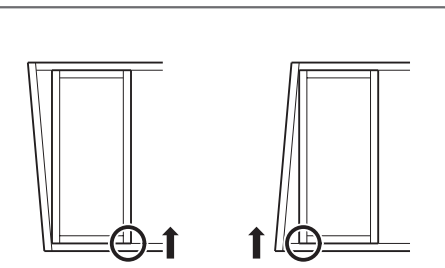
戸車の調整 建付けが悪い場合 → 戸車を上下させ、枠と障子のすき間が均等になるように調整し、開閉確認する



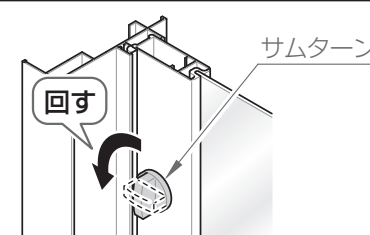
1回転で0.6mm上昇
(最大3mm)

＋ドライバー
戸車調整ねじ

※調整ねじの初期設定は、一番下がった状態
初期の設定から反時計回りに回しても障子は動かない



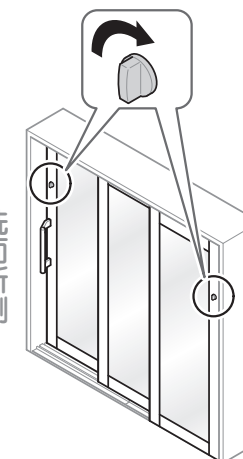
5 固定側障子施錠



障子の取外しかた

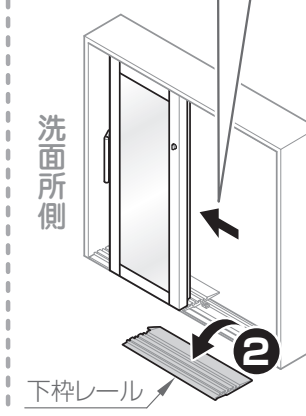
●作業は洗面所側から行う

① ロック解除



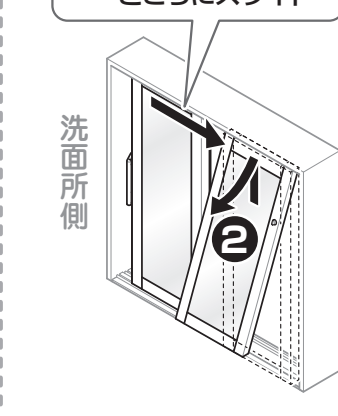
② 片側の下枠レール 取外し

① 障子を片側に寄せる



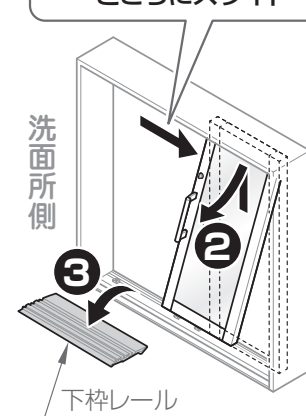
③ 固定障子から 順番に取外し

① 下枠レールのない
ところにスライド



④ 残りの障子、 下枠レール取外し

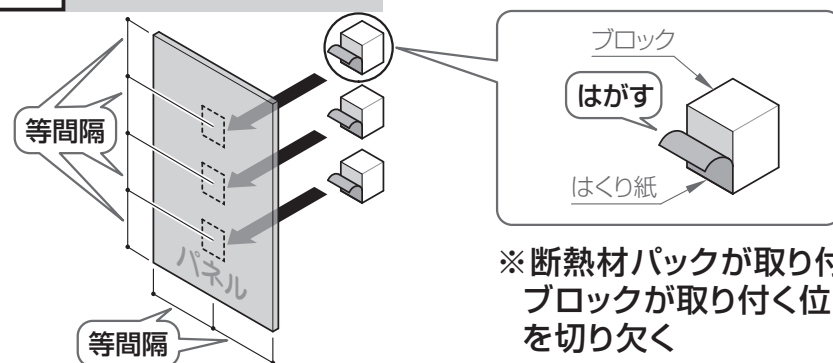
① 下枠レールのない
ところにスライド



L4. ドア(片引戸／2枚引戸)

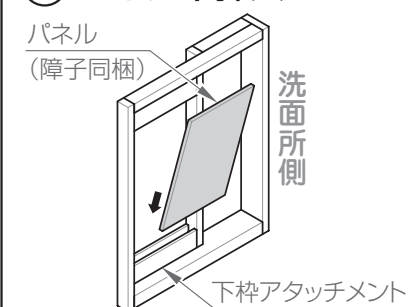
片引戸のみ

1 ブロック取付け

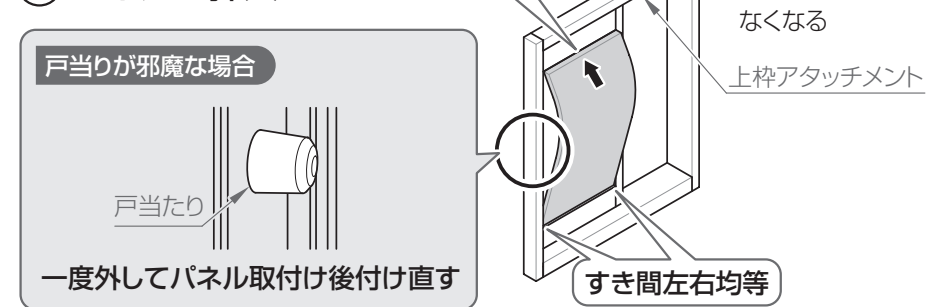


2 袖パネル取付け

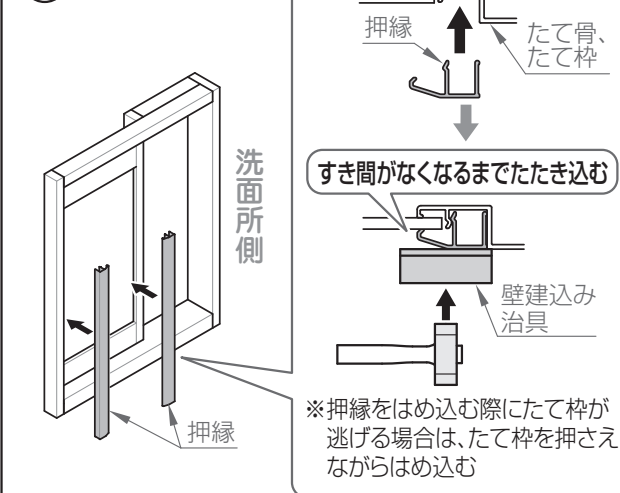
① パネル下挿入



② パネル上挿入



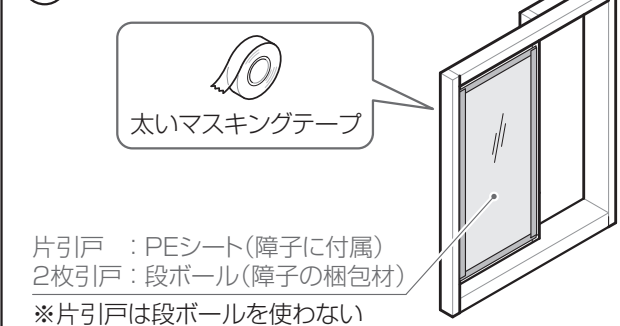
③ 押縁取付け



押縁を外す場合

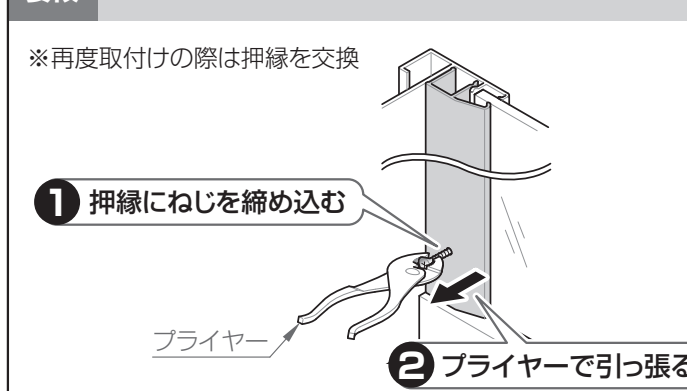


④ 袖パネル養生



メンテナンス要領

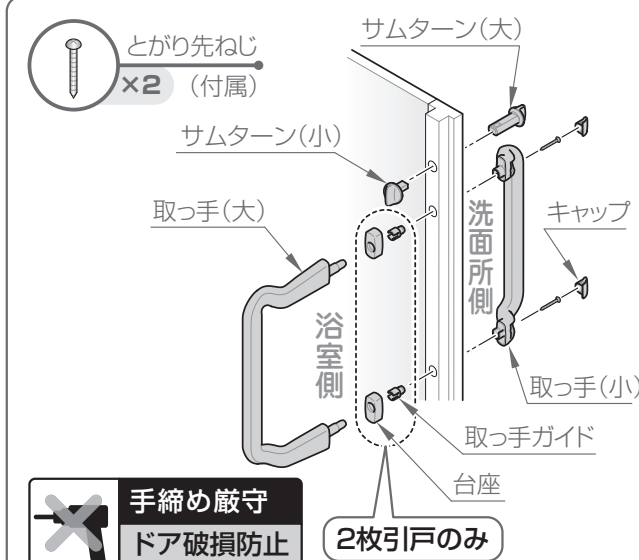
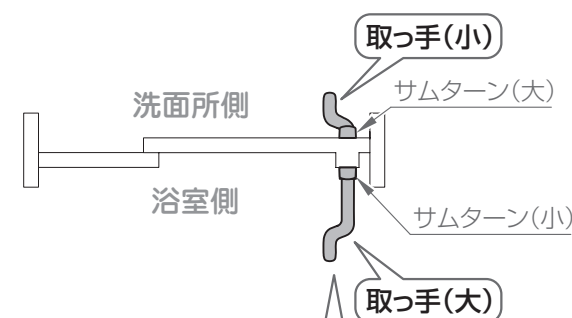
額縁取付け後の押縁の取外しかた



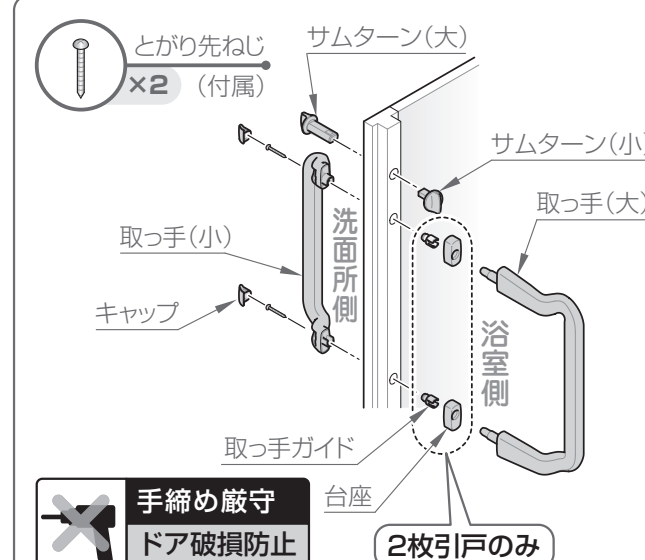
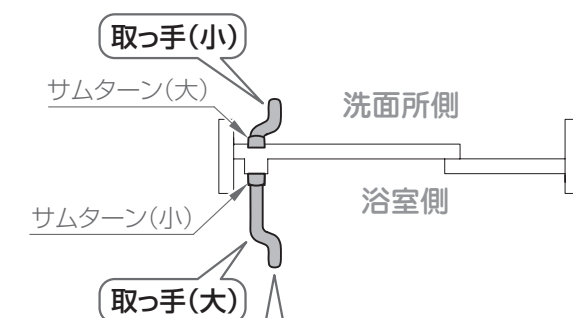
3 取っ手・サムターン取付け

大型ハンドル

洗面所側から見て左取っ手

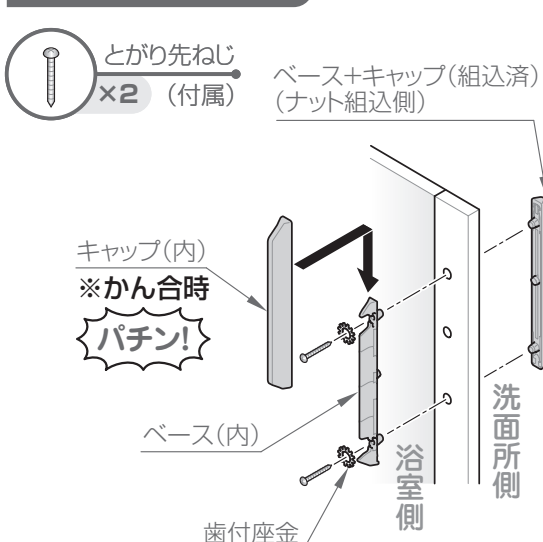


洗面所側から見て右取っ手

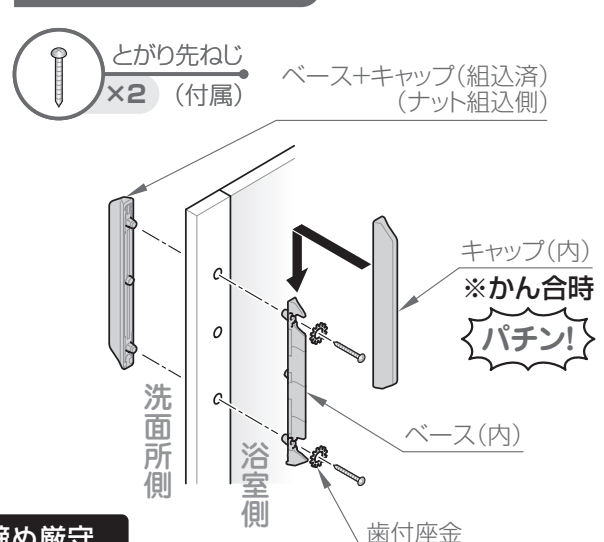


スリムハンドル

洗面所側から見て左取っ手



洗面所側から見て右取っ手

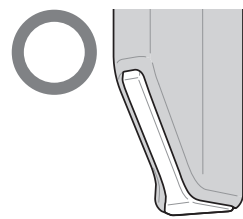


締め過ぎ注意

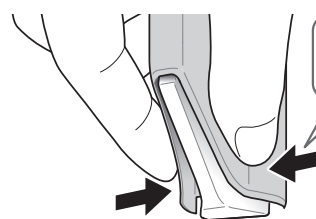
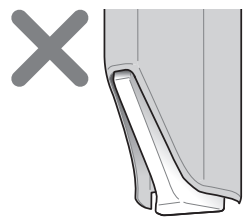
障子を変形させないため(キャップがセットできなくなります)

※次ページに注記あり

必ず、すき間を確認すること



※キャップの下端をチェック



すき間がある場合は
指でつまんではめる

※つまんでも入らない場合は、
取付ねじを多少ゆるめる

※サムターンと穴隠しキャップの取付けは、L4-2ページ(大型ハンドル)を参照
※キャップの取外しかたはL3-2ページ参照

2枚引戸
のみ

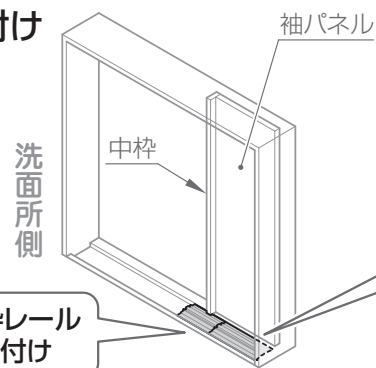
4 下枠レール・障子・下枠カバー取付け

●作業は洗面所側から行う

洗面所側から見て左取っ手

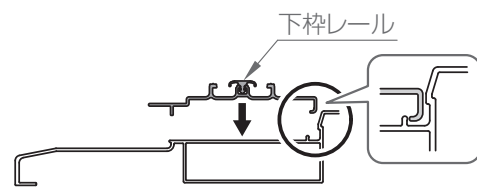
- 穴加工2カ所 → 戸先側
- 中央に切欠き → 中間
- 片側のみ穴加工 → 戸尻側

① 下枠レール取付け

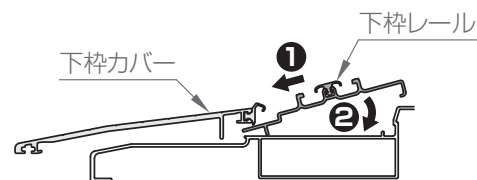


袖パネル側の下枠レール
戸尻側と中間を取付け

■下枠カバーが取り付けしていないとき



■下枠カバーが取り付けいているとき



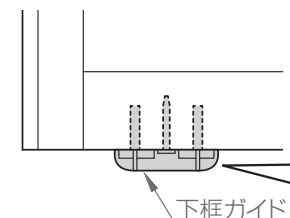
【障子取付け時の注意】

大型ハンドルの場合のみ

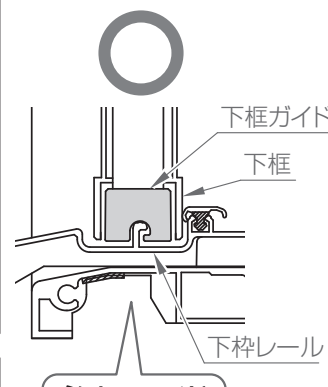
この内側に下枠ガイドが
セットされる
下枠レールに合わせた
凹形状溝

手順通り組み立てる

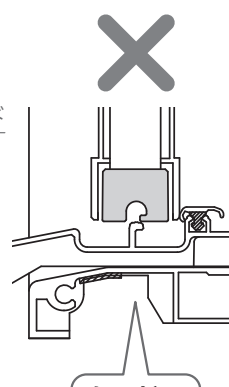
※スリムハンドルの場合
下枠ガイドはなし
「ケンドン式」で着脱可能



必ず下枠レールにスライドさせて差し込む
これまでのケンドンでの取付けはNG



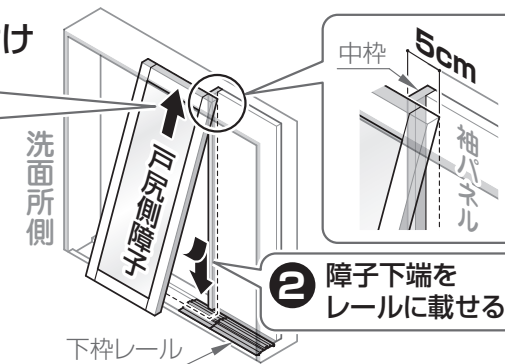
必ずスライド



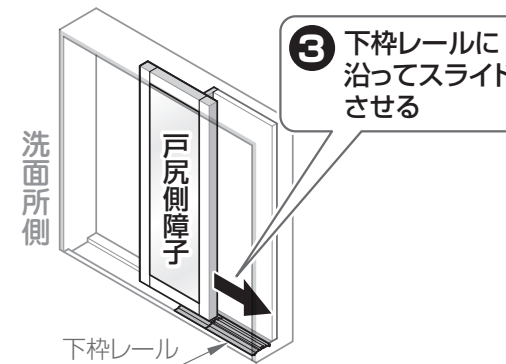
ケンドン

② 戸尻側障子取付け

① 障子を中枠に
5cm重ねて
上部差込み



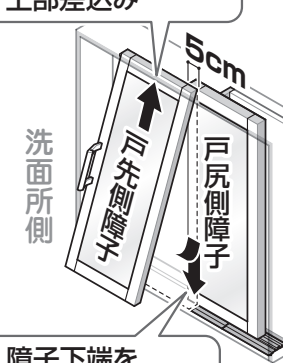
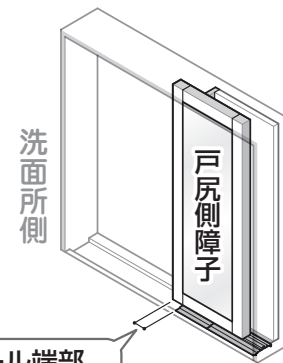
② 障子下端を
レールに載せる



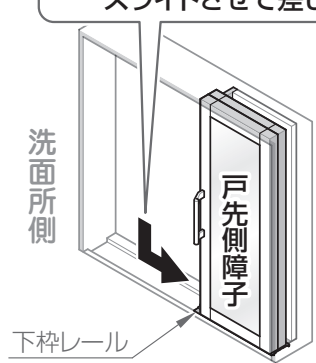
③ 下枠レールに
沿ってスライド
させる

③ 戸先側障子取付け

② 障子を5cm重ねて
上部差込み

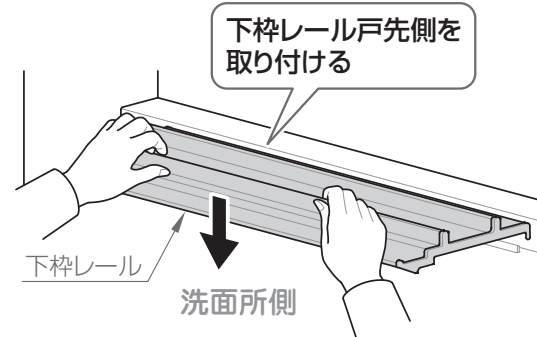


④ 下枠レールに沿って
スライドさせて差し込む

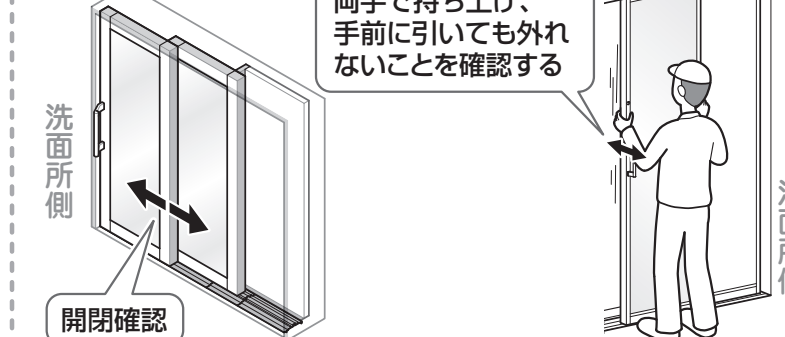


① 下枠レール端部
より約10cm出す

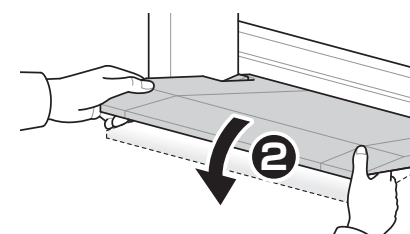
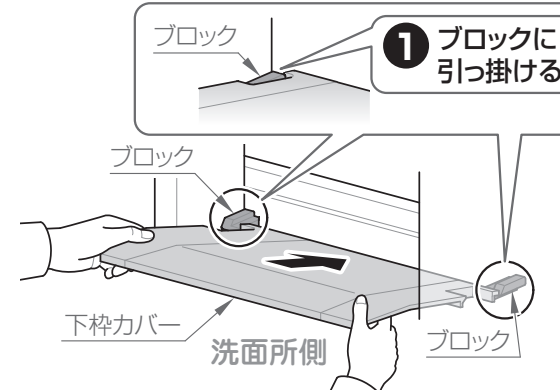
④ 下枠レール(戸先側)取付け



⑤ 取付け後確認



⑥ 下枠カバー(開口側)取付け



片引戸
のみ

5 障子取付け

●作業は洗面所側から行う

洗面所側から見て左取っ手



洗面所側から見て右取っ手



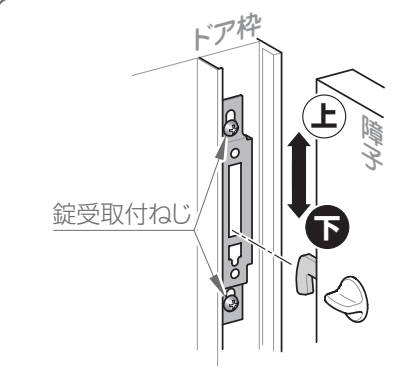
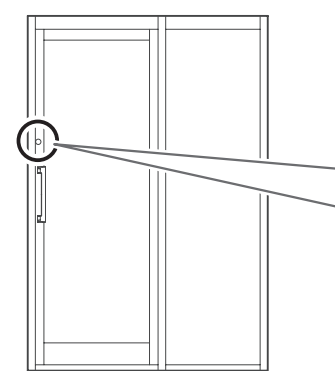
6 調整



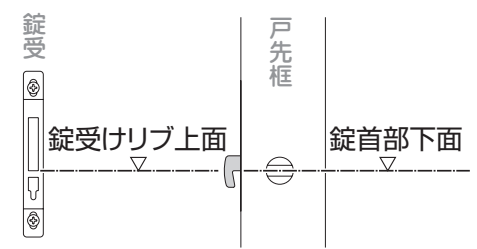
手締め厳守
ドア破損防止

※あくまでも補助的な調整で、組立てのくるいをカバーするものではない

錠受の調整 錠のかかりが悪い場合 → 錠受のねじをゆるめ、上下方向に調整する

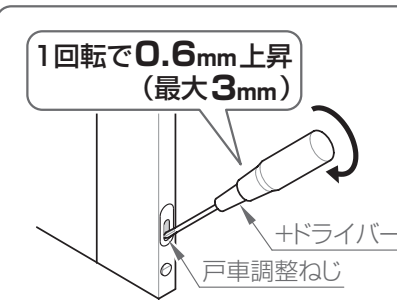
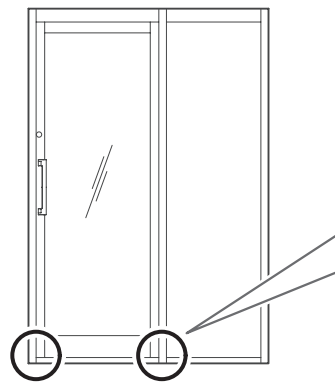


錠受けリブ上面 = 錠首部下面

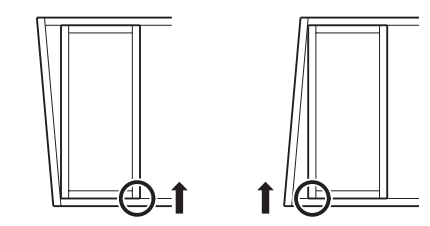


● 調整後は再度ねじをしっかりと締めること

戸車の調整 建付けが悪い場合 → 戸車を上下させ、枠と障子のすき間が均等になるように調整し、開閉確認する



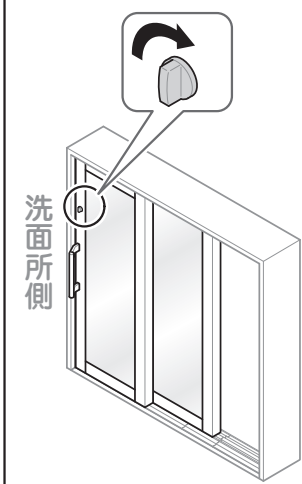
※調整ねじの初期設定は、一番下がった状態
初期の設定から反時計回りに回しても障子は動かない



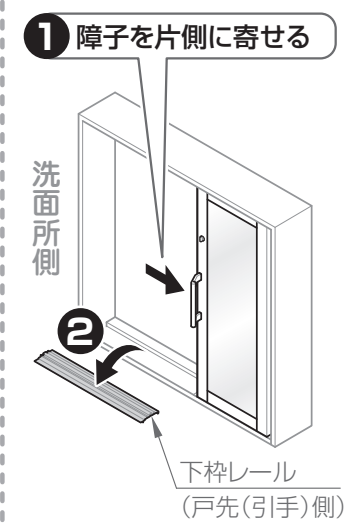
2枚引戸の障子の取外しかた

● 作業は洗面所側から行う

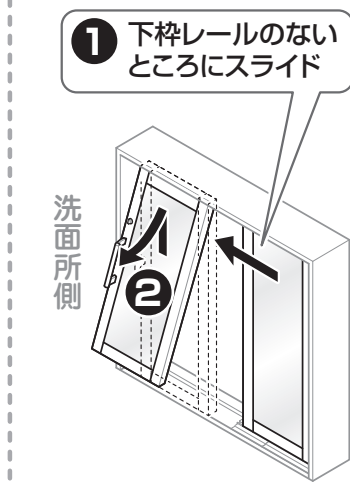
① ロック解除



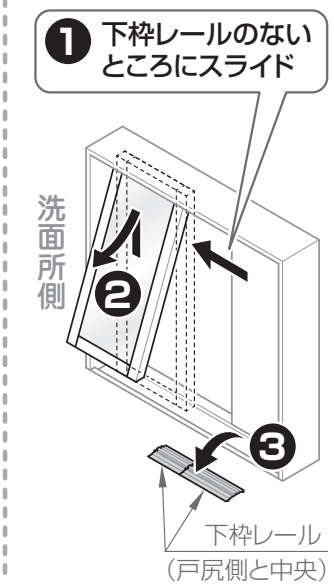
② 下枠レール (戸先(引手)側) 取外し



③ 障子(戸先側) 取外し



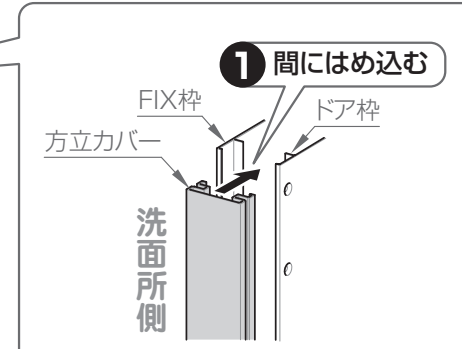
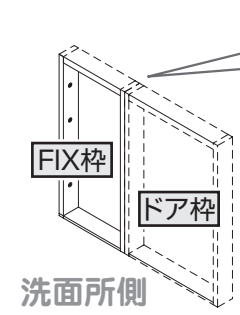
④ 障子(戸尻側)、下枠レール(戸尻側と中央)取外し



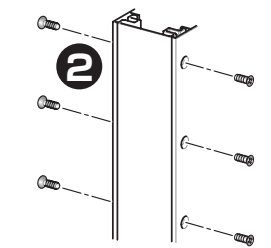
L5. ドア(FIX窓／ハーフFIX窓／共通)

FIX窓のみ

1 方立カバー取付け



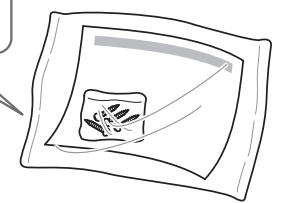
方立カバー取付ねじ
x6(ハーフ) x10(フル) (付属)



2 後工事の方への引継ぎ

※UB組立業者様から後工事の方に、右記部品を袋ごとお渡しください

・ドアと額縁を固定するねじ
・ちらし

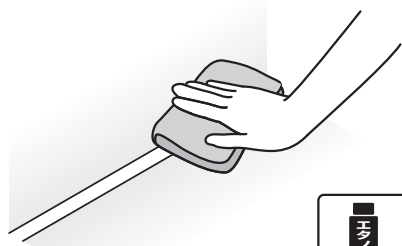


MEMO

P. 仕上げ

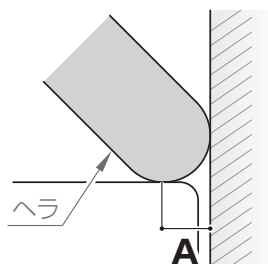
1 シリコンコーキング(シリコンの打ち方)

① 清掃・脱脂



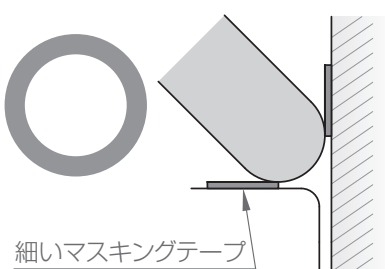
エタノール使用
凹凸・剥離防止

② ヘラを選定



A 寸法	
5mm のヘラ	約 3mm 以内
10mm のヘラ	約 3mm より広い

③ マスキングテープ貼り

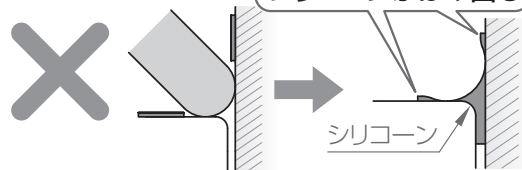


ヘラ幅に合わせて貼付け
はみ出し・はね防止

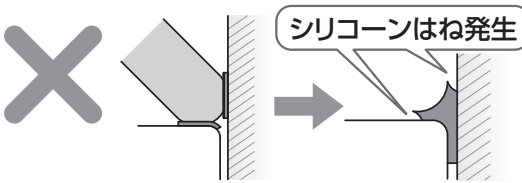


密着確認厳守
はみ出し・はね防止

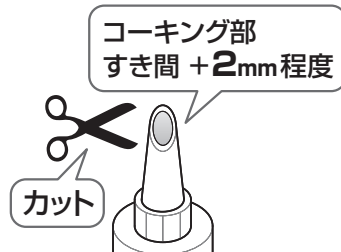
広すぎる場合



狭すぎる場合

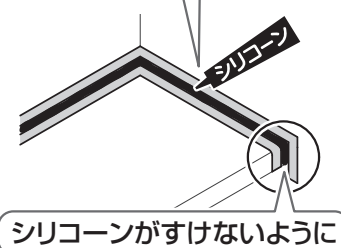
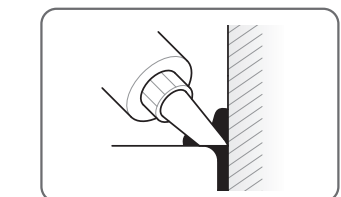


④ シリコンノズルカット



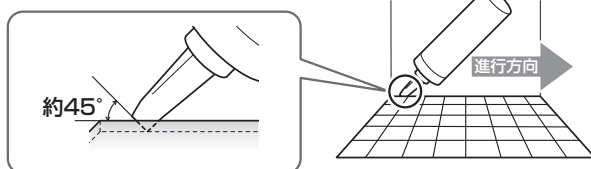
⑤ シリコン充てん

奥までたっぷり充てん
シリコン切れ防止



浴槽・洗い場床まわりは偏平ノズルを使用 シリコン切れ防止

【偏平ノズルの使いかた】
ノズルを斜めに奥まで差し込む



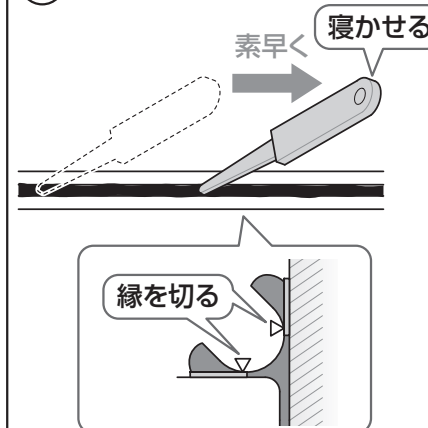
ガイドピースあり



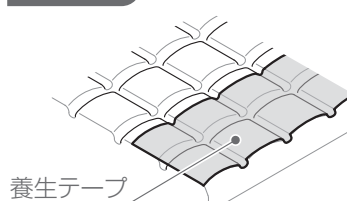
ガイドピースなし



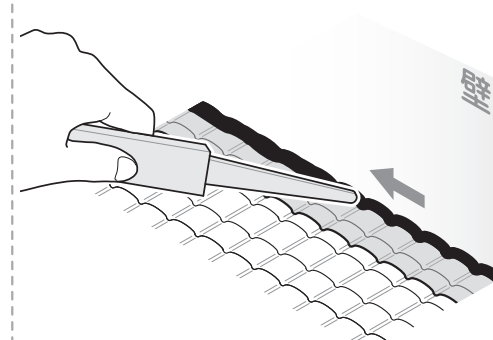
⑥ 仕上げ



床の場合



養生テープは床の際まで貼り、
床パターン形状に沿ってテープ
をなじませる。(溝部にシリコン
を入り込ませないため)



シリコンコーキング

※カウンターまわりのシリコンコーキングなし(拡張カウンター除く)

【洗い場床まわり】

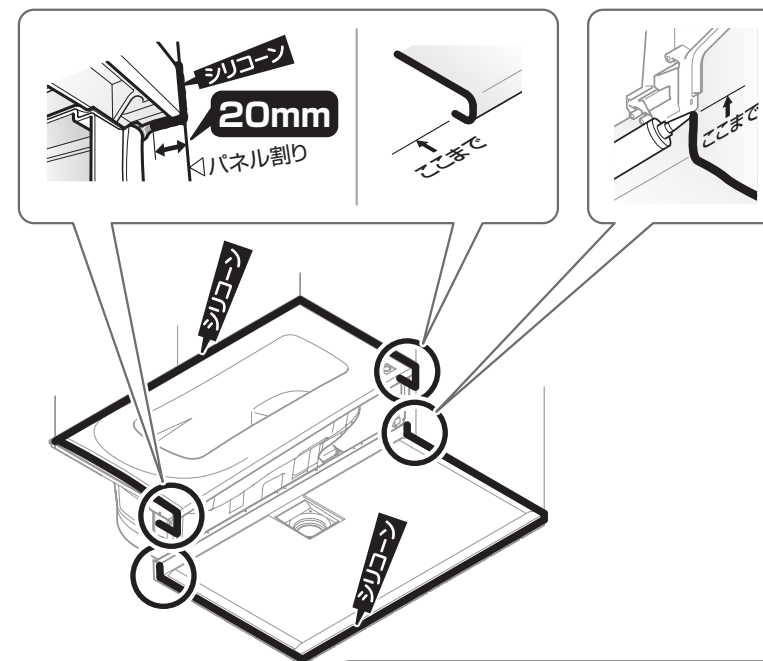
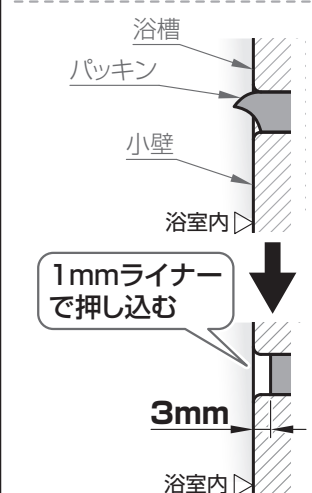
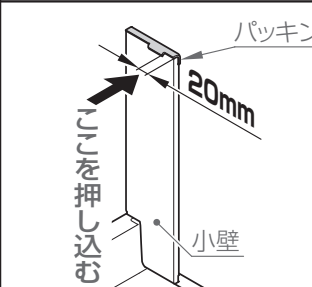
床色			シリコン色	品番
ラグ調	タイル調	単色		
—	ホワイト コーラル ライトブラウン	ホワイト	ホワイト	G967C
ホワイト ベージュ ライトグレー	パールブルー ベージュ ライトグレー	— ベージュ ライトグレー	ミルトホワイト ソフトベージュ ライトグレー	G967#MTW G967#AGV1 G967LG
ブラウン	—	—	ミッドナイト ブラウン	G967MNB
—	ブラック	—	ミッドナイト グレー	G967MNG1

【浴槽まわり】

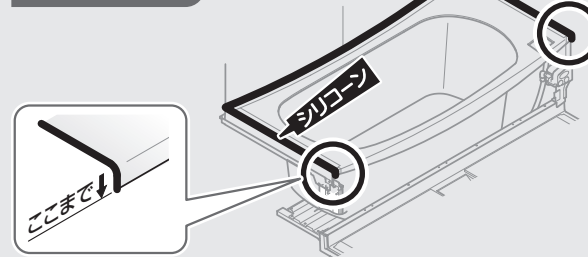
浴槽色		シリコン色	品番
FRP	人大浴槽		
ホワイト ピンクN アクアN ベージュN ブラック	ジュエリー ホワイトN ジュエリー ピンクN2 ジュエリー アクアN ジュエリー クリームN ジュエリー ブラック	ホワイト ソフト ベージュ ブラック	G967C G967#AGV1 G967K1

小壁パネルの上側パッキン
を押し込む

仕上げ用シリコン溝を
確保するため



クレイドル浴槽



【ドア上小壁】

ドア色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ブラチナステン	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1

ドア枠とドア上小壁との接合部

【天井四隅】

シリコン色	品番
ホワイト	G967C

【拡張カウンターまわり(1818)】

カウンターカバーまわり： 

拡張カウンター色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ベージュ	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1

カウンター下パネルまわり： 

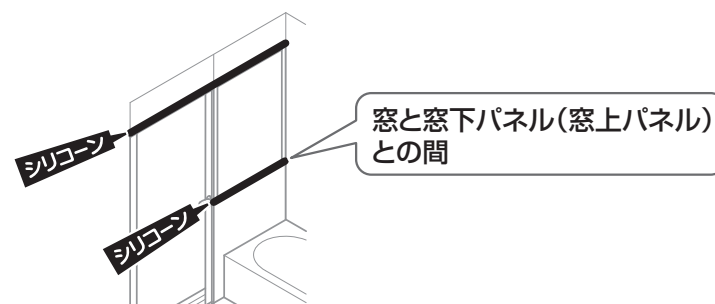
壁柄	シリコン色	品番
ファルティウッド	ブラック	G967K1
セイラン		
ブラナスブラウンウッド		
マチエルレッド		
ロブストグレー		
マルキーナグレー		
リフルブラウン	ホワイト	G967C
ミディアムウッドN		
上記以外	ホワイト	G967C

4面同色

窓まわりのシリコンコーキング

FIX窓(ハーフ)

FIX窓(ハーフ)色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ブラチナステン	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1



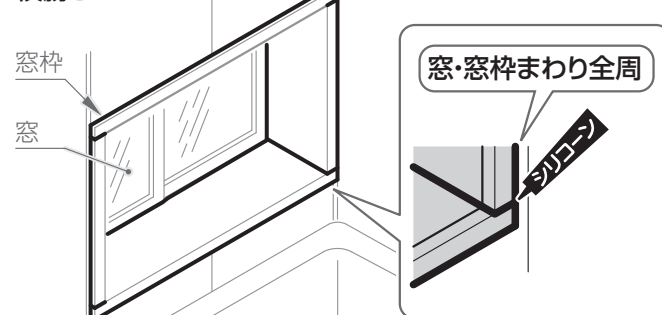
窓枠

窓枠色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ブラチナステン	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1

縦勝ち



横勝ち



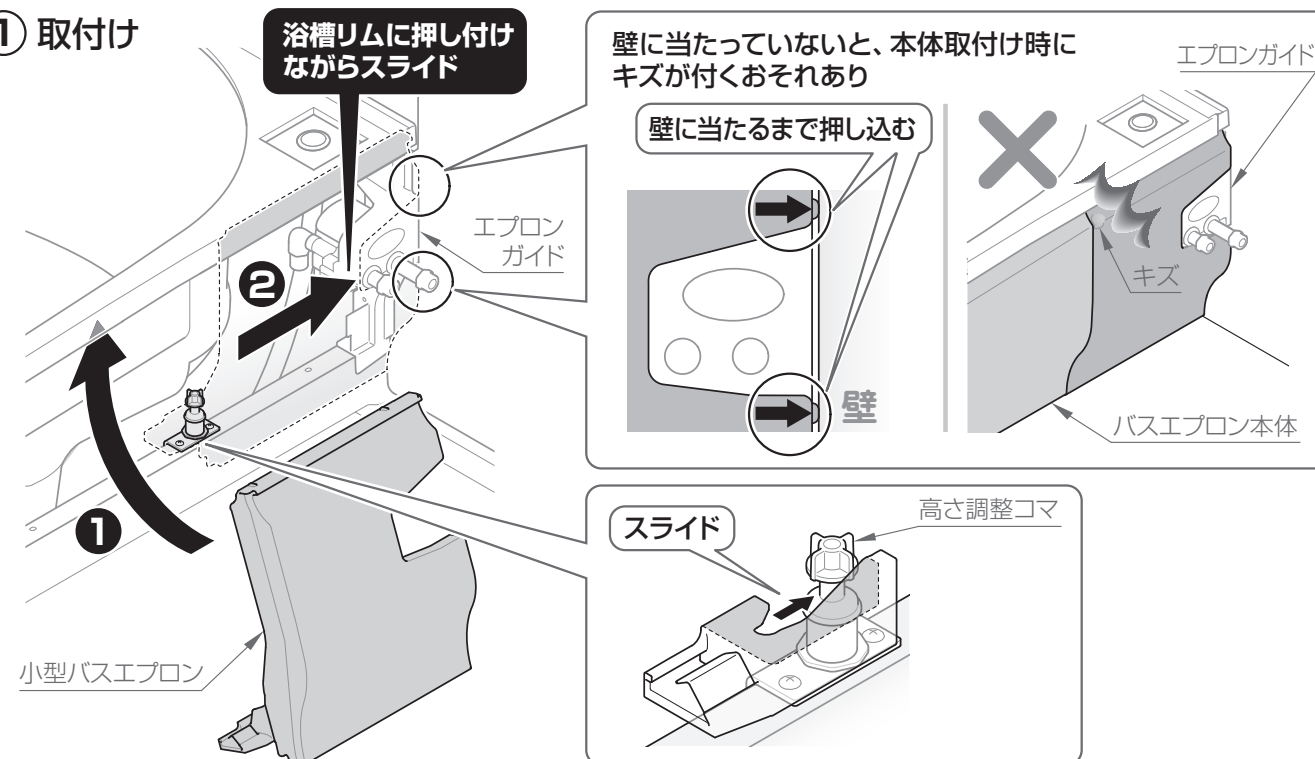
Fタイプ

2

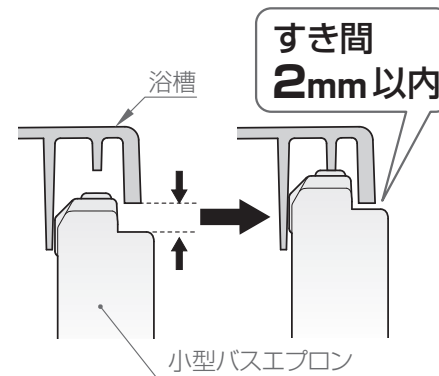
小型バスエプロン取付け

※断熱防水パン仕様の場合は
エプロンガイドの形状が異なる

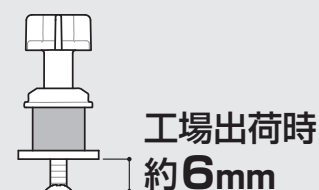
① 取付け



② 段差の確認

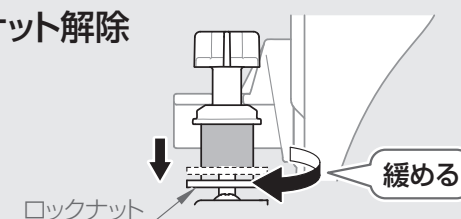


[参考寸法]

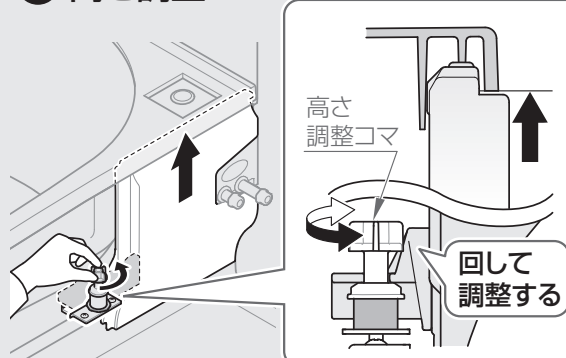


調整する場合 ③ 高さ調整方法

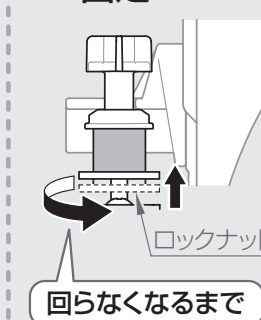
① ロックナット解除



② 高さ調整



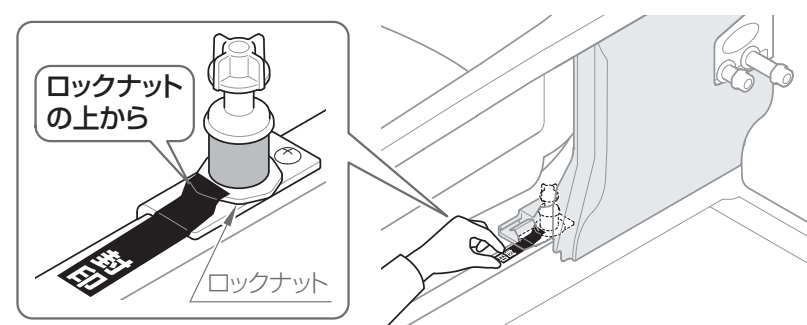
③ ロックナット 固定



④ 封印シール貼付け

ロックナットをきつく締めた事を
確認後、貼り付ける
調整後の不必要な操作禁止

※貼り付けにくい場合は、
小型バスエプロンを外してから実施



3 バスエプロン取付け

人大エプロン以外

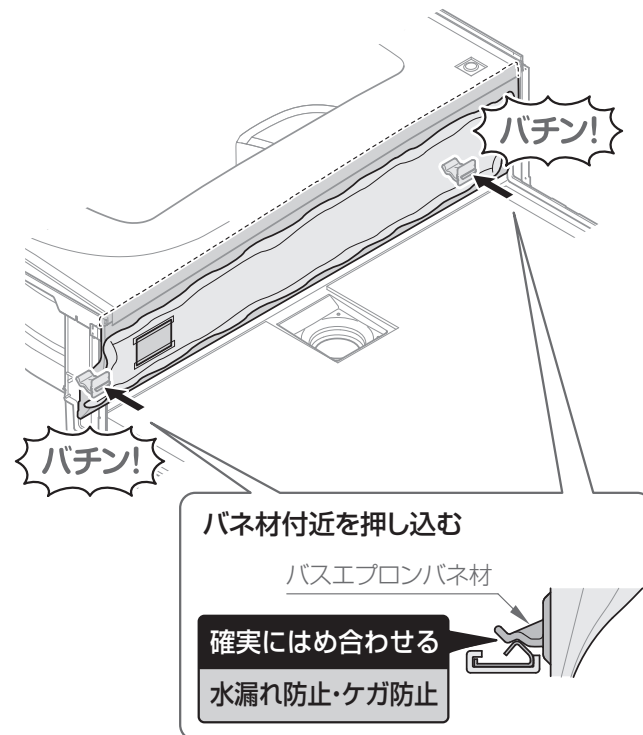
① 取付け 壁キズ付け注意



① 左右均等にしっかり引き上げる

② 下部を浴槽に寄せる

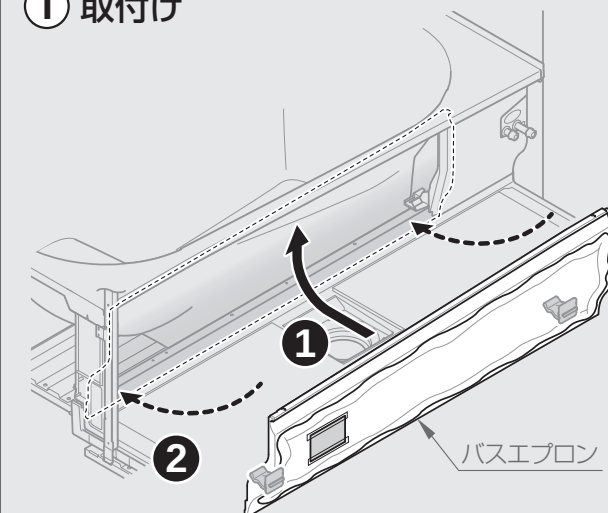
② かん合



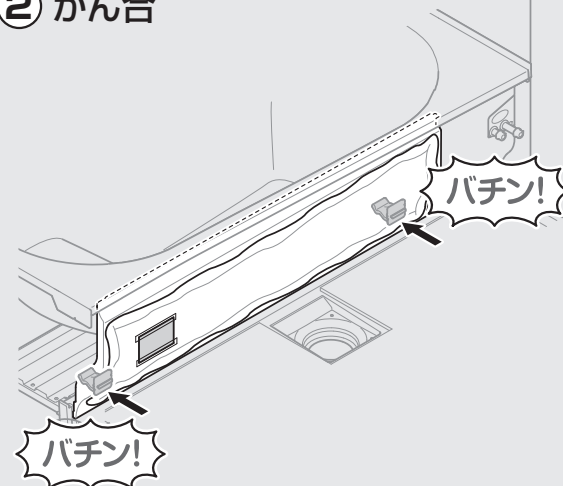
※バスエプロンが入りにくい場合はバネ材付近を手で
タタキ込む

小型バスエプロンあり

① 取付け



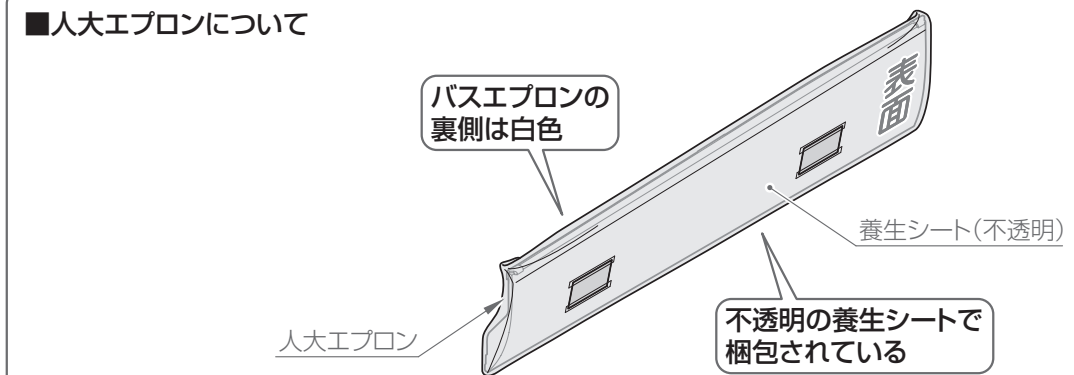
② かん合



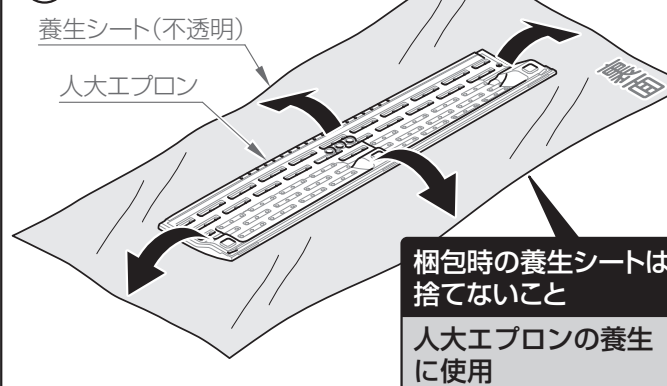
人大エプロン

※本図は小型バスエプロンなしを示す 小型バスエプロンありの場合も同手順

■人大エプロンについて

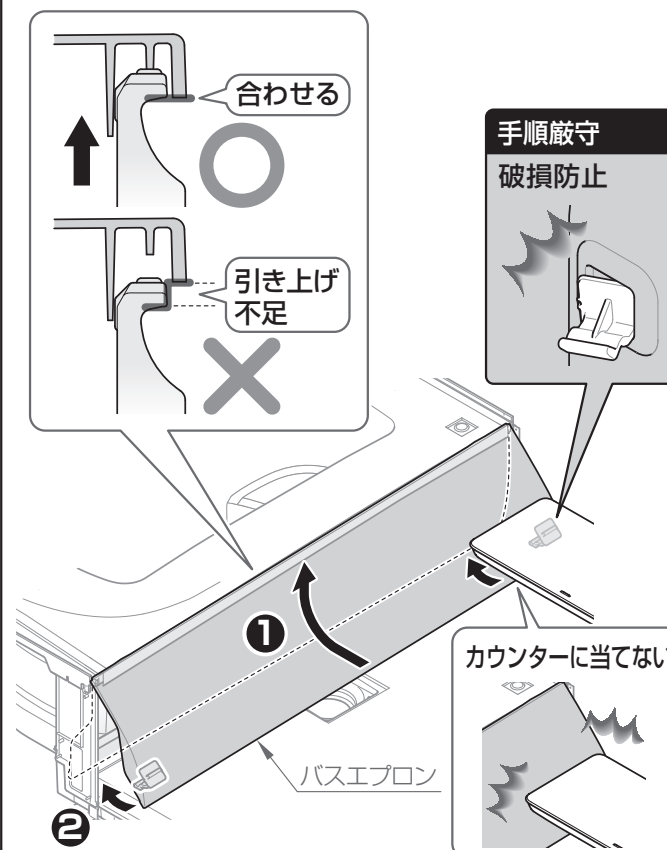


① 養生取り出し



② 取付け

壁・カウンターキズ付け注意



① 左右均等にしっかり引き上げる

② 下部を浴槽に寄せる

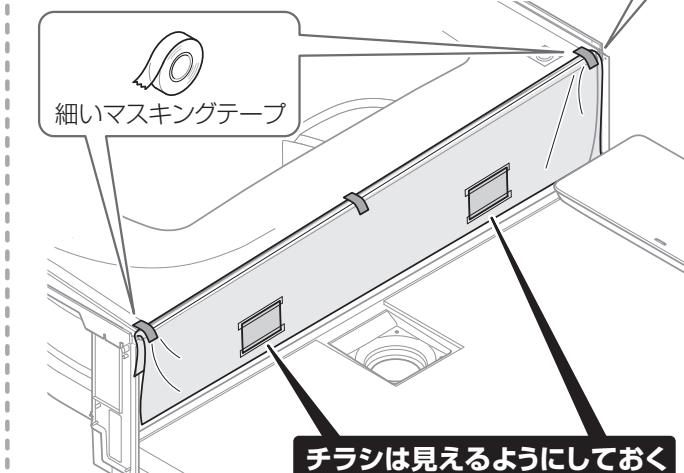
③ かん合



※バスエプロンが入りにくい場合はバネ材付近を手で
タタキ込む

④ 養生

梱包時の養生シートをエプロンの大きさに合わせて
折り曲げ、浴槽にかけ、マスキングテープで固定



※Fタイプの場合、小型バスエプロンの養生シートは必要なし

【バスエプロンと壁分割ラインの取合い】

対象の浴槽

浴槽長さ	ゆるリラ浴槽	ラウンド浴槽
1100	—	○
1150	—	○
1200	○	○
1300	○	○

バスエプロン上側が、
壁分割ラインより奥となる状態が正常

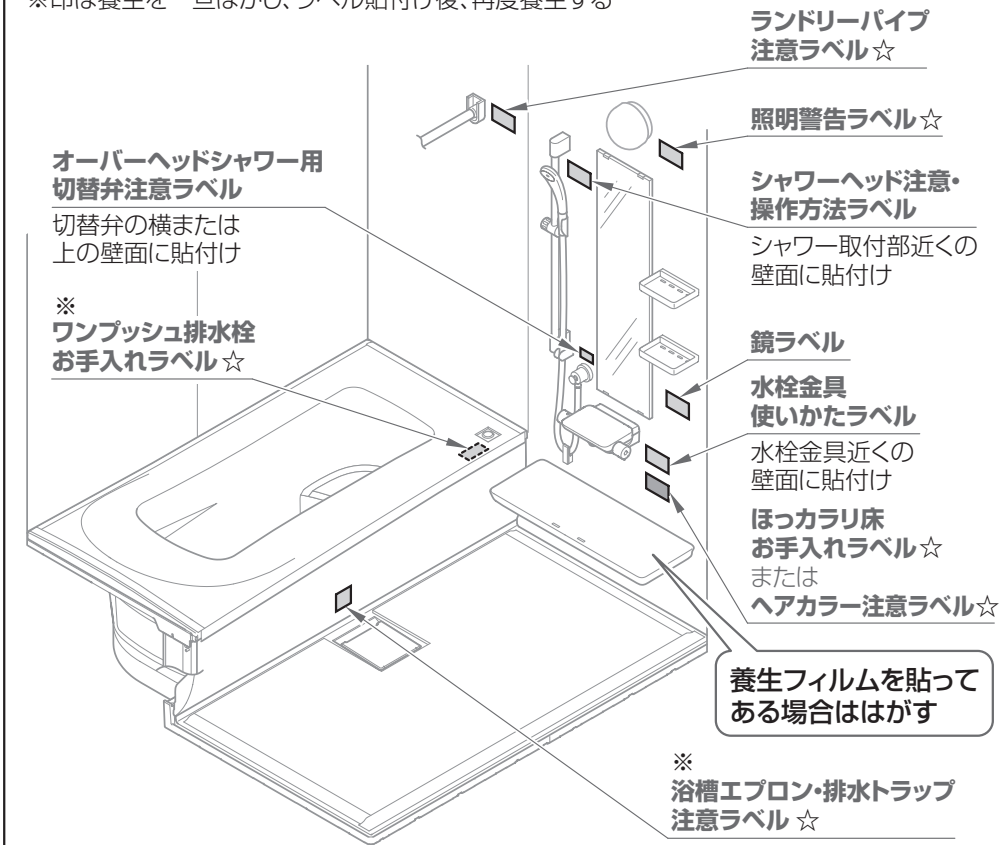
約8mm

壁分割ライン

5 ラベル貼付け

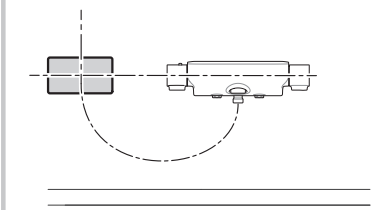
☆印は裏面貼付位置参照

※印は養生を一旦はがし、ラベル貼付け後、再度養生する

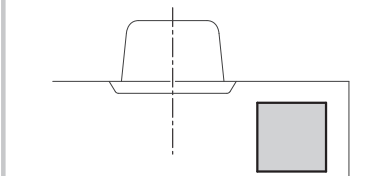


温度調節設定喚起ラベル ☆

カバー水栓の場合、
カバーに貼付け済

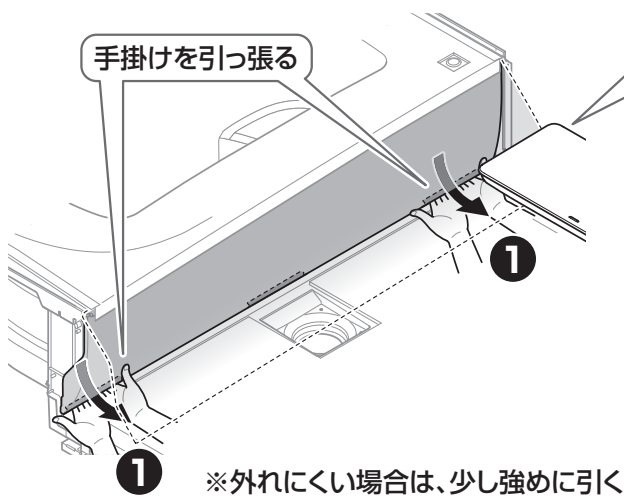


シーリング照明警告ラベル ☆

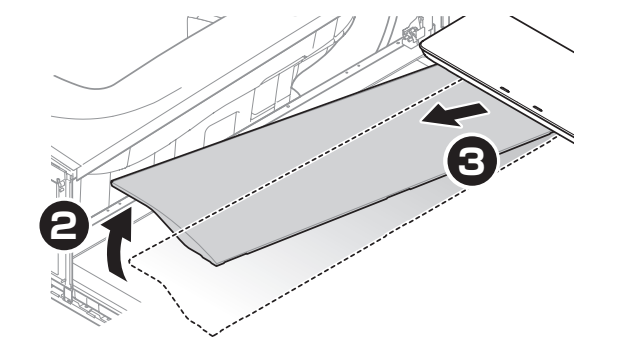


メンテナンス
要領

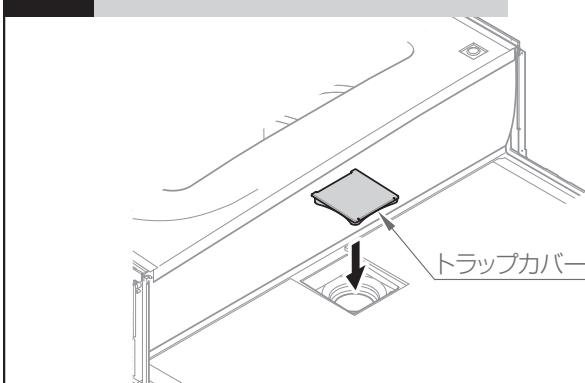
バスエプロンの取外しかた



■ 外しかたのポイント



4 トラップカバーセット



MEMO

Q. 水栓の確認と調節 (通水条件が整っている場合)



注意 湯側止水栓部に直接触れない
ヤケドをするおそれあり

1 吐水確認

吐水口およびシャワーから水やお湯が出るか、配管からの水漏れがないか確認する

● 水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

スッキリ棚水栓

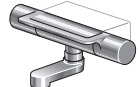


棚 W300

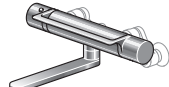


棚 W215

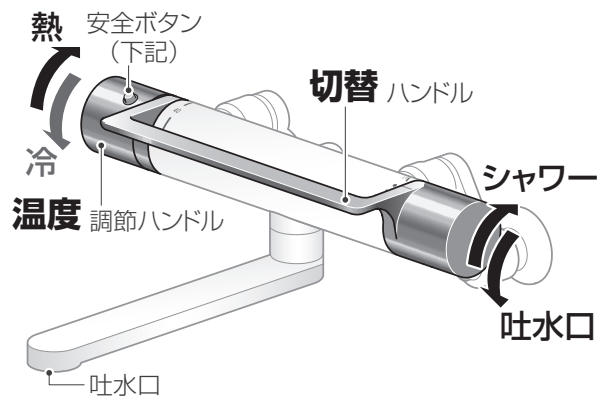
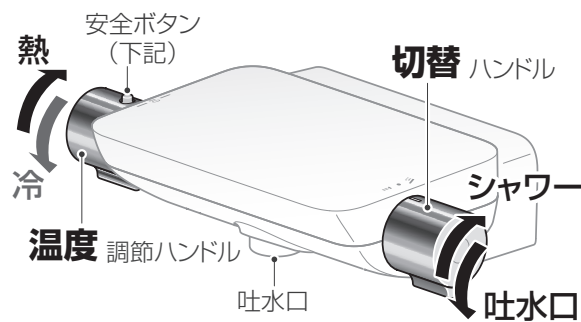
カバー/壁付 水栓



アーチハンドル(カバータイプ)



アーチハンドル(壁付けタイプ)



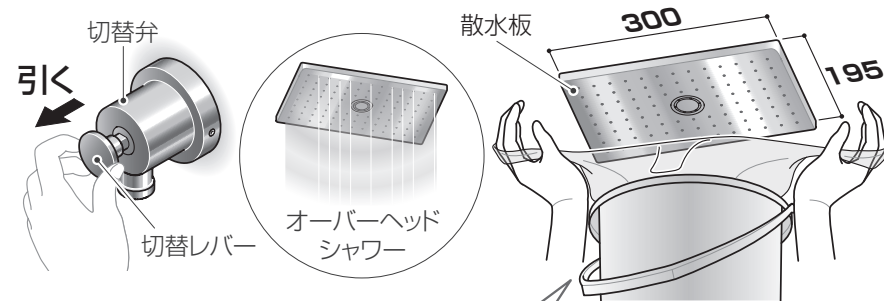
エアイン® オーバーヘッドシャワー

1 ハンドシャワーから吐水する (ハンドシャワーからの吐水: Q-2ページ)

※安全のため、使い始めは必ずハンドシャワーからの吐水になります。

2 吐水温度確認後、切替レバーを引く

オーバーヘッドシャワーから水(湯)が出ます。



バケツ(直径30cm以上)を散水板の下に受けて行う

※吐水始めは、水が出ます。
※吐水量が少ない場合、オーバーヘッドシャワーには切り替わりません。
※タッチ水栓の場合、吐水口とオーバーヘッドシャワー両方から同時に水を出すと水勢は弱くなります。
※切替弁は内部をお湯が通るため、吐水温度に合わせてあたたかくなります。

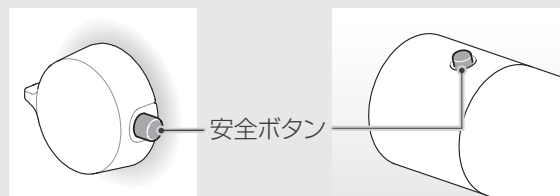
高温のお湯が必要なときは

安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを回す

(押さないと、目盛り「40」を超えた付近でロックされます。
安全ボタンのロック位置は「40」の目盛りとは、ずれます。)

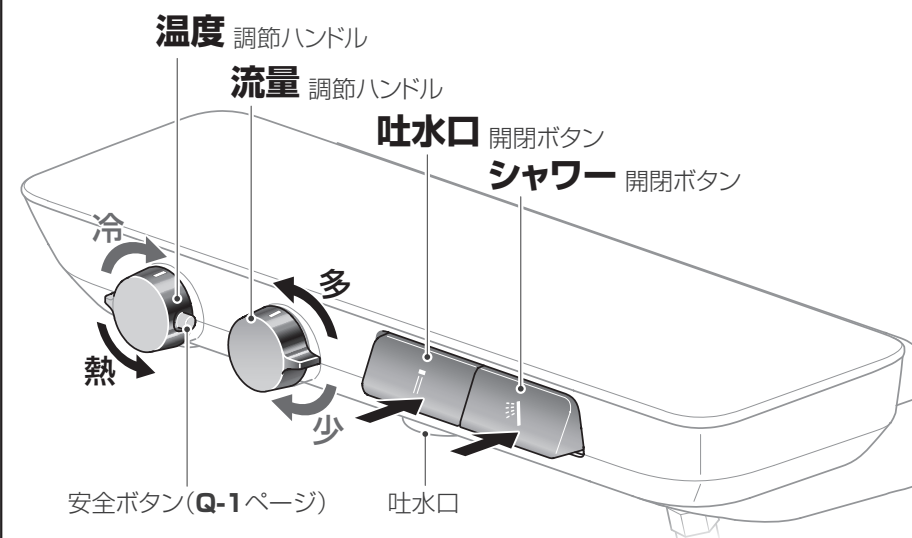
・熱湯には十分注意する。
・タッチ水栓での最高温度: 45℃ (安全のため)

※詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

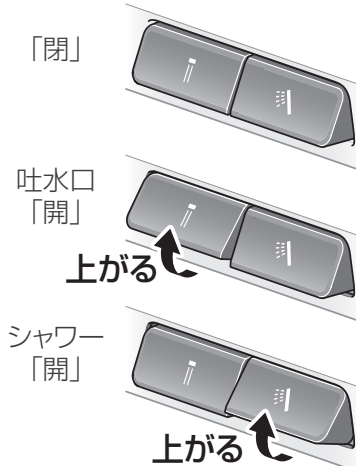


2WAYタッチ水栓 (カウンター 一体型)

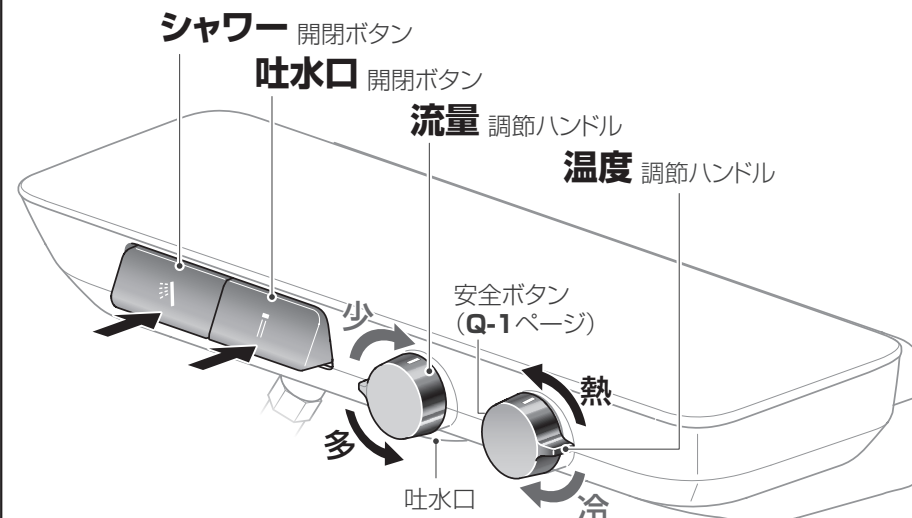
Lタイプ



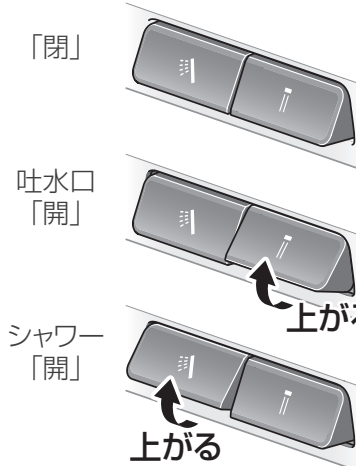
開閉ボタンの状態



Rタイプ



開閉ボタンの状態



一時的に水が出ないようにしたい

流量調節ハンドルを一時止水位置方向に回す
「カチッ」というまで回してください。

Lタイプ



Rタイプ



吐水口/シャワー開閉ボタンを押しても水が出なくなります。
小さいお子様のいたずらやお手入れの際の誤操作防止にも役立ちます。

※ 流量調節に比べ、一時止水のハンドル操作は重く設定しています。

※ 吐水口開閉ボタンを「開」のまま一時止水すると、吐水口から水滴が落ちることがあります。(シャワーホース内の残留水によるもので、故障ではありません。)

※ 一時的な止水以外は、吐水口/シャワー開閉ボタンで水を止めてください。

解除方法 流量調節ハンドルを反時計回りに回す

一時止水を解除する際は、吐水口/シャワー開閉ボタンが「閉」の状態であることを確認してください。

(ボタンが「開」の状態のまま一時止水を解除すると、解除と同時に水が出ます。)

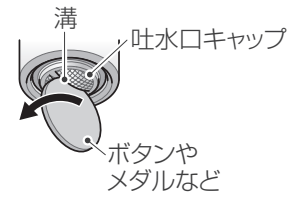
2 フィルターの掃除

取付後は、必ずフィルターを掃除する

※フィルターがつまると流量が少なくなったり、水又は、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

吐水口

1 吐水口キャップをゆるめる



マイナスドライバーなど先の細い物は
使用しない
キズ、破損防止

2 吐水口キャップ、 パッキンを取り外す



3 吐水口キャップに 詰まったごみや 汚れを取り除く



取り付けるとき

吐水口キャップの向きに注意する。



止水栓

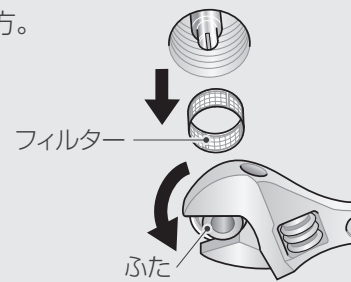
水の出が悪いと感じたら

止水栓のお手入れをする

1 止水栓を閉める 湯側・水側両方。 (Q-5～7ページ)



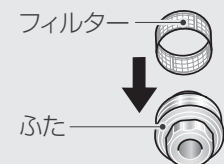
2 ふたとフィルターを取り外す 湯側・水側両方。



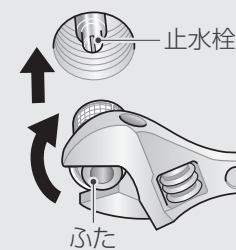
3 フィルターのゴミや汚れを取り除く



4 フィルターをふたに取り付ける



5 ふたを止水栓に取り付ける



6 止水栓の開き具合を 調節する (Q-5～7ページ)

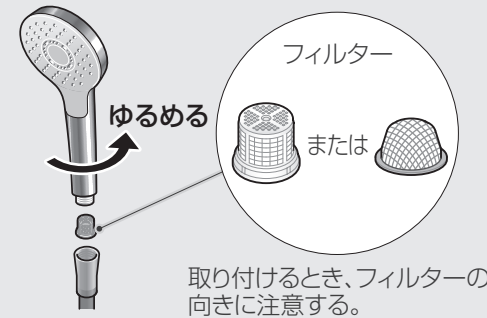


シャワー

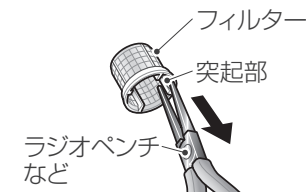
水の出が悪いと感じたら

フィルターのゴミを取り除く

ホースからシャワーヘッドを外しフィルターを取り外す。
※スプレーシャワーにはフィルターはありません。



筒形のタイプは、
ラジオペンチなどを
使って取り出します。



メンテナンス
要領

シャワーのノズルと吸気口のお手入れ

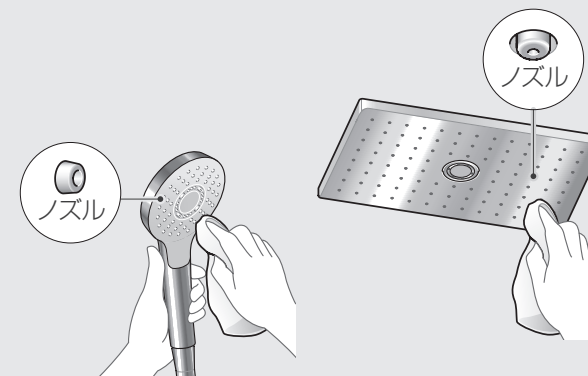
水の出る方向が乱れるときは

※水の出る方向が乱れた状態のまま使用を続けると、散水板の周辺より水が漏れる場合があります。

コンフォートウエーブ/エアインオーバーヘッド

ノズルの汚れをふき取る

水やぬるま湯に浸した布をよく絞って使用する。



汚れをふき取る際、水が垂れてくる場合があります。

スプレー



浴槽や洗面器などに水没させたり、洗剤などにつけて洗わない
散水板や吸気口(排水口)の詰まり防止

ノズル部分を強い力でふいたりこすったりしない
ノズルの破損・変形防止

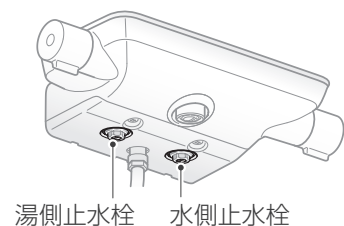
3 流量確認と調節

流量が多すぎる場合などは、次の要領で止水栓を調節する

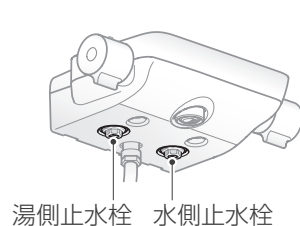
切替ハンドルや流量調節ハンドルを操作しても吐水の勢いが弱すぎる／強すぎる場合、止水栓で調節できます。
(元の水圧や給湯機の性能によっては、止水栓を全開にしても勢いが強くならない場合があります。)

スッキリ棚水栓

止水栓位置



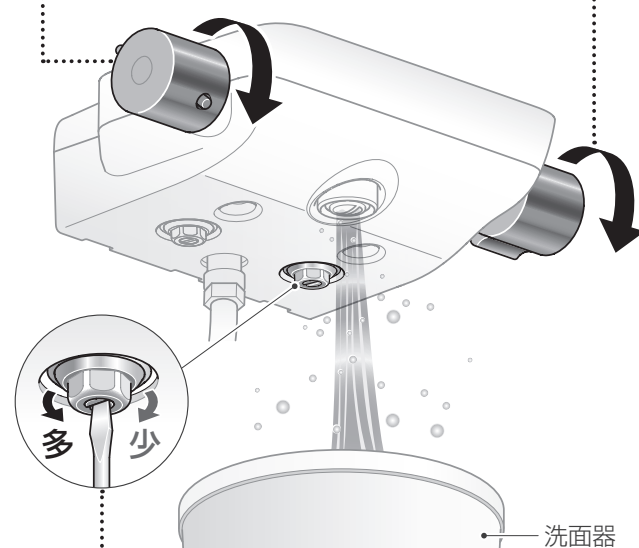
棚 W300



棚 W215

水側の調節

- 1 温度調節ハンドルを下いっぱい回す
- 2 切替ハンドルを下いっぱい回す
(水が出る)



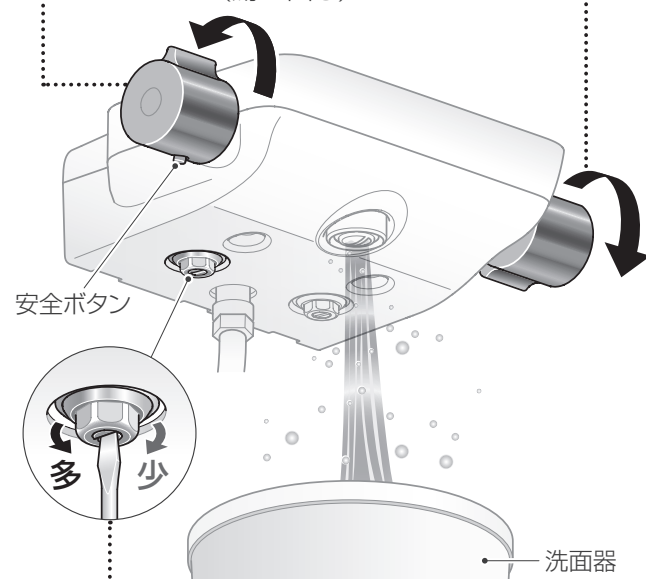
- 3 水側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 4 切替ハンドルを元に戻す
(水が止まる)



湯側の調節

- 5 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上いっぱい回す
- 6 切替ハンドルを下いっぱい回す
(湯が出る)



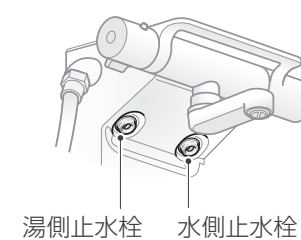
- 7 湯側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 8 切替ハンドルを元に戻す
(湯が止まる)

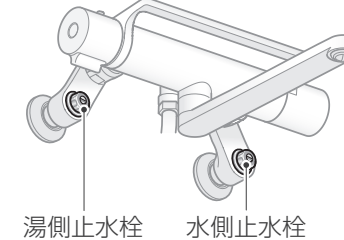


カバー/壁付 水栓

止水栓位置



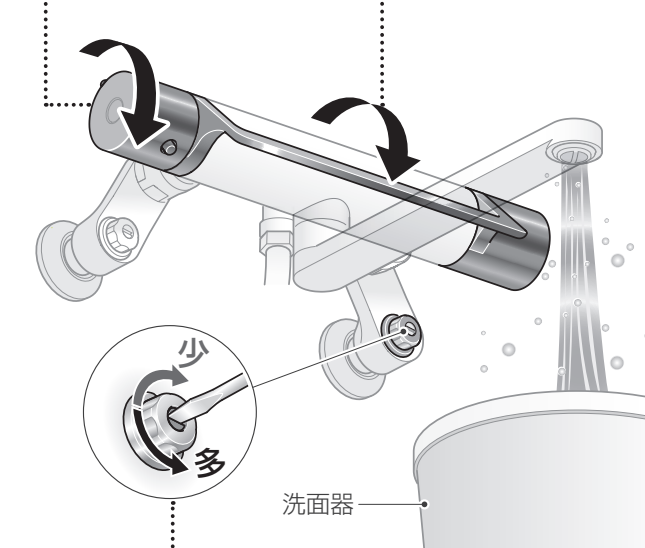
アーチハンドル
(カバータイプ)



アーチハンドル
(壁付タイプ)

水側の調節

- 1 温度調節ハンドルを下いっぱい回す
- 2 切替ハンドルを下いっぱい回す
(水が出る)



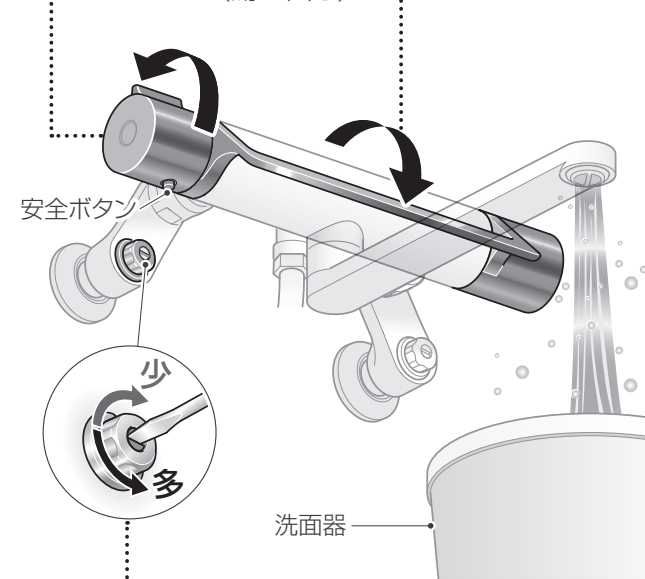
- 3 水側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 4 切替ハンドルを元に戻す
(水が止まる)



湯側の調節

- 5 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上いっぱい回す
- 6 切替ハンドルを下いっぱい回す
(湯が出る)

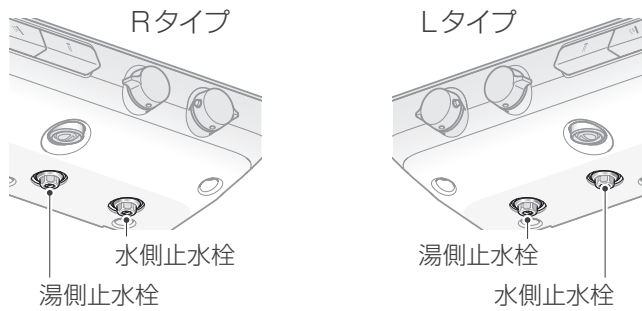


- 7 湯側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)

- 8 切替ハンドルを元に戻す
(湯が止まる)



2WAYタッチ水栓（カウンター一体型）



水側の調節

- 1 流量調節ハンドルを反時計回りいっぱいに戻す
- 2 温度調節ハンドルを時計回りいっぱいに戻す
- 3 吐水口開閉ボタンを押す
(水が出る)
- 4 水側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)
- 5 吐水口開閉ボタンを押す
(水が止まる)

湯側の調節

- 6 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを反時計回りいっぱいに戻す
- 7 吐水口開閉ボタンを押す
(湯が出る)
- 8 湯側止水栓で流量を調節する
目安は15L/分程度
(洗面器一杯にするのに約15秒)
- 9 吐水口開閉ボタンを押す
(湯が止まる)

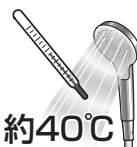
4 吐水温度確認

吐水温度が表示どおりになっているか確認する

※温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。

- 1 給湯機の給湯温度を設定する
希望の温度より高めに設定する
(快適な流量や温度を得るため、50～60℃がおすすめ)
※やけど防止のため、60℃を超えないようにしてください。
- 2 温度調節ハンドルのポイントを「40」に合わせる
- 3 切替ハンドルを上いっぱいに戻す
※シャワーから水が出ます。

- 4 吐水温度を確認する
吐水温度が適温(約40℃)
→そのままご使用いただけます。約40℃
吐水温度が適温からずれている場合
→「5 温度調節ハンドルの設定」参照



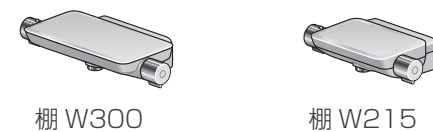
5 温度調節ハンドルの設定

吐水温度が表示どおりになっていないときは温度調節ハンドルを設定する

温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると表示どおりの吐水温度にならないことがあります。(温度調節のご依頼は有料です。)

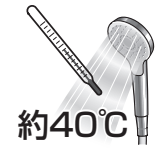
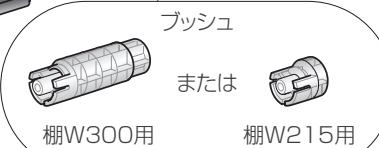
準備：給湯機の給湯温度を希望の吐水温度より高めに設定する
(快適な流量や温度を得るため50～60℃がおすすめ)

スッキリ棚水栓

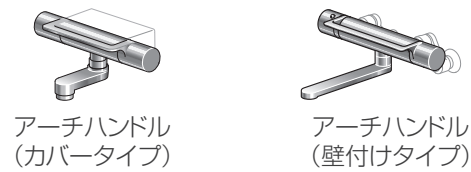


- 1 切替ハンドルを上いっぱいに戻す
(シャワーが出る)
- 2 温度調節ハンドルを約40℃のお湯が出るまで回す
「40」の目盛りを超えて回すときは、安全ボタンを押しながら回す。
約40℃
- 3 温度調節ハンドルを取り外す
ハンドルを回さないようにしてハンドルとプッシュを抜き取る。
3-1 キャップを外す
めっき表面をキズ付けないように注意する。
3-2 小ねじを外す
- 4 温度調節ハンドルを取り付ける
4-1 ハンドルとプッシュをはめ込む
「40」の目盛りと安全ボタンをあわせる。
4-2 小ねじで固定し、キャップを取り付ける
- 5 約40℃のお湯が出ていることを確認する

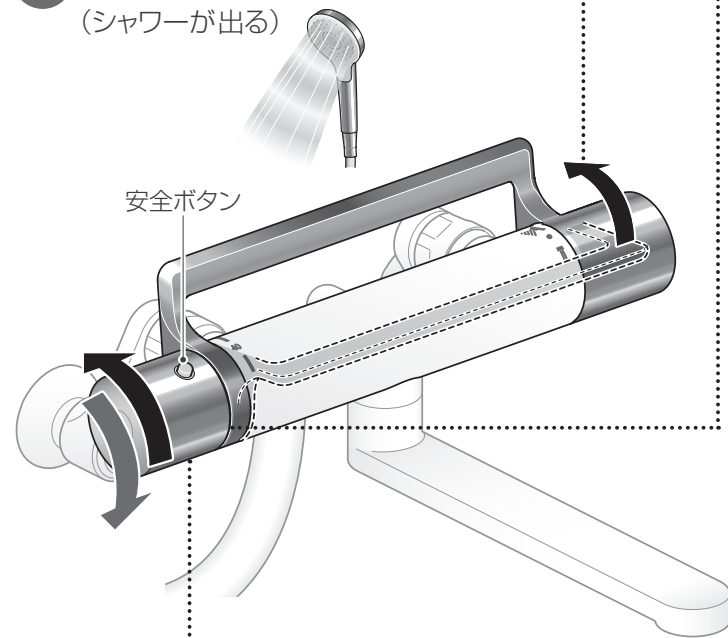
先の細いもの(精密ドライバーなど)



カバー/壁付 水栓



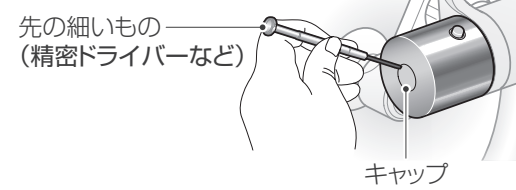
- 1** 切替ハンドルを上いっぱい回す……
(シャワーが出る)



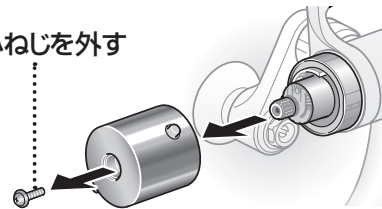
- 2** 温度調節ハンドルを約40℃のお湯が出るまで回す
「40」の目盛りを超えて回すときは、安全ボタンを押しながら回す。



- 3** 温度調節ハンドルを取り外す
ハンドルを回さないようにして抜取る。
3-1 キャップを外す
めっき表面をキズ付けないよう注意する。



- 3-2** 小ねじを外す

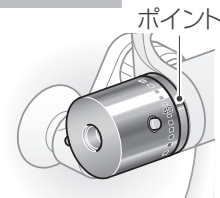


- 4** 温度調節ハンドルを取り付ける

- 4-1**

ハンドルに「40」の表示がある場合

「40」の目盛りと
ポイントをあわせる

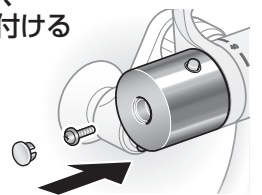


ハンドルに「40」の表示がない場合

本体の「40」の目盛りと
安全ボタンをあわせる



- 4-2** 小ねじで固定し、
キャップを取り付ける

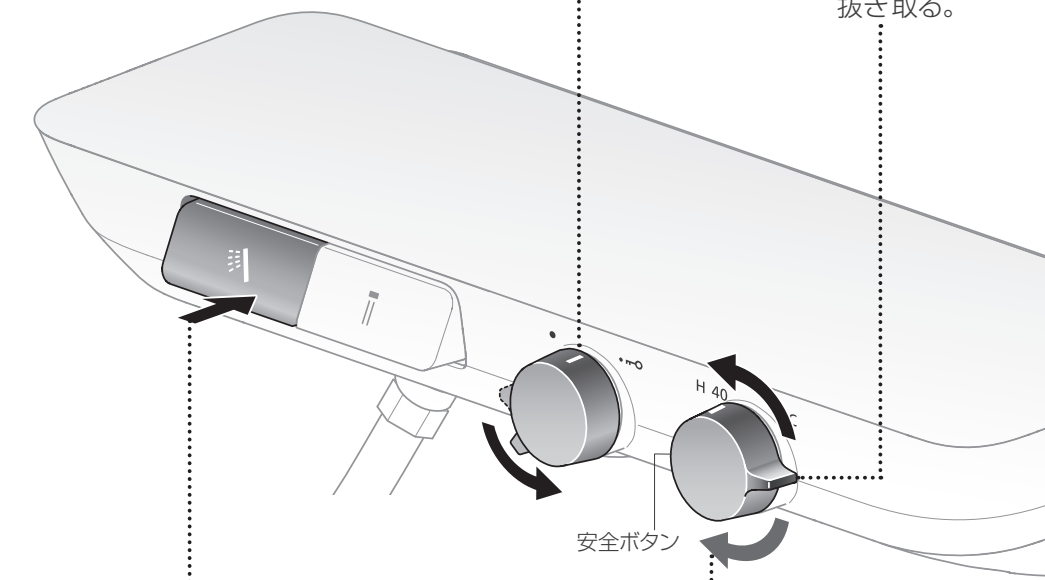


- 5** 約40℃のお湯が出ている
ことを確認する



2WAYタッチ水栓(カウンター 一体型)

- 1** 流量調節ハンドルを反時計回り
いっぱい回す



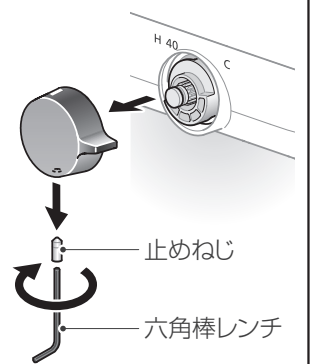
- 2** シャワー開閉ボタンを押す
(シャワーが出る)



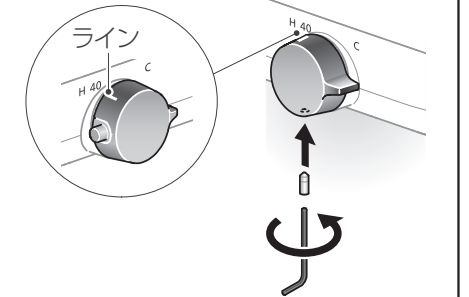
- 3** 温度調節ハンドルを約40℃のお湯が出る
まで回す
「40」の目盛りを超えて回すときは、
安全ボタンを押しながら回す。



- 4** 温度調節ハンドルを取り外す
止めねじを外し、ハンドルを回さないようにして
抜取る。



- 5** 温度調節ハンドルを取り付ける
「40」の目盛りとラインをあわせて止めねじで
固定する。



- 6** 約40℃のお湯が出ている
ことを確認する

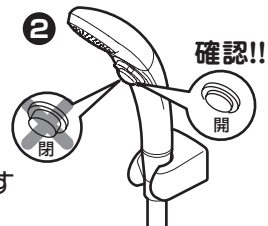


寒冷地
北海道

6 水抜き

凍結が予想される時期に組立された場合は、凍結による水栓金具破損防止のため水抜きを行う
※お客様にも水抜き方法をご説明ください

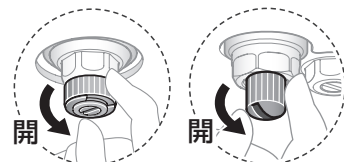
- ① 水栓1次側の給水を止め(元栓などを締め)、通水を止める。
- ② シャワー開閉ボタンが“開”になっていることを確認する ※クリックタイプの場合のみ
- ③ **2WAYタッチ水栓以外** → 切替ハンドルを吐水口側いっぱいに戻す
切替ハンドルを上いっぱいに戻す
2WAYタッチ水栓 → 吐水口およびシャワー開閉ボタンを押す
- ④ 水抜きコックをすべて開ける **止水栓のコックは取り外さない** 詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。



水抜きコック



止水栓部水抜きコック

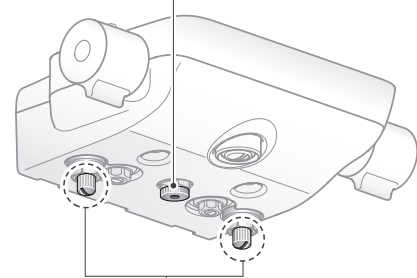


- ・3回転程度回してください。
- ・取り外さないでください。

- ⑤ 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱい回して水を抜く
- ⑥ 吐水口から水が出なくなったら、下(水側)いっぱい回して水を抜く
- ⑦ 吐水口から水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぱい回す
- ⑧ シャワーヘッドを振って中の水を抜く
- ⑨ 水抜きコックを確実に閉める **必ず実施**

スッキリ棚水栓

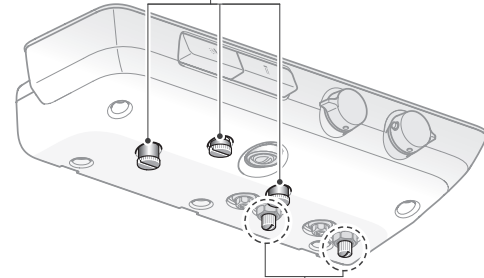
オーバーヘッドシャワー用の水抜きコック(1カ所)



止水栓部水抜きコック(2カ所)

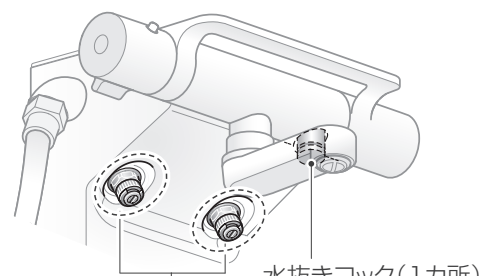
2WAYタッチ水栓(カウンター 一体型)

水抜きコック(3カ所)



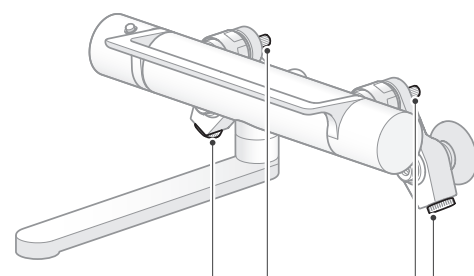
止水栓部水抜きコック(2カ所)

カバー水栓



水抜きコック(1カ所)
止水栓部水抜きコック(2カ所)

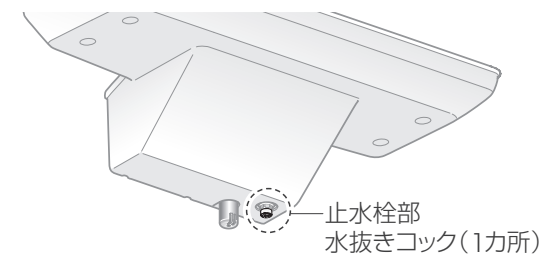
壁付水栓



水抜きコック(4カ所)

床ワイパー洗浄

お掃除ラクラクカウンターの場合



止水栓部
水抜きコック(1カ所)

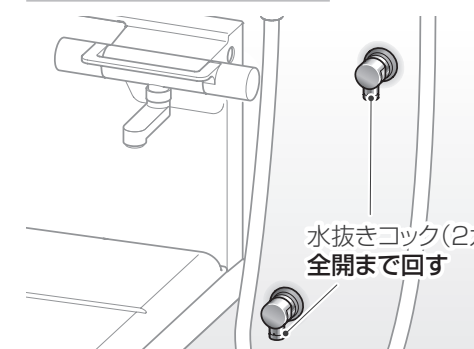
エアインオーバーヘッドシャワー

※必ず、水栓金具の水抜きも一緒に行ってください。



水抜きコック(1カ所)
全開まで回す

ベンチカウンターの場合



水抜きコック(2カ所)
全開まで回す

MEMO

器具

ドア

仕上げ

水栓の確認と調節

清掃・自主検査

機器の電気工事と試運転

仕上げ

水栓の確認と調節

清掃・自主検査

機器の電気工事と試運転

S. 清掃・自主検査

1 清掃

清掃の際、下記のものを使わないこと

人体へ影響を与えたり、製品に不具合を生じさせるおそれあり

- 「酸性」「アルカリ性」の表示の洗剤
- 固形または、粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤
- 薬品(塩酸)
- シンナー・アセトンなどの溶剤
- クレンザー
- みがき粉
- ナイロンたわし
- 金属たわし
- サンドペーパーなど
- パーツクリーナー
- メラミン系スポンジ



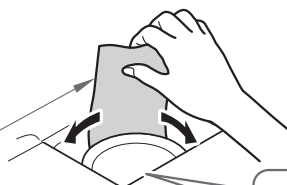
※床は素材の特長により、汚れが残りがちであるため、足裏の汚れなどが付着した場合は、下記の手順どおりに清掃すること

① 掃除機でゴミを吸い取る

② 切断・穴あけの際に飛び散った鉄粉は残っているともらいさびの原因になるので入念に除去する

③ トラップ内部はゴミがたまりやすいので入念に清掃する

鉄粉除去用
マグネットシート
別売品 EKK02007



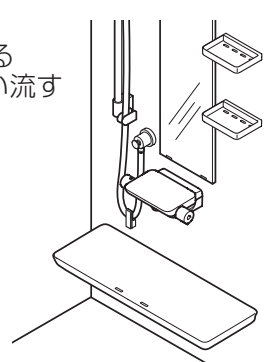
トラップまわりの
すき間は特に念入りに

④ 汚れはやわらかい布またはスポンジに市販の中性洗剤をつけて洗い落とし、 がんこな汚れはエタノールでふきとる

【ブラック色】の部材については、エタノールでふく際には強くこすらない

白いふきあとが残ることあり

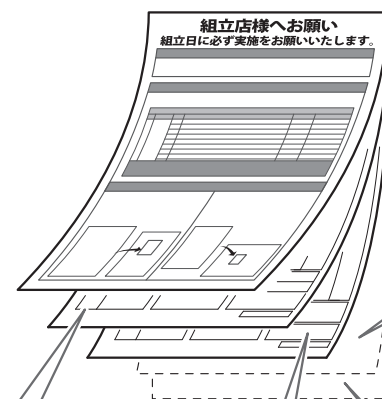
※万が一白いふきあとが残った場合は、
きれいな布でふきとる もしくは水ぶきする
それでも落ちないときは、中性洗剤で洗い流す



2 自主検査

① 組立報告書の作成・貼付け

- 自主検査による組立てミスなどの防止
- 組立て後の、元請店様等とのトラブル防止
- アフタークレームなどでの迅速対応



2枚目 組立店様控え

3枚目 発注元(特約店様など)提出用

残組立てがある場合

トラブル防止のため「残組立内容と日程」を
組立報告書へ記入し貼り付けること

② 注意喚起チラシの貼付け

「キズ・破損」注意チラシ

【工事関係者の皆様へ】	
清掃・検査済です。 材料・工具の保管は禁止です。 「キズ・破損」防止のため	
【元請店様へ】	
照明、換気扇の試運転を お願いします。 結露不備による、「作動不良」防止のため	
通水を行い、配管内の鉄粉を 洗い流してください。 水道配管内から流出する 「鉄粉」によるもらいさび防止のため	

ドア養生シート面
またはドア上枠
またはドア障子上框
に貼付け

「設備・リモコン業者」チラシ

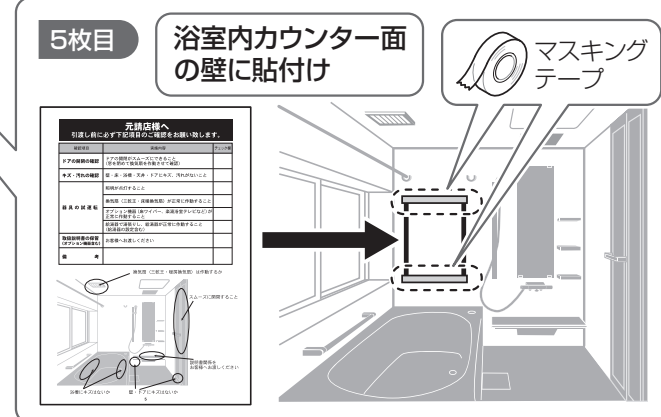
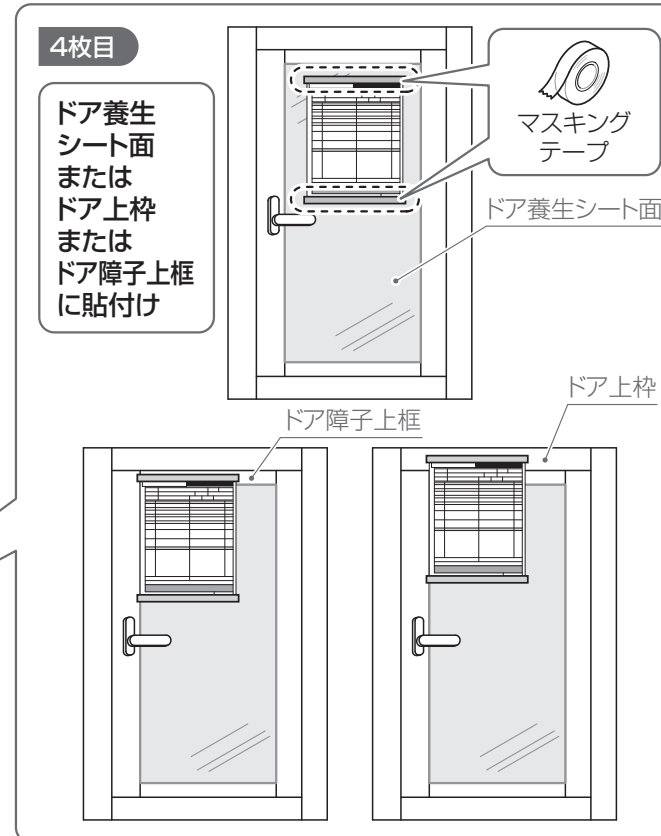
◆下記、し点項目の接続・取付をお願いします。	
配管接続業者様へ	リモコン取付業者様へ
！配管の逆接続注意！	！もらいさび注意！

給湯機リモコン取付け予定位置に貼付け

③ トラップの再確認

組立て完了後、トラップ内に水を溜める

臭気の流入および塩素ガス流入により浴室内の金属がさびる場合あり
但し、引渡しに長時間かかり、凍結のおそれがある場合は水は取り除く



3 養生について

お客様引渡しまで期間がある場合

梱包時の段ボールを使って太いマスキングテープで養生する

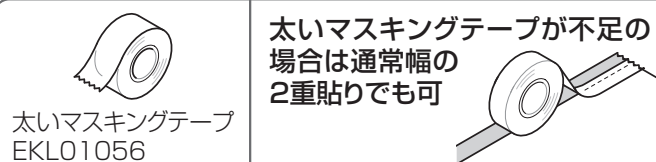
※人大エプロンの場合は養生シートを使用

床養生時の注意

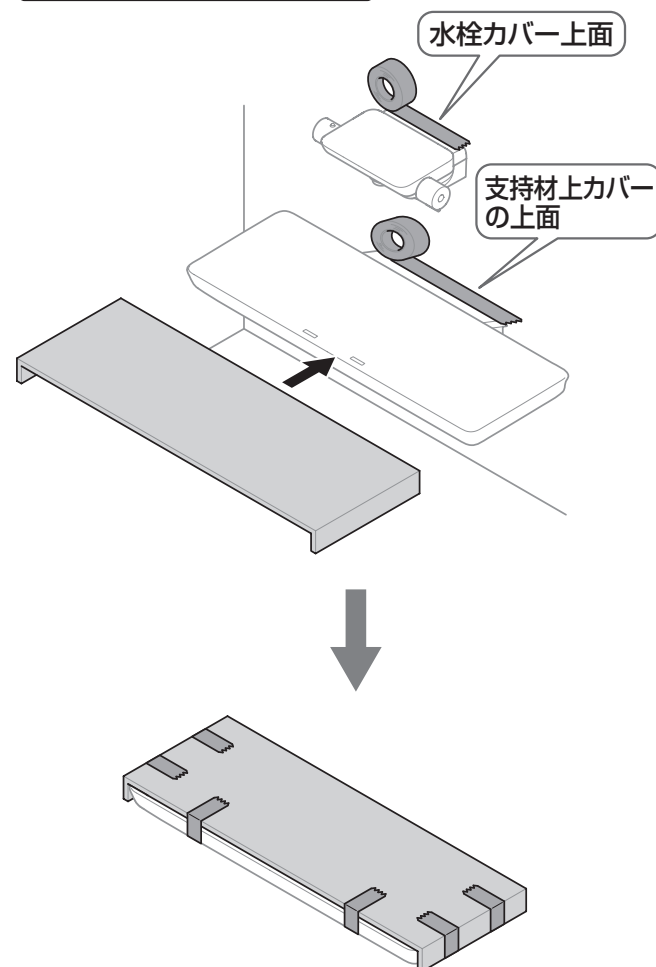
① エタノールで清掃

太いマスキングテープ(1枚目) 細いマスキングテープ(重ね貼り)
養生段ボール

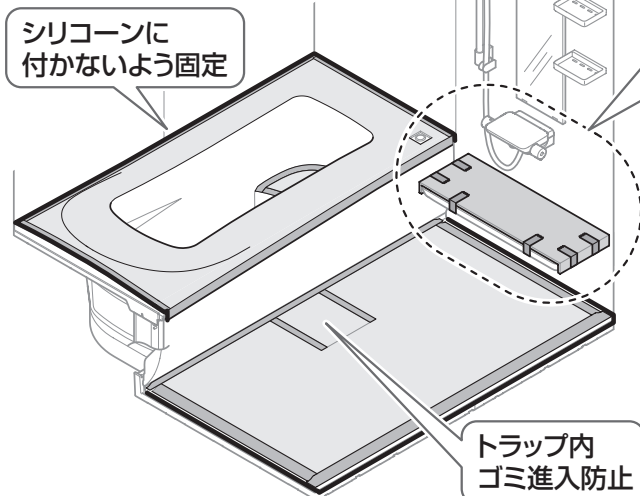
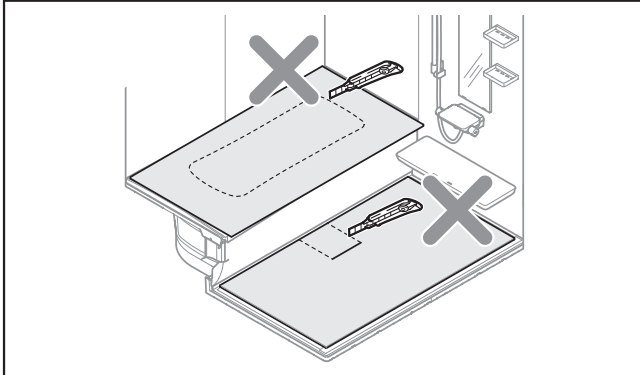
② 十分乾燥後、テープを重ね貼り



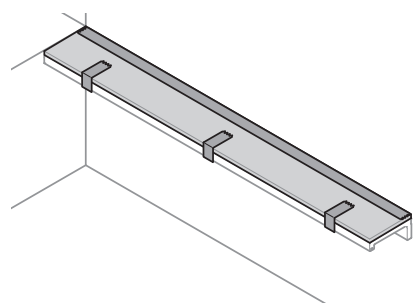
壁とのすき間を必ず養生する
もらいさび防止



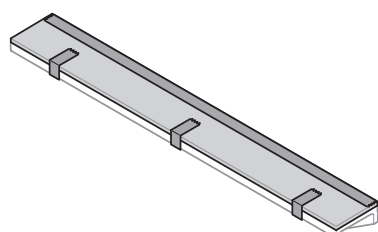
製品上でのカット禁止



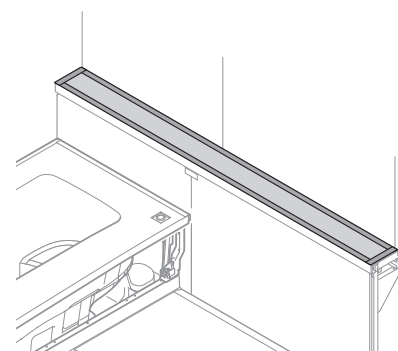
スリムカウンター



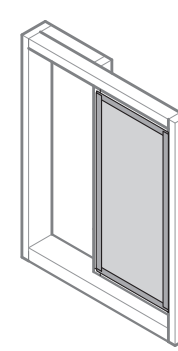
スマートカウンター



1818サイズ(拡張カウンター)



片引戸/2枚引戸(袖パネル)

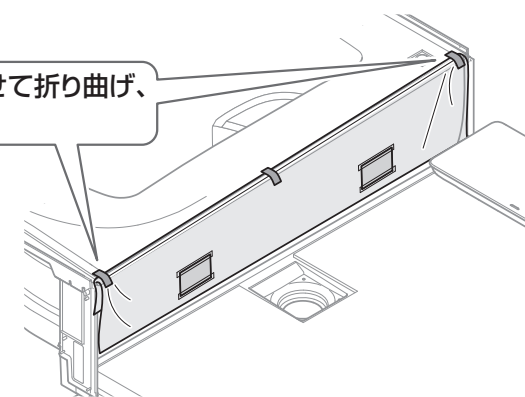


断熱風呂ふた



人大エプロン

梱包時の養生シートをエプロンの大きさに合わせて折り曲げ、浴槽にかけマスキングテープで固定



4 取扱説明書類について

本体および各器具に同梱の取扱説明書・ご愛用のしおり・保証書等は、大切に保管の上、必ず全て揃えてお客様にお渡しできるようにすること

- なくしたり、汚したりしないように注意して保管
- シャワーハンガーにひとまとめに吊るしておくこと

5 廃棄物について

部材を処分する場合は、材質を確認して、許可を受けている処理業者へ依頼するか、破碎の上許可された処理場で処理すること

MEMO

T. 機器の電気工事と試運転

安全上のご注意

電気工事店様実施事項

組立ての前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく組み立ててください。

◎組立て完了後、試運転および各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。

◎表示内容を見逃して誤った組立てをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

◎お守りしていただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

注意喚起 この図記号は、気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

強制 この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

アース接続 この図記号は、必ずアース線を接続していただく「強制」の内容です。

警告



配線工事は、関連する法令や規定に従って、必ず「有資格者」が行う

- 不完全な接続や固定は、火災や漏電の原因

本体に組み込まれる水栓や電気機器などの付帯設備は、それぞれに添付されている組立説明書および製品本体の注意表示を守り、正しく設置する

- 誤った設置は、思わぬ事故や故障の原因

電気機器取付けの際は、必ず非通電状態で電源処理を行う

- 思わぬ事故や故障の原因

電源コード先端の棒端子はコネクター（市販品）に確実に差し込み、VVFコードと接続する

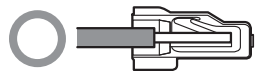
- 不確実な接続は、端子の過熱による火災の原因



アース取付けが必要な電気機器は、必ずアース線の接続工事を行う

- 不完全なアース線の接続は、火災や漏電の原因

◎電源コード先端の棒端子とVVFコードは差込型コネクターでまっすぐ突き当たるまで差し込んでください。



コネクター側面より、目視にて電源線の棒端子とVVFコードが、コネクターの奥まで入っていることを、確認してください。

悪い例	棒端子とVVFコードの接続にリングスリーブを使用しない	VVFコードとより線をねじって接続しない
	VVFコードは、まっすぐの状態を使用する	むき出し部が長く金属部が露出
	差し込み長さ不足で接触不良	差込型電線コネクターの挿入口近くでのVVFコードの折り曲げ

試運転

元請店様実施事項

※試運転は、必ず実施してください。
通電・通水していることを確認後、下記手順に従って試運転を行います。

床ワイパー洗浄

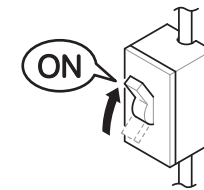
試運転を行う前に、浴槽ならびに浴室内（床および排水口）の清掃を行い、壁の切り粉などをきれいに取り去る

もらいさびの発生等、トラブルの原因

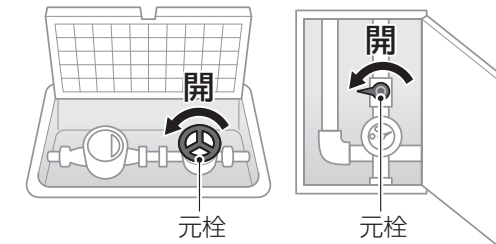
① 床の養生をはがす

※床まわりのシリコンが乾いていない場合があるので、十分注意する

② 床ワイパー洗浄が接続されているブレーカーをONに入れる



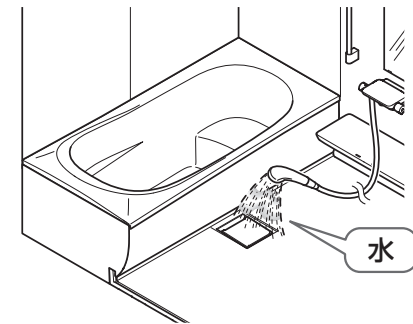
③ 元栓を開ける（通水）する



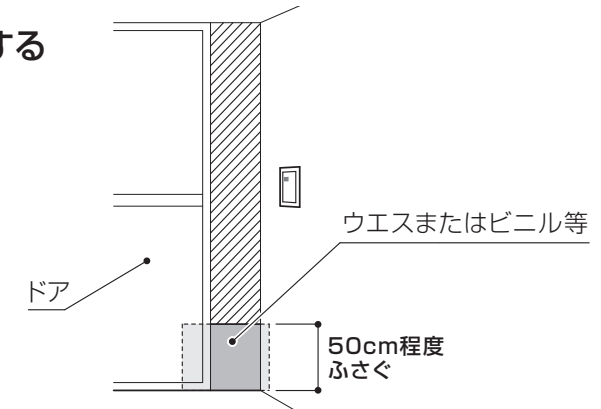
④ 床ワイパー洗浄のフィルターのゴミ詰まりを防ぐためにシャワーから1分間以上の捨て水を行う

配管内のゴミをシャワーのフィルターで受け、ゴミが無くなった後に床ワイパー洗浄の試運転を行うことで機能ユニット内の目詰まりを防ぐ

※終わった後に、ハンドシャワーのフィルターを掃除する
掃除のしかたは、Q-3 ページ参照

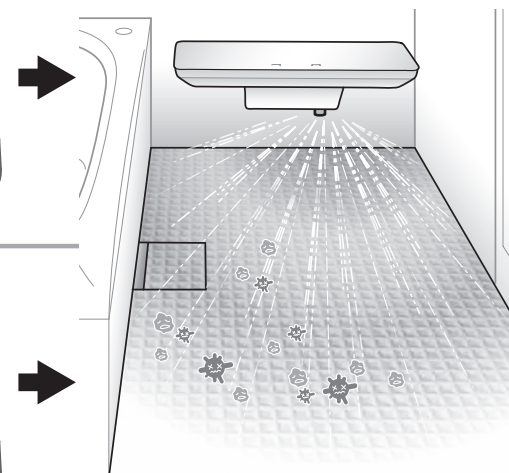
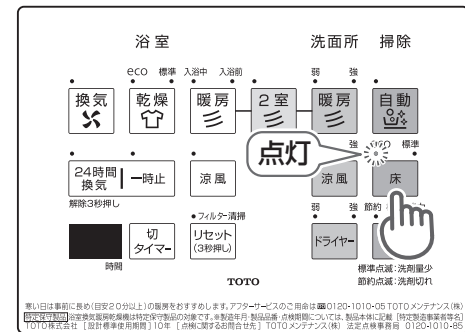


⑤ 運転を確認するために少しドアを開け、洗面所に水が飛び散らないように養生する



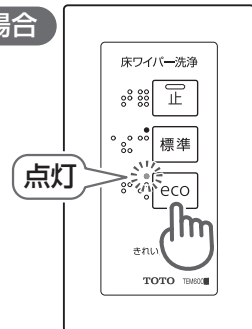
⑥ 「eco」モードで運転スタートする

マルチリモコンの場合 ※デザインは選択したオプションにより異なる。



床面に水が
散布されることを
確認する

専用リモコンの場合



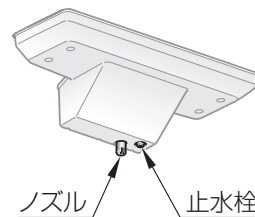
【ecoランプが点灯し、ノズルから水が出ない場合】 eco

カウンター下の止水栓は
開いているか確認する



【止水栓の場所】

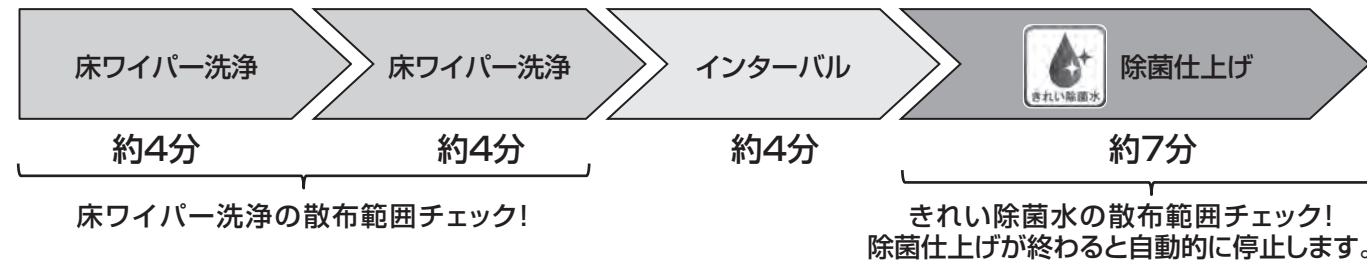
お掃除ラクラクカウンター
R/L共通



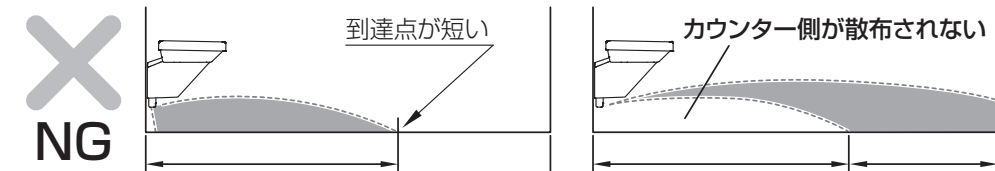
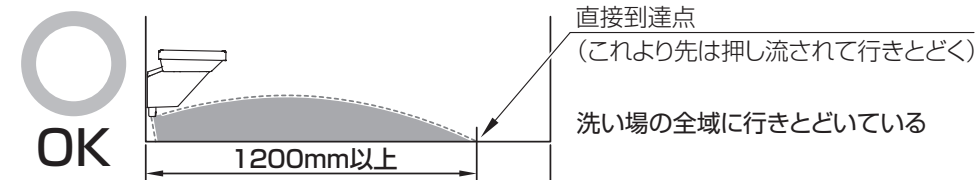
ノズル 止水栓

⑦ 正常に動作しているか確認する

※インターバル中は作動しない。

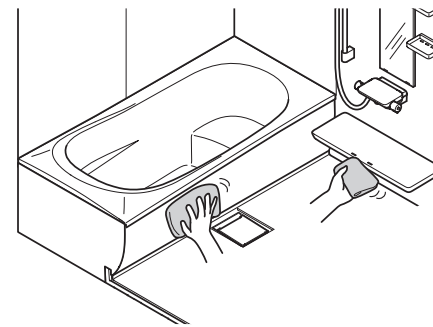


⑧ 適切な範囲に散布されているか確認する



⑨ 浴室内の残水を拭き取る

※床まわりシリコンが乾いていない場合があるので、十分注意する



⑩ 終了